上野西小学校屋内運動場大規模改造工事

			図	面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書(1)	A-30	展開図7 用具室2 (現況)更衣室·女子便所	S-01	(参考図) 現況 2階梁伏図	M-01	機械設備 特記仕様書
A-02	特記仕様書(2)	A-31	展開図8 玄関ホール	S-02	(参考図) 現況 屋根梁伏図	M-02	機械設備 器具機器表·計算書
A-03	特記仕様書 (3)	A-32	展開図9 階段室	S-03	(参考図) 現況 1柱梁断面リスト	M-03	機械設備 現況 1階平面図
A-04	特記仕様書(4)	A-33	展開図10 (改修後)通路・みんなのトル・女子用便所			M-04	機械設備 現況 2階平面図
A-05	特記仕様書 (5)	A-34	展開図11 (改修後)男子用便所・屋内運動場			M-05	機械設備 改修後 1階平面図
A-06	特記仕様書(6)	A-35	1階天井伏図			M-06	機械設備 改修後 2階平面図
A-07	特記仕様書 (7)	A-36	2階天井伏図1			M-07	機械設備 現況·改修後 女子用便所平面詳細図
A-08	建物概要書	A-37	2階天井伏図2	E-01	電気設備 特記仕様書	M-08	機械設備 現況·改修後 男子用便所平面詳細図
A-09	付近見取図 配置図	A-38	トラス天井伏図	E-02	電気設備 電灯盤結線図·照明器具姿図		
A-10	現況·改修後 外部·内部仕上表	A-39	建具表1	E-03	電気設備 電灯照明設備図(1階)改修後		
A-11	現況 1階平面図	A-40	建具表2	E-04	電気設備 電灯照明設備図(2階)改修後		
A-12	現況 2階平面図	A-41	建具表3	E-05	電気設備 電灯照明設備図(1階)撤去図	K-01	仮設計画図
A-13	改修後 1階平面図	A-42	改修後 部分詳細図1	E-06	電気設備 電灯照明設備図(2階)撤去図		
A-14	改修後 2階平面図	A-43	現況·改修後 部分詳細図2	E-07	電気設備 コンセント設備図(1階)改修後		
A-15	立面図1	A-44	トラス詳細図 柱頭ピン部分詳細図	E-08	電気設備 コンセント設備図(2階)改修後		
A-16	立面図2	A-45	家具詳細図	E-09	電気設備 コンセント設備図(1階)撤去図		
A-17	立面図3	A-46	現況 1階平面図(体育器具配置図)	E-10	電気設備 コンセント設備図(2階)撤去図		
A-18	屋根伏図	A-47	1階鋼製床伏図	E-11	電気設備 弱電器具姿図		
A-19	矩計図1	A-48	1階体育器具金具・基礎図	E-12	電気設備 弱電器具姿図(体育館専用機器)		
A-20	矩計図2	A-49	鋼製床断面詳細図	E-13	電気設備 弱電設備図(配置図)		
A-21	現況・改修後 平面詳細図1 屋内運動場廻り	A-50	移動式 支柱整頓棚図	E-14	電気設備 弱電設備図(1階)改修後		
A-22	現況・改修後 平面詳細図2 通路・みんなのトイレ・女子用便所	A-51	吊下げパスケット台図	E-15	電気設備 弱電設備図(2階)改修後		
A-23	現況·改修後 平面詳細図3 男子用便所	A-52	(サプ) ミニパスケット台図	E-16	電気設備 弱電設備図(1階)撤去図		
A-24	展開図1 屋内運動場	A-53	ステージ用防球ネット図	E-17	電気設備 弱電設備図(2階)撤去図		
A-25	展開図2 屋内運動場	A-54	みんなのトイレ 玄関用防球ネット図	E-18	電気設備 自動火災報知設備図(1階)改修後		
A-26	展開図3 屋内運動場	A-55	舞台設備	E-19	電気設備 自動火災報知設備図(2階)改修後		
A-27	展開図4 控室1・2・3 倉庫1			E-20	電気設備 自動火災報知設備図(1階)撤去図		
A-28	展開図5 倉庫2·3 更衣室 (現況)男子便所			E-21	電気設備 自動火災報知設備図(2階)撤去図		
A-29	展開図6 控室4 指導室 用具室1 控室5						

	特記仕様書	章 項目	特記事項	章 項目		特記事項	
本特記仕様書は、本	ド工事における建築関連工事に適用する。	~	提出部数: ※2部 ・ 部	3 ① 改修工法の種類	◎シーリング改修工法の程	重類	
本特記仕様書におけ	ける採用事項	章 🔝 完成図	種類: ※表1.8.1 ·一般図 ·実施設計図一式 ⊙竣工図	章 及び工程	施工部位	工法の種類	備考
①. 項目欄は番号等に	こ 〇 印を附したものを適用する。	-	記入内容: ※表1.8.1 ・図示 ②図面リスト全て	防	• 外壁コンクリート打継目地		
2. 項目欄に 〇 印を	- と と附し特記事項欄に ・ 印を附していない場合は標準仕様書による。	般 共	- 提出要領: ○A2原稿2つ折り製本 · A3版原図 (CAD作図による)	水 改	・外壁コンクリート誘発目地		
_	と附したものを適用する。但し ・ 印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。	通 重	()CADデータ ·	修	- 外壁開口部建具廻り目:	地	
	した場合は共に適用する。	項	施工計画書: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事			
	成なき事項については下記による。		施工図: ・A3原稿2つ折り製本 (・A3拡縮版第2原図 ・CADデータ			I	l
_	現場では、1000では、1000である。 日本の表現では、1000では、		・監督員の承諾を受けたもの・		 2. 既存防水層の処理		
O		8.3 保全に関する資料	・保全に関する資料 提出部数: ※各2部 部	(2.9 ルーフト・レン廻りの処理		テわない ・行う (施工箇所 ; 屋上)	
	房長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版	0.3 休王に関9 る貝科	・休主に関する貝科 掟山即数: 次合と即 ・ 即		1		
	房長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版			② 既存下地の補修	-	対量等: ・下表による ・図示・	
	こ対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課他)			及び処置	施工部位	形状・長さ数量等	備考
・その他事項				_	・脆弱部の補修	m [®]	
・各項目欄の番号(例	:1.4 〇〇〇) は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する	2 足場その他	内部足場の種別: ①脚立 ①足場板 ・ローリング・タワ- ・		・既存目地の欠損部補修	m	
・各項目欄の番号(例	: 1.* 〇〇〇) は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする	章	外部足場の設置、種別: ・設置しない ○設置する 【○枠組足場 ・単管足場 ・ 】		・欠損部の補修	m [®]	
・各項目欄の番号(例	: ●公○章***、公***、●公***) は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する	仮	保護シートの設置: ①設置する ・設置しない		・防水層表面の仕上げ塗	装の除去 ㎡	
項目	特記事項	工	材料等の運搬方法: ・A種 ○B種 ・C種 ○D種 ○E種		既存防水層表面の仕上げ刻	・行わない ・行う	
① 工事実績情報登録	登録: (·)適用 · 不適用	事 (3.7) 既存部分の養生	既存部分養生材料: ○ピニールシート ・その他:施工者にて適材適所を選択する		設備架台等防水層取り合い	・部の処置:・協議による・図示	
_	基準風速: ・Vo=34(m/s) 平成12年建告第1454号第2		既存家具養生材料: ①ピニールシート ・その他:施工者にて適材適所を選択する		立上り防水層の処置:		
・積雪に関する規定	地表面粗度区分: ・ I ・ II ・ II ・ IV		既存ブラインド、カーテンの養生方法:			い【補修方法: ・標準仕様書3.2.6	(d)による) · 図
	積雪区分: ・区域=(32) / α=0.0009 / β=0.00 / γ=0.21 / R=0		・指定場所に保管し再設置 ・ 指定場所に保管し清掃の上再設置 ・			2	
	平成12年建告第1445号 別表	3.2 仮設間仕切り	「相足物所に保留し特別性」 (対抗 と 特別 に保留し		3. アスファルト防水	· 🖫 🕳	
3.) 電気保安技術者	平成12年建금末1443号 が表 技術者の適用: ・適用 ・不適要	0.4 以改用11909		2 2 ++\ 44			
			設置箇所:・図示・	3.2 材料		ソングシートの種別・厚さ:	
3.岁 施工条件	施工順序等の制約: ①無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・ 】		種 別: ・A種 ・B種 ・C種			6)による・メーカー仕様による	
	工事車両の駐車場所: ・		仮設扉: ・不要 ・必要【設置箇所: ・図示 ・任意の場所 ・ 】			ァルトルーフィングの種別・厚さ:	
	資材、機材置場 : ・図示・現場説明書による・		仮設扉の種別: ・鋼製 ・木製 ・図示 ・		※標準仕様書3.3.2(c)(7)による・メーカー仕様による	
	発生土仮置場 : ・図示 ・現場説明書による・	監督員事務所、	監督員事務所の設置: ・必要 ○不要		保護防水断熱工法の断熱	才の材質: ※標準仕様書3.3.2(h)によ	よる・メーカー仕様に
	その他の施工条件 : 図示 現場説明書による	受注者事務所等	◎監督員事務所の規模、設備、備品等		√ 保護防水断熱工法の断熱	才の厚さ: ・図示 ・	
②2 発生材の処理等	・発注者への引渡発生材;		・()号(会議室()m2 を含む)		露出防水断熱工法の断熱木	すの材質: ※標準仕様書3.3.2(i)によ	よる・メーカー仕様に
	· 特別管理産業廃棄物;		・ () 号に会議室 () m2 を加えた規模		露出防水断熱工法の断熱	すの厚さ: ・図示 ・	
	・リサイクル発生材:		・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具		絶縁シートの材料の指定:	※標準仕様書3.3.2(j)による・メー	-カー仕様による
	ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理:		その他:		保護コンタリートの設計基	基準強度: ※18N/mm2 ・21N/mm2 ・	
	·製造業者回収委託処理 · 管理型最終処分場埋立処理		受注者事務所の設置: ②必要 ・不要			ンプ: ※18cm ・15cm ・	
	標準仕様書1.3.8(b)(5)(i)及び(ii)以外のせっこうボードの処理:		◎受注者事務所の規模、設備、備品等		防水立上がり部の保護:		
	・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化		・ () 号 (会議室 () m2 を含む)			↑ ※標準仕様書3.3.2(o)による	
				0.0 (50) 7 -3 - 10		1科: 次標準は稼責3.3.2(0)による	•
	P C B 含有シーリングの調査方法: ・図示 ・		() 号に会議室 () m2 を加えた規模	3.3 種別及び工程	◎屋根保護防水		
	PCB含有シーリングの撤去方法: ・図示 ・		・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具		\	フリートの適用: ・適用しない ・過	適用する
4. 使用材料	○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量		その他;		防水立上りの保護コンク	ソートの工法: ・図示 ・	
	はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆	4. 工事用水及び電力	構内既存の用水施設: ・利用できない ○利用できる ○有償 ・無償)		施工部位	工法/種別	備考
	とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定		構内既存の電力施設: ・利用できない ○利用できる ○有償 ・無償)		· PHR階屋上	· P1B ∕ · B−1	
	する。		・動力以外利用できる《①有償 ・無償)		• R階屋上	• P1BI BI-1 BI-2 • BI-3	断熱材:t=
5.2施工数量調査	調査範囲: ・図示 ① 外壁①内壁					• T1BI / • BI-1	断熱材: t=
	調査方法: ・非破壊検査 ・破壊検査 ① 目視・打診					• P2AI / • AI-1 **AI-2 • AI-3	断熱材: t=
5.3調査のための	補修方法: ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する					• P2A / • A-1	MIRROYO . C
破壊部分の補修	一関示・		1. 一般事項		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1210 11 11 11 11 11 11	
		3 章 1.1 適用範囲				T >+ (14 D)	/# +-
6.5 施工の検査等		十 1.1 週用範囲	防水工事の保証書の提出及び保証年限		施工部位	工法/種別	備考
9 化学物質の濃度測定	濃度測定: ○未実施・実施	水	○保証年限10年;アスファルト防水 ・合成高分子ルーフィング防水			• M4C ∕ • C-1 **C-2 • C-3 • C-4	
	化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確	改修	保証年限10年; 塗膜防水 ・その他;		I———	• M4D \(\cdot \cd	
	認し報告すること。	Ĭ	<保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出する. 防水			POD ∕ · D−1	仕上塗料;
			サーキは みょせい サイナー ひねらっぷせんではてく		◇M4D工法及びP0D工法の	D脱気装置	
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン		施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける>				
		1.3 施工一般	施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける> 降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示		脱気装置の種類: ※勢	製造メーカー仕様による ⊙図示 ・	
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン	1.3 施工一般 1.4 改修工法の種類				⊌造メーカー仕様による ○図示 ・ ※製造メーカー仕様による ○図示	
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ;	1.4 改修工法の種類	降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ⑥防水改修工法の種類	-	脱気装置の設置数量:	※製造メーカー仕様による ○図示・	
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ; 測定対象室: ・3階 普通教室(東) ・		降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ②防水改修工法の種類	-	脱気装置の設置数量: ◎屋根露出防水絶縁断熱コ	※製造メーカー仕様による ①図示 ・ ニ法	// // // · · · · · · · · · · · · · · ·
	 測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ; 測定対象室: ・3階 普通教室(東) ・ 測定箇所数: ・図示 ・2箇所 	1.4 改修工法の種類	降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ⑩防水改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考(特記工程) ・屋上防水押え PTB工法	-	脱気装置の設置数量: ◎屋根露出防水絶縁断熱コ 施工部位	※製造メーカー仕様による ①図示 ・ ::法	備考
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ; 測定対象室: ・3階 普通教室(東) ・ 測定箇所数: ・図示 ・2箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として	1.4 改修工法の種類	降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ②防水改修工法の種類	-	脱気装置の設置数量: ②屋根露出防水絶縁断熱コ 施工部位 ・PHR階屋上	※製造メーカー仕様による ①図示 ・ 	仕上塗料;
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ; 測定対象室: ・3階 普通教室(東) ・ 測定箇所数: ・図示 ・2箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として 登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者	1.4 改修工法の種類	降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ⑩防水改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考(特記工程) ・屋上防水押え PTB工法		脱気装置の設置数量: ◎屋根露出防水絶縁断熱コ施工部位 ・PHR階屋上 ・R階屋上	※製造メーカー仕様による ①図示・ :法 - 工法/種別 - PODI/・DI-1 ※DI-2 - M3DI/・DI-1 ※DI-2	仕上塗料; 仕上塗料;
	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ; 測定対象室: ・3階 普通教室(東) ・ 測定箇所数: ・図示 ・2箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として 登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者 とする。	1.4 改修工法の種類	降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ⑩防水改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考(特記工程) ・屋上防水押え PTB工法		脱気装置の設置数量: ◎屋根露出防水絶縁断熱コ施工部位 ・PHR階屋上 ・R階屋上	 ※製造メーカー仕様による ・図示・ 法 ・PODI/・DI-1 ※DI-2 ・M3DI/・DI-1 ※DI-2 ・M4DI/・DI-1 ※DI-2 	仕上塗料;
O	測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ; 測定対象室: ・3階 普通教室(東) ・ 測定箇所数: ・図示 ・2箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として 登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者	1.4 改修工法の種類	降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・ ⑩防水改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考(特記工程) ・屋上防水押え PTB工法		脱気装置の設置数量: ◎屋根露出防水絶縁断熱コ施工部位 ・PHR階屋上 ・R階屋上	※製造メーカー仕様による ①図示・ :法 - 工法/種別 - PODI/・DI-1 ※DI-2 - M3DI/・DI-1 ※DI-2	仕上塗料; 仕上塗料;

特記					承慧	検	図 設部	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事							2019.03	A-01
	図面名称	特記仕様書(1)	縮尺	A2 S=NS A3 S=NS					訂正年月日	

項 目		特記事項		章 項目	特記事項	H± ±	章 項目	0 7112-1/4144	特記事項 	
.3 種別及び工程 \	◎屋内防水			6 施工部位	工法/種別	備考	3 # 0.0 !! #!	9. アルミニウム製笠木		
		工法/種別	備考	P	• M4S / • S-M1 (SI-M1) • S-M2 (SI-M2) • S-M3		章 9.2 材 料	施工部位	工法/種別	備考
	・浴室 ・P1E/・E-		保護層:普通コンクリート	水	• M4SI ∕ • S-M1 (SI-M1) • S-M2 (SI-M2) • S-M3		防		- 250形 - 300形 - 350形	
	・機械室 ・P2E/・E-	1		改修	• P1S/ • S-C1		改修		・オープン形式 ・シール形式	
			保護層:軽量コンクリート	Ĭ	脱気装置:・設置		I I			
			保護層: モルタルt=30	争	断熱材の種類: ・押出法ポリスチレンフォーム3種B(スキン付) ・図示		争	アルミニウム製笠木の厚み	※ 2. 0mm ⋅	
5 保護層等の施工	保護層のコンクリートの厚さ:・10	00mm	· 図示 ·		断熱工法の断熱材の厚さ: ・25mm ・35mm ・50mm ・			笠木本体の表面処理: ・A-1	· B-1 ·	
	防水立上がり部の保護: ・露出 ・	コンクリート・レンが押え	• 乾式保護材:	5.4 施 工	目地処理(防水種別S-C1の場合):		9.3 工 法	新規笠木の下地及び撤去後の神	甫修: •	
	屋上排水溝:・設置する・設置し	ない			PCコンケリート下地の場合:・図示・			板材折曲げ型笠木の取付方法	: ・図示 ・	
					ALCパネル下地の場合: ・図示 ・					_
\	4. 改質アスファルトシート防水				入隅部の増張り(防水種別S-C1の場合):					
2 材 料	改質アスファルトシートの種別・厚さ	:			PCコンクリート下地の場合: ・図示 ・					
	※標準仕様書表3.4.1~3.4.3による	・メーカー仕様による			ALCパネル下地の場合: ・図示・		4	1. 一般事項		
	粘着層付改質アスファルトシートの種				機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法:・メーカー仕様に	よる・	4 章 ① 外壁改修T法の種類	◎コンクリート打放し仕上げ	小 題	
	※標準仕様書表3.4.1~3.4.3による				保護層の施行(防水種別S-C1の場合):	-0.0	外		'ヱ : ※樹脂注入工法 ※リカットシール材充	を慎て法 ※シール
	露出防水断熱工法の断熱材の材質・厚				平場のもりが床塗り工法: ※標準体様書6.15.6(b)(2,3)による		壁	欠損部改修工法の種類:		1英工丛 水/
) - 凶小 -	改 修	○ 大損の以修工法の種類: 5 ○ モルタル塗り仕上げ外壁	※元項工法 ·	
0 (ED) 7 - A- V	※標準仕様書3.4.2(c)による・メー	デー仕体による			平場のモルダル床塗り厚さ:・30mm・		工 事		WHIRE STATE OF THE	
3 種別及び工法	◎屋根露出防水密着工法				平場のコンクリートの厚さ: ・60mm ・80mm ・		7		: ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充	む填工法・ゲール
		工法/種別	備考		立上りのモルタル塗りの厚さ: ※7mm以下 ・			欠損部改修工法の種類:	・充填工法 ・モルタル塗替え工法	
	・PHR階屋上 ⋅ M4AS/・AS	-T1 • AS-T2 • AS-J2						浮き部改修工法の種類:		
	- R階屋上				6. 塗膜防水			アンカーピンニング部分エポキシ樹朋	旨注入工法・アンカーピンニング全面エポキ	シ 樹脂注入工法
				6.3 種別及び工程	施工部位 工法/種別	備考		• アンカーピンニング全面ポリマーセメン	トスラリー樹脂注入工法	
	◎屋根露出防水絶縁工法				POX/*X-1 · X-2	脱気装置:・設置		・注入口付アンカーピンニング部分	エポキシ樹脂注入工法	
	施工部位	工法/種別	備考		バルコニー ・L4X/・X-1 ※X-2	脱気装置:・設置		・注入口付アンカーピンニング全面	エポキシ樹脂注入工法	
	・PHR階屋上 ・M3AS / ・AS	-T3 • AS-T4 • AS-J1 • AS	S-J3 脱気装置:・設置					・注入口付アンカーピンニング全面	ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	
	· R階屋上 · POAS / · AS	-T3 • AS-T4 • AS-J1 • AS						・充填工法 ・モルタル塗り替え	え工法	
					仕上塗装の種類: ・製造メーカー標準仕様による ・遮熱塗料			◎タイル張り仕上げ外壁		
	◎屋根露出防水絶縁断熱工法				仕上塗装の使用量:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				: ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充	* 埴 丁 法
		工法/種別	備考		正工主农 少 区/川里 ·				・タイル部分張替え工法 ・タイル貼り替え	
					7 2 112 15				- ク1ルロロク 振音え工法 - ク1ル貼り音/	人工 広
	· PHR階屋上 · M3ASI ✓ · M	ASI-T1 · ASI-J1	防湿層:・設置	€0 ## #W	7. シーリング	T.L.T. + 1- 1- 7		浮き部改修工法の種類:	**************************************	1° 10 141 115 02 7 7
			脱気装置:・設置	① 材料	種類及び施工箇所: ・種類は標準仕様書表3.7.1により施工箇	所は下表による			射脂注入工法 ・アンカーピンニング全面エオ	ホ 砂樹脂注人工
	- R階屋上 - M4ASI/- ·	ASI-T1 • ASI-J1	防湿層:・設置	7.3 目地寸法	•			・アンカーピンニング全面ポリマーセ	メントスラリー樹脂注人工法	
			脱気装置:・設置		ノンブリードタイプシーリング材の適用: ※使用する ・使月	目しない		・注入口付アンカーピンニング部	分エポキシ樹脂注入工法	
	- POASI/ -	ASI-T1 · ASI-J1	防湿層: • 設置		施工箇所: ・ポリウレタン系シーリングで仕上げありの部位			・注入口付アンカーピンニング全	面エポキシ樹脂注入工法	
			脱気装置:・設置		•			・注入口付アンカーピンニング全	面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	
					施工箇所 シーリング材の種類 目地寸	法(mm) 保証年限		・注入口付アンカーピンニングエホ	、お樹脂注入タイル固定工法	
	5. 合成高分子系ルーフィングシート	防水			- 各階打継部分			・タイル部分張替え工法・	タイル貼り替え工法	
!材料	ルーフィングシートの種類・厚さ:	※標準仕様書表3.5.1~	~3.5.3による ・		• タイル伸縮目地			目地改修工法の種類:・	目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目は	地改修工法
	絶縁用シート: ※発泡ポリエチレンシート	- 図示 - \					1.5 外壁改修塗り仕上げ	◎塗り仕上げ外壁		
	断熱工法に用いる断熱材: ※標準仕	:様書3.5.2(c)(3)による	5 • 図示 •		- サッシ廻 り		の種類	新規仕上げの種類:		
		/種別	厚さ(mm)						・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗	塗材塗り
	S-F1(SI-F1) ・加硫ゴム系/・均質		*1.2 · 1.5 · 2.0	(1.8) シーリング材の試験					オ塗り ・各種塗料塗り ・マスチャ	
	S-F2(SI-F2) ・エチレン酢酸ピニル樹脂:		·1.2 ·1.5 %2.0	(7.)* 保証年限	シーリング保証書: ・提出する ・提出しない				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,, <u> </u>
	S-M1(SI-M1) ・加硫ゴム系/・均質		· 1.2 · 1.5 · 2.0	1.5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・) 温坦山士スート		2. 材 料		
	, , ,		1.2 *1.5 ·2.0		・保証書(請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証)は各 2	- 媼灰山りること。	2.2工法別仕様材料		ᆞᄼᄹᄡᇠᄧᄼᅟᅲᆘᇠᇎ	
			\				(人) (L) (L	樹脂注入工法のエポキシ樹脂		
	S-M3(SI-M3) ・塩化ビニル樹脂系/	・均質シート・複合シート	※ 1\2 ⋅ 1.5 ⋅ 2.0		8. とい			Uカットシール材充填工法用材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
3 種別及び工程				❷材料	軒どいの材種: ・アスファルト被覆鋼板 ・耐候性被覆鋼板 ・			・シーリング材【※1成分形ポリウ	ルタン系 ※2成分形ポリウレタン系 ・	
施工部位	工法/種別		備考		縦どいの材種: ・配管用鋼管 ・塩化ビニル管【・カラーVP ・カラ	-VU (•)VP ·]		・可とう性エポキシ樹脂 ・ポ		
PHR階屋上	• POS∕ • S-F1 (SI-F1) • S-F2 (SI-F2)				掃除口:・有・無				エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	
R階屋上	• POS∕ • S-M1 (SI-M1) • S-M2 (SI-M2)	• S-M3			飾り桝: 塩ビ製 銅板製			充填工法用材料: ①IIポキシ樹	脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	
	• P0SI ∕ • S−F1 (SI−F1) • S−F2 (SI−F2)			とい受け金物: マステンレス製 ・亜鉛めっき鋼板製			アンカーピンニング(注入口位	寸アンカーピンニング)注入工法用	材料:
	• POSI ∕ • S-M1 (SI-M1) • S-M2 (SI-M2) • S-M3			ルーフドレイン: ・ステンレス製 ・鋳鉄製 ・アルミニウム製			ポリマーセメントスラリー	: • 図示 •	
	• \$4\$/ • \$-F1 (\$I-F1) • \$-F2 (\$I-F2)			8.3 工 法	既存といの撤去及び降雨時の養生: ・仮設のといを設置する	· 図示 ·		アンカーピンの材質: ※ス	テンレス鋼(SUS304・φ4mm・全ネジ) ・	· 図示 ·
	• S4S/ • S-M1 (SI-M1) • S-M2 (SI-M2)	• S-M3			鋼管製といの防露: ・行う ・行わない			 注入口付アンカーピンの材質	質: ※ステンレス鋼(SUS304・φ6mm)	· 図示 ·
	· \$4\$1 ∕ · \$-F1 (\$I-F1) · \$-F2 (\$I-F2				施工箇所: ※標準仕様書表3.8.5による・				也材の適用: ・適用しない ・適月	
	• S4SI / • S-M1 (SI-M1) • S-M2 (SI-M2	<u> </u>			たてとい受金物の取付: ・図示 ・@2,000内外 ・@1,800p	3 M				,,, v .
		·						タイル貼替え、及びタイル部分		#### > #= - !
	• \$3\$/ • \$-F1 (\$I-F1) • \$-F2 (\$I-F2)				ルーフドレンの取替え: ・行わない ・行う【・標準仕様書3	. 0. 3 (11) による・・ 】		・ 小 リャーセメントセルタル ・ エホ ギシ科	樹脂 ・変成シリコーン樹脂 ・ポリウレタンホ	作到 りょうこうだい マンリコーン 科
	• \$3\$I / • \$-F1 (\$I-F1) • \$-F2 (\$I-F2									

特 記					承 認	検 図	設 計	製図	作図年月日	図面No.
] 工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事							2019.03	A-02
	図面名称	特記仕様書(2)	縮尺	A2 S=NS A3 S=NS					訂正年月日	

施工箇所	タイルの種類: 図示形式・形状寸法 (mm) タイルの試験張り: タイルの見本焼き: ②塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工領材料の防火指定: 種類 (呼び名)・外装薄塗材Si	用途による 耐凍害性 色 釉 区分 有 無 標準 特注 施釉 行わない ・行う 行わない ・行う 前所: ・図示 ・	┌── │ 備 考 │	4章 (1) 樹脂注入工法 外壁改修工事	3. コンクリート打放し仕上げ外壁の改修 注入工法の種類: ※自動式低圧IA* や樹脂注入工法 ・ 手動式IA* や樹脂注入工法 ・ 機械式IA* や樹脂注入工法 ・ 機械式IA* や樹脂注入工法 ・ ②自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔: ※200~300mm ・300~400mm ・ 注入量: ・ 約 cc/m	4 章 外壁 改 修 工法	伸縮目地の位置: ※標準仕様書表4.5. 誘発目地の位置: ※標準仕様書表4.5. タイル下地モルタルの接着力試験: ・ ⑨タイル張り工法 施工部位	1による ・図示 ・	
	(mm) タイルの試験張り: タイルの見本焼き: ・ ②塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工領 材料の防火指定: ・ 種類(呼び名)	区分 有 無 標準 特注 施釉 行わない ・行う 行わない ・行う 所: ・図示 ・ 無 ・有 (無釉 ・役物	外壁改修工事	・機械式エボキシ樹脂注入工法 ◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔: ※200~300mm ・300~400mm ・	外壁改 5.8 外張替え工法	タイル下地モルタルの接着力試験: ・ ◎タイル張り工法		
	タイルの試験張り: タイルの試験張り: タイルの見本焼き: ・ ②塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工値 材料の防火指定: ・ 種類(呼び名)	行わない ・行う 行わない ・行う 所: ・図示 ・ 無 ・有 (・役物	壁改修工事	◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法注入間隔: ※200~300mm ・300~400mm ・	壁 改 5.8 外級養之工法 修	◎タイル張り工法	117 - 1145/200	
	タイルの見本焼き: ©塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工億 材料の防火指定: 種類(呼び名)	行わない ・行う		以修工事	注入間隔: ※200~300mm ·300~400mm ·	修工			
	タイルの見本焼き: ©塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工億 材料の防火指定: 種類(呼び名)	行わない ・行う	1 仮物	工事		 	加工部位		* L=+FA
	タイルの見本焼き: ©塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工億 材料の防火指定: 種類(呼び名)	行わない ・行う		7	注人量: • 約 cc/m	事			着力試験
\	◎塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工値 材料の防火指定:種類(呼び名)	育所: ·図示 · 無 ·有(行わない
	薄付仕上塗材の施工® 材料の防火指定: 種類(呼び名)	無 ·有(◎手動式エポキシ樹脂注入工法		・改良積上げ引		
	材料の防火指定: 種類 (呼び名)	無 ·有(注入間隔: • 200~300mm • 300~400mm •		\	Eサ [*] イクタイル張り ・図示	
	種類(呼び名)				◎機械式エポキシ樹脂注入工法		- 陶磁器タイル接	着剤張り	
		仕上げの形状			注入間隔: ·200~300mm ·300~400mm ·		◎有機系接着剤による陶磁器タイル張り	工法	
	・外装薄塗材Si	11100000	工法		コア抜取り検査: ・行わない ・行う【個数: ※1個/500m · 】		打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地: ※	ポリウレタン系シーリング材・	
	\	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け		コア抜き取り部の補修方法: •エポキン樹脂モルタル充填 •ポリマーセメントモルタル充填 •		伸縮調整目地・その他の目地: ※変	成シリコーン系シーリング材・	
	_	・ゆず肌状・さざ波状	ローラー塗り	€5 Uカットシール材充填工法	◎充填	5. 9~5. 15	◎アンカーピンニング工法		
	・可とう形外装	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け		充填材: ・シーリング用材充填 ・シーリング材の上にポリマーセメント充填	アンカーピンニング工法	T 14 47 II4	アンカーピン(本/m゚) 注入孔数(箇所)	/㎡) 1箇所当り
	→ 薄塗材Sⅰ	・ゆず肌状・さざ波状	ローラー塗り		・可とう性エポキシ樹脂充填・		工法名称	一般部分 指定部分 一般部分 指定	部分 充填量(cc)
	外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け	3.7 充填工法	材料:・エポキシ樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル・		・アンカーピンニング部分エポキン樹脂注入工法	16 25 16 29	5
		・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り				・アンカーピソニング。全面エポキシ樹脂注入工法	13 20 12 20) <u>*25</u>
		・ゆず肌状・さざ波状	ローラー塗り		4. モルタル塗り仕上げ外壁の改修		・アンカーヒ、ンニング、全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	13 20 12 20) <u>**</u> 50
	・可とう形外装	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	4.4 樹脂注入工法	○自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	<u>*9 *16 9 10</u>	
	薄塗材E	・平たん状・凹凸状	こて塗り		注入間隔: ※200~300mm · 300~400mm ·		・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	*9 *16 *9 *1	
	\ 4 \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	・ゆず肌状・さざ波状	ローラー塗り		注入量: ·約 cc/m		・注入口付アンカーピンニング全面がリマーセメントスラント樹脂注		
	. 昨水形以牡本冬叶。	・ゆず肌状・さざ波状	ローラー塗り		注入里: ・約 CG/Ⅲ │◎手動式エポキシ樹脂注入工法		・注入口付アンカービンニング・全面は、リヤーセアンドスカット側指注。		× 30
	- 防小形外表海坐物 二						・注入口刊フルビフーグ 主面ホイク樹脂注入グル回及		ナクキ四句
	#	・凹凸状	吹付け		注入間隔: •200~300mm •300~400mm •			指定部分:見上げ部、庇の鼻先 ∖	、よくさ隣部
	薄付仕上塗材の施工箇所				◎機械式エポキシ樹脂注入工法				
		・有(注入間隔: ・200~300mm ・300~400mm ・		6. 塗り仕上げ外壁等の改修		
	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法		マア抜取り検査: ・行わない ・行う【個数: ※1個/500m ・ 】	6.2 一般事項	工程ごとの所要量: 標準仕様書表4.	6.1による・メーカー仕様による	· 図示
	・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け		コア抜き取り部の補修方法: ・エボキシ樹脂モルタル充填 ・ポリマーセメントモルタル充填 ・	6.3 既存塗膜等の除去	施工部位	工法/種別	備考
				4.6 リカットシール材充填工法	◎充填	下地処理及び下地調整	- #\/9°	-工法	
	厚付仕上塗材の施工箇所	f: • 図示 •			充填材: ・シーリング用材充填 ・シーリング材の上にポリマーセメント充填		- 高圧	水洗工法	
	材料の防火指定:・無	₹ ・有 〈			・可とう性エポキシ樹脂充填・		· 塗膜	はく離剤工法	
	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	4.8 充填工法	材料: ・エホーキシ樹脂モルタル ・ポリマーセタントモルタル ・		・水洗	い工法	
li li	外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け	4.9 モルタル塗替え工法	塗り厚が25mmを超える場合: ・図示 ・		サンダー工法の処理範囲: ・既存仕上	全面 ・図示 ・	
		・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落	をし こて塗り	4.10~4.15	◎アンカーピンニングエ法		 高圧水洗工法の処理範囲: ・既存仕上	全面 ・図示 ・	
		・吹放し・凸部処理	吹付け	アンカーピンニング工法	7ンカーピン(本/㎡) 注入孔数(箇所/㎡) 1箇所当り	_	 塗膜はく離剤工法の処理範囲: ・既存	仕上全面 · 図示 ·	
	· 外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り		工法名称		水洗い工法の処理範囲: ・既存仕上全		
	719477 = 17 =	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ローラー塗り		・アンカーቲ' ンニング' 部分エポ' 杉樹脂注入工法 16 25 16 25 ※25	_			
		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	,, =,		・アンカーゼ・ンニング・全面エボ・杉樹脂注入工法 13 20 12 20 ※25	_	フ.マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の	改修	
		f· · · 図示 ·			・アンカーゼ ンニング 全面ボ リマーセントスラリー樹脂注入工法 13 20 12 20 ※50	— 7.2 マスチック塗材塗り	種別: • A種 • B種	7112	
	材料の防火指定:・無				・注入口付アンカーピンニング部分エポキン樹脂注入工法 ※9 ※16 9 16 ※25	— / (A///±19± /	1279 - 792 - 792		
		# ・有(不然認定品 仕上げの形状	- >+			_			
	種類(呼び名)	12-17-17-17-1	工法		・注入口付アンカービンニング全面エボキン樹脂注入工法	_			
	・複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け		- 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法 9 16 9 16 ※50		4 60. = 7=		
	・複層塗材Si	・ゆず肌状	ローラー塗り			5	1. 一般事項		
	・複層塗材E				5. タイル張り仕上げ外壁の改修	草 1.3 改修工法	工法:・かぶせ工法・撤去工法・		
	・複層塗材RE			5.5 樹脂注入工法	注入工法の種類: ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	建	新規建具用開口部の補強方法: 図示		
	・可とう形複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け		· 機械式エボキン樹脂注入工法 · \	改修	新規建具用開口部の範囲:・図示・		
		・ゆず肌状	\ □-ラ-塗り		◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	1.4 防火戸	防火戸の指定:・図示・		
	・防水形複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け		注入間隔: ※200~300mm ・300~400mm ・	事	防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築	センター評定品とする。	
	·防水形複層塗材E	・ゆず肌状	ローラー塗り		注入量: ·約 cc/m	1.5 見本の制作等	建具見本の制作: ・必要 ・不要		
	·防水形複層塗材RS				◎手動式エポキシ樹脂注入工法		仮組の実施 : ・行う ・行わない		
	·防水形複層塗材RE				注入間隔: · 200~300mm · 300~400mm ·		防犯建物部品の適用: ・図示 ・適用	- 適用しない	
	・可とう形改修塗材 E	・平たん状・さざ波	ローラー塗り		◎機械式エポキシ樹脂注入工法				
	・可とう形改修塗材RE		吹付け		注入間隔: ·200~300mm ·300~400mm ·		2. アルミニウム製建具		
	・可とう形改修塗材CE		X13.17		コア抜取り検査: ・行わない ・行う【個数: ※1個/500m · 】	2.2 性能及び構造		k密性 枠の見込み寸法	(mm)
	耐候性: ※耐候形3種			5.6 Uカットシール材充填工法	○充填	ことは配及び特定	- A種 S-4	1十ツ元だりが広	,//
				3.0 0//// M何 兀県工広			- A程	W-4 70	
		・溶剤系 ・弱溶剤系・ ※ はない。	· - = 7		充填材:・シーリング用材充填・シーリング材の上にポリマーセメント充填			W E 100	
		・シリカ系・ポーリウレタン系・アクリルシリコン系	・・ふつ系糸	F 7 & 44 do 43 25 44 5 12	・可とう性は、お樹脂充填 ・		- C種 S-6 A-4	W-5 100	
		5り ・ つやなし ・ メタリック ・		5.7 タイル部分張替え工法	張付け材料: ・ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂				
	防水形の増塗材の適用:	・する・しない			- シリコン樹脂 ・		防音ドアセット、サッシの適用: ・適	用 ・適用しない ・図示	
									18
				 工事名称 上野 西	小学校屋内運動場大規模改造工事		承認	検図 設計 製図 作図年月	月日
				<u>T</u>	小子 校 崖 内連 <u>期</u> 場入			訂正年月	

章 項目	特記事項	章 項目		特	持記事項		章 項目		特記事項	
5 2.2 性能及び構造	遮音性の等級: ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4	5 7.2 材質、形状	ドアクローザのディ	ィレードアクション	(遅延閉)機能の適用:	適用 ・適用しない	5 12.3材 料	ガイドレールの材質:	※塗装溶融亜鉛めっき鋼板	• ステンレス鋼板
章	断熱ドアセット、サッシの適用: ・適用 ・適用しない ・図示	章 及び寸法	戸当り: あおり	り止め(フック)付き・	あおり止め(フック)付きなし		章			
建 具 改 修 工 事 2.3 材 料	断熱性の等級: ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5	建	樹脂製建具の丁番:	※標準仕様書表5.7	7.3による ・		建	③. ガラス		
具 改	耐震ドアセットの適用: ・適用 ・適用しない ・図示	具 改 7.3 取付け施工	握玉、レバーハンドル	レ等の取付位置:	• FL+900 • FL+950 • FL	+1,000		ガラスの種類: ・・建身	₹表による・	
修 工	面内変形追随性の等級: •D-1 •D-2 •D-3	修 エ	クレセント類の取付値	位置: •FL+900~F	FL+1,500迄 •		修 工	ガラス留め材		
事 2.3 材 料	防虫網の適用: ・適用 ・適用しない ・図示	事 (4) 鍵	マスターキー: ①	製作する ・製作し	しない		事	建具の種類	種	類・材質
	網の材種: ※合成樹脂製 ・ステンレス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製		. 4	スターキーの製作について	ては施設管理者及び監督員	と協議する。		・アルミニウム製	・シーリング 材 ※ガスケット ・ノ	いテ材(・1種 ・2種)
	 形式 : ・外面納まり可動式 ・外面納まり固定式		マスターキーの系統	充: 系統					※シーリング材・パテ材(・1種	· 2種)
2.4 形状及び仕上げ	建具枠の見込: ・図示 ・70 ・100 ・		指定建物錠の防犯性能	能の適用: ・する	・しない			- ステンレス製	※シーリング材 ・パテ材(・1種	• 2種)
	 外部に面する建具の表面処理: ・B-1種 ・B-2種		指定建物錠とは、建物	物の外部出入口用に用	用いるシリンダー錠・シリンダー/サ	・ムターン錠が該当		· 木 製	※シーリング材・パテ材(・木製	製用 ·)
	屋内の建具の表面処理 : • C-1種 • C-2種		耐ピッキング性能		5分以上 ※10分以上					 性製建具用パテはJISA5752による。
	表面色:・標準色・特注色		耐鍵穴壊し性能	•5分未満 •	5分以上 ※10分以上		形状等	ガラス溝の大きさ:※	※標準仕様書表5.13.1による	•
	引違い建具落下防止機構: ・採用する ・採用しない				:満) ※あり(5分以上)		13.4工 法		周整: ・行う ・行わない	
2.5 工 法	結露水の処理方法:・・				:満) ※あり (5分以上)		13.5ガラスプロック積み		・プレーン ・梨地 ・カスミ ・	
	水切り板: ・取付ける ・取付けない		耐こじ破り性能		満) ※あり(5分以上)		7 7,7,00		• 190x190x95 • 145x145x9	
	ぜん板 : ・取付ける ・取付けない		出荷時の子鍵本数:						・7ルミニウム製 ・スチール製 ・ス	
	270 M . ANTITO A		鍵箱の適用:・必要					補強剤 : ・図示		777773
	3. 樹脂製建具		対定相 リン 地 / 11 : 20 3	2 1720-32				化粧目地の色: 白		
3.2 性能及び構造	3. 個加級建兵		8. 自動ドア開閉装置						・ク レー ・ 歳 ・ サルファイド系 ・ウレタン系 ・シリコ	' ·系·
0.2 江肥及い菁坦	性 別 別風圧圧	8.2 性 能			_D-1 • SSLD-2 • DSLD-1	• DSI D=2		金属製化粧カバー:		· //\
	· B種 S-5 A-4	0.2 II HE	7717127170	グ 新 初 主用と、 	LD 1 - 30LD 2 - D0LD 1	DOLD Z		風圧力に対応した工法:		
	· C種 S-6 W-5		スイングドアの開閉性	++±bcwn 1 .	CMD 3			目地幅: ※標準仕様		
	**	8.3 機 構	戸の開閉方法:		3110-2				※標準仕様書による	
	遊音性の種別: ・T-A ・T-B	0.0 1度 1再			(ッチ ・熱線スイッチ ・音波ス	/#1 - 业量7/#1			※標準仕様書による・	
	避音性の性別: ・1-A ・1-D 断熱ドアセット、サッシの適用: ・適用 ・適用しない ・図示				リンテ ・ おやがぶヘ1ツテ ・ 盲 次ス ルスイッチ ・ へ゜タ゛ルスイッチ ・ 多			押船調金日地の仕上:	次保年11休告による ・	
	断熱性の種別: ·H-A ·H-B ·H-C ·			· ንንፓለ1ንፓ - ታዋጥ ንን	/A17T • ^ 7 WA17T • 39	位を形式が入れて				
2 2 ++ ₩1			*************************************	· - 4m.						
3.3 材 料	ガラスの形式: ・複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス ・		│ 凍結防止装置: • 有	無				4 60. ** **		
3.4 形状及び仕上げ	建具の表面色: ・標準色 ・特注色			= \ + \- \-			6 章 (1.3) 他の部位との	1. 一般事項	♥ミエサ - 陰五⊀8亡のみぬ笠□	
3.5 工 法	水切り板:・取付ける・取付けない	9.3 性能等	9. 自閉式上吊り引き				. •		¥う天井、壁及ぴ床の改修範囲 - ハメ゙ニ ┺ U. ヘム エ共元 佐笠岡	
	ぜん板 : ・取付ける ・取付けない	9.3 性能等	性能: ※標準仕様制	§表5.9.1による •			内 取合い等 装			: ※両側600mm程度 · 図示
	AS duty S						改 修 工 ① 工 法		合い壁の改修範囲: ※既存の	りまま ・凶示
4 0 14 05 77 48 14 34	4. 鋼製建具	10.074 - 7.74 - 4.144 - 14.	10. 重量シャッター				工 4.9 ⊥ 法	既存部分の撤去工法:		
4.2 性能及び構造	性能及び構造: ※JIS規格による・	10.2形式及び機構	ンヤッダーの種類:		/ャッター ・外壁用防火シャッター			_	1棟書6.2 ●標準仕棟書6.3	·標準仕様書6.4】 ·図示
4.0.11	外部に面する鋼製建具の耐風圧性能: ·S-4 ·S-5 ·S-6 ·		TI D E 14 64 50		9- ・防煙シャッタ- ・			新設下地の工法:		(III)# // #### 7 7
4.3 材 料	亜鉛メッキ銅板のメッキの最小付着量(両面): ・Z12又はF12(120 g/m2)以上・		耐風圧性能: •50					_		─標準仕様書6.7】・図示
4.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ: ※標準仕様書表5.4.2による・図示・		開閉機能 : ※上部					仕上けの工法: ※該当	当項の有無により適用する ・	・凶不
	鋼板類の厚さ(W>950mm, H>2, 100mmの場合): ・図示 ・		シャッターケース:	・凶示 ※設ける	・ 設けない					
	防音ドアセット、サッシの適用:・適用・適用しない・図示						0 - 11	2. 既存床の撤去並びに		
	遮音性の等級: ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4		1 1. 軽量シャッター				∅ ェ 法		長: ●機械的除去工法 ・目	
		11.2形式及び機構	開閉形式 : ※手動					改装後の床の清掃範囲:	・図示・図示	
	5. 鋼製軽量建具		〈開閉形式〉: ※手動		(手動併用) •					
5.2 性能及び構造	性能及び構造: ※JIS規格による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		耐風圧性能: •50					3. 既存壁の撤去並びに		
	簡易気密型ドアセットの適用: ・適用 ・適用しない ・図示	11.3材料	スラットの材質: ※				3.2 工 法		等の撤去に伴う構造体の補修: 	
	気密性 · A−1 · A−2 ※A−3				にニウム合金めっき鋼板 ・ア	ルジャング ボックス かんしゅう はいまい しゅうしゅう かんしゅう はいまい しゅうしゅう はいまい はいまい しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいまい はいまい はいまい はいまい しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいまい しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいまい しゅうしゅう はいまれる しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいまれる しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいまれる しゅうしゅう しゅう		・モルタル塗り(改修標準	排仕様書4.4.9による) ・図	示 •
	水密性: ・₩-1 ・		〈パイプの材質〉:							
5.3 材 料	鋼板の種別: ・ピニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示		〈パイプ径〉: ・図		nm - 19mm -			5. 木下地等		
	召合わせ、縦小口包み板等の材質: ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出形材		〈パイプ間隔〉: ・図				5.1 一般事項	I	上げの適用箇所、種類: ・図	
			〈格子間隔〉: • 图						適用箇所	種類
	6. ステンレス製建具	11.4形状及び仕上げ	スラットの形状:	・インターロッキンク゛形 ・オ	ナーバーラッヒ゛ンク゛形			•開口部額緣 •建身		• A種 • B種 • C種
6.3 材 料	性能及び構造: ※JIS規格による・							- ブ ライント ホックス・カーテン		・A種 ・B種 ・C種
	ステンレス鋼鈑の材質: ※SUS304, 430J1L, 430 · SUS304 · SUS430 ·		12. オーバーヘット					・飾り柱・格子・	カウンター天板・衝立	・A種 ・B種 ・C種
	表面仕上げ: ※州 ・鏡面 ・パフ()・	12.2形式及び機構	セクション材料による					- 棚板 -		・A種 ・B種 ・C種
6.5 工 法	曲げ加工:・普通曲げ・角出し曲げ				重類 収納形式による区分	ガイドレールの材料		・梯子・		・A種 ・B種 ・C種
			• スチールタイプ	• パランス式	• スタンダード形	• 鋼製				
	7. 建具用金物		・アルミニウムタイプ。	・チェーン式	• ローヘット 形	ステンレス製				
7.1 適用範囲	適用範囲:・建具製作所仕様以外の金物(• ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形		5.2 木 材	◎一般事項		
7.2 材質、形状	金物の種類、材質: ・標準仕様書表5.7.1による・				・ ハ゛ーチカル形			木材の含水率: ※A	種 • B種	
	軸吊りヒンジ: ・自閉装置付き ・自閉装置なし		耐風圧性能: •50				I I	1		

特 記						承認	検 図	設 計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改修工事								2019.03	A-04
	図面名称	特記仕様書(4)	縮尺	A2 S=NS A3 S=NS	7					訂正年月日	

項目			特記	記事項				章 項目				特記事項			章 項	目		4	持記事項		
5.2 木 材 ◎製	材							6	◎床張り用合	る板等					6		7. 軽量鉄骨壁下地				
◇JASによる下地用針葉	樹製材:	表による	(寸法は図え	示) • 🛭	☑示 ·			章	接着剤のホルムフ	アルデヒド放青	対量: ※F:	**** · l	***		章 ① 形式及び	讨法	種類: ・50形 ●65冊	隊 ・90形 ・10	0形 -		
使用部位	樹種	区分等	級 含水率	☑ 仕上げ	防腐防	蟻処理	備考	内 ◇JASによる普	普通合板						内		スタッドの高さが5mを起	超える場合:	図示 ・		
全般	桧	• 1級	SD15	サンタ゛ー	なし			改 使用部位	立表	板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等	- 装						
	杉	※2級	SD20	サンタ゛ー	なし			修 T		ラワン	※ 5. 5	※1類	※2等	図示	- 修 T		⑧ ビニル床シート、ヒ	ニニル床タイル及	びゴム床タ	タイル張り	
			D15	プレーナー	なし			事		シナ	9	2類	1等		- 事 8.2 材料		ビニル床シートの材料:	: • 図示 • 下:	表による		
				プレーナー	_						12				-		種類		記号	色柄	厚さ(mm)
			-	1,,,	-			————————————————————————————————————	* * *				71.00		-		・発泡砲層のないビニル		₩FS		*2.3 · 2.5
◇JASによる造作用針葉	掛制材・・・		(古注什図:	_	 図示 ・			使用部位		板樹種名	等級	技美の程度	板面の品質	処理・寸法等	-)	PK7 1	- NS	• 7-7 N	. 2.0
使用部位		化粧等		☆ 仕上げ		- ≜¥ bn III	/# *	各室床下地捨て張		針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材	-		- 発泡層のあるビニル床	2. 1	- D0		※2.3 ⋅3.5
	樹種					1 類処理	備考	<u> 合主体ト地信(協</u>	: b					「以以以以/的出处理例	-			λ_ L	- 00	'	×2.3 · 3.5
窓枠	+5	無節		サンタ゛ー						シナ	2級	1類	B-C		-		(クッションフロア)				
床仕上げ板	杉	※上小	_	サンタ゛ー	+					15			D-D		_						
カーテンホ゛ックス	桧	※小館	-	プレーナー	+			◇パーティクルオ							_						
段板		並	D18	プレーナー	なし			使用部位	立 厚	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等	_		ビニル床タイル、ゴム店	末タイルの材料:	• 図示	・下表による	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>
巾木										※ 15			₩13P/M	• 図示	_			種類			厚さ(mm)
◇JASによる広葉樹製材	・下表に。	さる (寸法	は図示)・	図示	•					18							・コンポジションビニル床タイル		4	半硬質(CT)	※2.0 ⋅
使用部位	樹種	区分等	級 含水率	፟፟፟፟፟፟仕上げ	防腐防	蟻処理	備考										・コンポジションビニル床タイル		車	次質(CTS)	※2.0 ⋅
全般	ケヤキ	特等	D10	サンタ゛ー	なし				◇構造用バ	パネル							・ ホモジニアスビニル床タイル(H	T)			※2.0 ⋅
	† 5	※1 等	D13	プレーナー	K1				曲げ等級	及: •1級	- 2級 -	3級 - 4級					・ゴム床タイル			·無地	- 4. 0 -
		2等			なし				厚み:	· 図示 ·	25mm •								.	・マーフ゛ル	- 4. 0 -
◇JAS以外の製材: ・	 下表による([、]			٠.	-			5.3 接合具等				☆☆☆ · l	***				接着剤のホルムアルデヒド放制	枚量: ※F☆☆☆		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1
使用部位		材面の品			防腐防	蟻処理	 備 考	5.4 木ルンカ*				**** •I					・帯電防止床シート張り				
N. I. H. L.	桧	※A和			193 IPG (9)		914 · J	5.5 防腐・防蟻	◎薬剤の加圧								種類: •				
	杉	B種		_				・防虫処理		直用部位	(BE CRI SEI CRI C	性能区分			-		性能: 体積抵抗値	古(1 0v100 O) -	_		
		D作里						- 阴虽处垤		回用即江				1	-						
10.4.4	松		20%									K2 - K3 -			-		厚さ: • 2.0mm •		•		
	用集成材											K2 - K3 -			_		・視覚障害者用床タイル				
接着剤	のホルムアルテ゛ヒト゛ カ	対散量:	%F☆☆☆☆	. • F☆ 3	☆☆ ·				加圧注入用	用木材のインサ	イジング :	適用する	摘要しない				種類: •合成ゴム貼	付用 ・合成ゴム	埋込用 ・	・合成ゴム裏面(CON
・JASによる造作用集成材	:【・下表	こよる(寸	法は図示)	• 図示	•	1			薬剤の塗布	fiによる防腐	ま・防蟻処理	■の方法: ※	(標準仕様書)	よる・			・せっ器質タ	イル ・コンクリート			
JAS以外の造作用集成材	: 【・下表	こよる(寸	法は図示)	• 図示	•				ボード原料オ	接着剤への	薬剤混入に。	よる防腐・防!	蟻処理の方法	: •			厚み: •2mm •15	mm - 20mm - 3	Omm -		
体田郊		4	 上げ 樹種	見	付材	区分	備考		◎防虫処理								耐動荷重性床シート引	長り: 種類() 厚さ()	
使用部位		111-	コナー 倒程	面	品質	等級	頒 有		木材の防虫処	12理: •							ビニル幅木の厚み:	※1.5mm以上 ·			
		仕_	上有	1面	※1等	1等		5.6~5.9	樹種: ※	《下表を標準	≛とし変更す	る場合は、事	前に監督員の)承諾を得る事。			ビニル幅木の高さ:	※60mm ⋅ 100mm	ım -		
		未任	上上		2等	2等				使	用箇所			材種	- 83 ェ 法		下地の工法: ※モルタル塗	金り下地 ・木造	下地 • [図示 •	
		塗	装	4面					・R C 造等の	ウ内部間仕り	・間仕	上切軸組	※杉・		-		熱溶接工法: ・適用す	する ・適用しな	い		
	用集成材・		よる (寸法)	は図示)	- 図示		1		軸組及び床	E組	床組	1	※杉又は	松 •	-						
JAS以外の化粧ばり造作							1				• 吊元	- - - 枠、水掛かり	-				9. カーペット敷き				
でんじの/107旧組成 / 連目	711,74,74,71	1	樹種		付材	区分				- (()		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	14		9.3 材料		◎織じゅうたん				
使用部位	仕上げ		化粧材/厚さ		品質	4 1	備考		- 床板張り			1年及び放冶	. ×+> .		- 0.0 19		種別: ・A種 ・B科	系 _ ∩ ∓系			
	,,,,	_	16桩例/序合		+	_				. 	****	1 似、上かり恒	-		-					/# =° 124 CT	
	仕上有			I III	※1等				・壁及び天井				※杉又は	松・	_		パイル形状: • カット		ル ・ カットン	/ ルーノ 併用	
	未仕上				2等	2等		5.*堅木			サクラ - クリ	リ ・ シオジ ・					色柄: ・無地 ・ 材				
	塗装			4面					使用箇所:	•							帯電性の適用: ・ 通	箇用しない ・適	用する【ノ	人体帯電圧:	※3kV以下 ·
JASによる化粧ばり構造	用集成柱:	【・下表に	よる(寸法に	は図示)	・図示		1	5.* 銘 木	種別: • 真	真物 ・貼物	7						◎タフ ァ ッドカーペット	-			
JAS以外の化粧ばり構造	用集成柱:	【・下表に	よる(寸法に	は図示)	• 図示		1		樹種: •								パイル形状・ループ	。 ・ カット ・			
/± III to 1/±	3A # ** **		樹種	見	付材	区分	# *		使用箇所:								パイル長:・図示	- mm			
使用部位	強度等級	心材	化粧材/厚さ	さ面	品質	等級	備考										◎ニードルパンチカー	ペット			
	E190-F615			1面	1等	1等			6. 軽量鉄骨	天井下地							厚さ: ・4mm ・7m	m ·			
	E105-F345				2等	2等		6.2 材 料	種類: ※標		長6. 6. 1による	3 •					◎タイルカーペット				
	E65-F255	1		4面	+ - "			6.3 形式及び寸法				。 /サートの間隔	i - ≐@0∩)mm -			パイル形状	種類			(i) 総厚さ(i
	用単板積層材			тш				0. 0 10 M O 11 M				・ 表6.6.2によ					※第1種ハープパイル	※第1種	,	₹500x500	※6.5
		L #L .=	WEA A A A					6.4 = +									次 切 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2	X 300X300	₩0. 5
	のホルムアルデヒドカ = - -						_	6.4 工 法				・行わない					1.1.1.1	•第2種	1		
JASによる造作用単板積]					(3)による					・カットハ゜イル				
JAS以外の造作用単板積	層材: 【・-	表による	(寸法は図テ	示) • 🗵	☑示 •		1		屋外の引抜き	き試験の箇別	ī: · 図示	・屋内と同]等程度 •				- カット/ルーフ゜併用				
使用部位		<u>چ</u>	 	表面の	R 大 R 安 R 七	蟻処理	備考		切断された天	F井下地の 補	強方法:	・図示									
医加即四			·+ L-1)	品質	(A) BØI (A)	城烂 生	Er Bru		屋外の軒天井	‡、ピロティ	一天井の補	i 強:									
		*1	4% 仕上有	1等	ta	i L	天然木化粧加工		• 図示 •								◎下敷き材				
			仕上有	2等					・天井内配	2管類及び5	ブクト等によ	り、野縁受け	を吊れない場	合には、野縁受けの断面			下敷き材: ※反毛ス	フェルト第2種2号	(呼厚8mm)		
				- 3等	1		<u> </u>							て十分補強を行う。			接着剤のホルムアルデヒド放散				
				- 13	1								., _,,,,,,,								
									- 모니	1. 人 (十五) 竺 ※	あながかし	・等とは絶縁し	て取り仕げる								

特記					承 認	検 図	設計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事							2019.03	A-05
	図面名称	特記仕様書(5)	縮尺	A2 S=NS A3 S=NS					訂正年月日	

項 目 法	タフテッドカーペット	·	特記事項 グリッパー工法 ・全面打	接善子注 ·		章 項目	材 種	12	特記事項	厚さ(mm)	工法	章 項目 (6.4) 接着剤による陶磁器	三 日本 イル 課 口	131	7事項		
14						6 「v. v 上 本 音	l	-		厚さ(mm) ・9 ・12	 - A種	6 10.4 接着削による陶磁器		= OT=1-1-7			
	タイルカーペットの敷					*	・捨張り用合板	・南洋材・	・型枠用	9 - 12	_		タイルの種類: ・図:			E1 ***	
		(階段部分)	: ※模様流し・			内 装		• 針葉樹	- 構造用	<u> </u>	※B種		形式・形状寸法	用途による一耐波			備:
						改修	・有孔合板	· >>	・1類	-4 -6	• A種	改修	(mm)	区分有	無標準	特注 施釉 無釉	i
	10. 合成樹脂塗床					IS I			・2類		※B種		f 25角ネット張り	0	0	0	
0.2 材 料	種類		仕上げ種類		備考	事	• 天然木化粧合板	化粧単板のそば	包み	- 4. 2 -	• A種	事 多目的便所	25角ネット張り	0		0	
0.3 工 法	・弾性ウレタン塗り床材	※平滑・	・防滑・つや消し					・行う ※行	わない		※B種						
	Iポキシ樹脂塗り床材	・薄膜流し	展べ					化粧単板の厚さ									
		■ 厚膜流し	レ展べ: ※平滑 · 防	片滑				※0.3未満・									
			ル: ・平滑 ・防滑	****			│ ・特殊加工化粧合板	1	<u></u> 松百	- 4. 0 - 3. 0	- Δ插		 │◎タイルの役物				
	サギシのキルフリー・トト・拉帯		<u>~ </u>				1977/112 1041 114	• x5 \ • x \ 117		1.0 0.0	※B種		使用箇所:・出隅	. 7 km · vp=+	. ± // + .	吹ム	
	197 44 07 4WA 7 W 7 C F 7 JX F3	(里. 次(以)	- אאוי אא					- 7727 - 14 717	\		次が生			_		心口	
		=											製造方法: 接着	_			
	11. フローリング張												タイルの見本焼き:	_			
1.2 材 料	種類	材 種	工法		等(mm)LxWx t		材料のホルムアルデヒドカ	(散量: ※F☆☆・	☆☆ ·F☆☆☆	•			タイルの試験張り:				
1.3~11.5 工 法	・フローリング ボード1等	* ##5	・ 釘留め工法(根太張	₹) - 500 (L) x7	'5(W) x15(t) 以上		普通合板の防虫処理	!: ※行わない	・行う				壁タイル張り工法:	・改良積上張り(・	接着張り		
			・ 釘留め工法(直張り	J)			天然木化粧合板の防	5虫処理: ※行れ	つない ・行う								
			・接着工法				特殊加工化粧合板の	防虫処理: ※行	うわない ・行う				17. セルフレベリン	ブ材塗り			
	・フローリング ブ ロック1等	* ##	・ 釘留め工法(根太張	€) - 303x303	(L) x15(t) 以上		接着剤のホルムアルデヒド	放散量: ※F☆	☆☆☆ •F☆☆☆	☆ •		17.2 材 料	品質: 处沙系	せっこう系・			
			・ 釘留め工法(直張り	J)			せっこうボードの目	地処理: ・継目	目処理工法 ・目記	透し工法 ・突付けコ	法		厚さ: ・10mm ・図:				
			接着工法				遮音シール材: ・										
	- モサ゛イクパーケット1等	* ##	・ 釘留め工法(根太張	(事) 厚 カ・・・	6 - 7 - 8												
	• 弾性モザイクパーケット	~//	・ 釘留め工法(直張り	.	- , 0		14. 壁紙張り										
	- 7半1土てり 1ソハ ニリット			′′		14.2 材 料		・下車による	PXI —				1. 一般事項				
	15.4	•	・接着工法	->		14.2 材 料	防火性能の指定:			11		7					
	• 複合フローリング	* ##	・ 釘留め工法(根太張				品質	検定区	⊠分	施工箇	听	章切材料	塗料の防火材料の指定	: ・図示 ・無	• 有(
		サクラ	・ 釘留め工法(直張り	J) · A種 · E	B種 ※C種		· 1\1777系	1級 ・2級 ・				塗 装					
		- 協議	・接着工法	• A種 • E	種 ※C種		・織物系	1級 ・3級 ・4級	及 -			改修	② 下地調整				
	材料のホルムアルデヒド放制	対量: ※F☆ 7	☆☆☆ ·F☆☆☆ ·				• プラスチック系 -	1級 - 2級 -				<u> </u>	塗装面の種類			種別	
	接着剤のホルムアルデヒドカ	放散量: ※Fs	☆☆☆☆ •F☆☆☆									事	木部(不透明塗料塗り	部) ·RA種	KRB種 ⋅ RC	種	
1.6 現場塗装仕上げ	仕上げ: ※ウレタン樹脂	57ニス塗り • ほ	既製仕上げ										木部 (透明系塗料塗り	部) - RA種	※RB種 ⋅ RC	 種	-
							 材料のホルムアルデヒド放		☆☆ ·F☆☆☆) 鉄鋼面	- RA種		 種	
	12. 畳敷き					14.3 施 工	モルタル面及びプラ		_				亜鉛メッキ鋼面	<u> </u>			-
2.2 材 料	種別: • A種 • B相	手 . C番				11.0 //5	コンクリート面の下						モルタル、プラスター		.κ.ε.μ⊑ · κ.ε. .κ.ε.κ.ε.κ.ε.κ.ε.κ.ε.κ.ε.κ.ε.κ.ε.κ.		
2 19 47			• KT-Ш • KT-К • К	ZT NI)						** RA種 ※RB種 ・RC科	.		コンクリート、ALC		※RB種 ・RC	-	
	- D作 (- K) -	-1 -КІ-П	. Иш И и Г	(1-N)			してラングルート及び	ての他が一下面の	ノト心訓金: ・ N	NA作里 次ND作里 - NO作			押出成形セメント板	-	-		
		· 11 12 13	*** - * A C E												・RB種 ・RC		
	13. せっこうボート	その他ホート					15. モルタル塗り) せっこうその他のボー			·RA種 ※RE	
3.2 材 料	│規格名称 │─────		種類	記号	厚さ(mm)	15.3 材 料	既製目地: ・適用 							その他の	易合: •RA	種 ※RB種 •	· RC種
3.3 工 法	木質系セメント板	木毛セメン		- HW - NW	- 25 - 50		既製目地の形状寸法	等: ・図示 ・									
		木片セメン	ト板	· HF · NF	•	15.6 工 法	床の目地: ・設け	る・設けない					③ 鉄鋼面錆止め塗料	金り しょうしゅう			
	せっこうボード製品	・せっこう) ホ* ート*	GB-R	• 9. 5 • 12. 5		工法: ※押し目	地・切り目地				③. 塗料種別	亜鉛メッキ鋼面屋外:	※A種 · B種 ·	C種		
		• シージング・	せっこうボード	GB-S	• 9. 5 • 12. 5								亜鉛メッキ鋼面屋内:	※A種 · B種 ·	C種		
		強化せっ	っこうボード	GB-F	- 12. 5 - 15. 0		16. タイル張り						亜鉛メッキ鋼面EP-	G塗装下地: • A科	i • B種 ※	:C種	
				GB-L	※ 9.5 • 7	(6.) 一般事項	伸縮調整目地の位置	責: ※@4m(繼・構:	共) ・図示 ・			 3.3 錆止め塗料塗り	鉄鋼面見え掛かり部分				
			っこうボード(トラバーチン)(• 9. 5 • 12. 5	16.3 セメントモルタルに。		VIII.				,,=±11±/	鉄鋼面見え隠れ部分新				
			っこうボード		• 9. 5 • 12. 5		タイルの種類:・	図示 ・下生にし	- Z .			② 健康环染料涂Ⅱ ←	鉄鋼面塗替え部分工法			~ II	
	6#6#3# /L L J L H			0.05%						z. 164 ±55		火・火・卵皿の室科室り	/	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	小り生		
	繊維強化セメント板	- 71 酸加沙		• 0. 8FK	-6-8-10	施工箇所	形式・形状寸法		耐凍害性 色		備考		A 15 141 151				
				• 1. 0FK	-6-8-10		(mm)	区分	1	特注 施釉 無釉			4 合成樹脂調合ペイ				
	パーティクルボード繊維板	•		- RS - VS		男子便所・女子便所	25角ネット張り		0 0	0		4.2 塗料の種別	種別: ※1種・2種				
				• DV • DO • DC		多目的便所	25角ネット張り		0 0	0		4.3~4.5 ***塗料塗り	木部の種別(新規外部)	: ※A種 · B種			
	火山性ガラス質複層板	(VS#*-F*)	•	<u></u>									木部の種別(新規内部)	: • A種 ※B種			
	材料のホルムアルデヒド放制	対量: ※F☆ 7	☆☆☆ ・F☆☆☆ ・										木部の種別(多孔質広	葉樹): • A種 ·	B種		
	◎合板												木部の種別(塗替え)				
	材種		樹種など	厚さ(mm)	工法		 ◎タイルの役物) 鉄鋼面の種別: • A種				
	l — — — —							178 . 3.178 .	5 + , + />+	· 农厶			1		.V.D∓#		
			は透明塗料塗りの場合	-4 -5.5	-			は隅 ・入隅 ・幅		* 总百			亜鉛めっき鋼面の種別				
		・ラワン・		- 6 -	※B種		製造方法: • 接						亜鉛めっき鋼面の種別	(新規): · A種	※B種		
		不透明塗料塗り	りの場合				タイルの見本焼き:										
			0.47	1	1		タイルの試験張り:	・行う ○行れ	つない				5. クリヤーラッカー	余り (CI)			
		·シナ【・1級・	2級】											£9 (OL)			
	・普通合板	・シナ【・1級・ ・ラワン ・	- 1類	-4 -5.5	- A種		壁タイル張り工法:	・改良積上張り				5.2 塗料塗り	種別: • A種 ※B種				

特 記					承認 検図	設計 製	図 作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事					2019.03	A-06
	図面名称	特記仕様書(6)	縮尺	A2 S=NS A3 S=NS			訂正年月日	

項目	特記事項	章 項目		特記事項	章 項目		特記事項	
	7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	8 1.4 コンケリートの品質	スランプ: ※18cm ・図示 ・		8 2.9 高カボルト	種類: ・トルシア型高力ボルト2種(S10T)	・JISの高力ボルト2種(F10T))
7.2 塗料塗り	種別: · A種 ※B種	章	コンクリート部材の許容差及び測定方法	去: ・標準仕様書8.1.4(d)(1)による ・	章	・溶融亜鉛めっき高力ボルト1ネ	重(F8T相当)	
		耐	打放し仕上げの種別(合板せき板を用い	いる場合)	_ 献 \	高力ボルトの径: ・図示・		
	8.耐候性塗料塗り(DP)	改修	施工部位	種別 備 考		溶接棒等(標準仕様書表8.2.7)及びガス	ス以外の溶接材料: ・図示	₹ •
8. 2~8.4 ***塗料塗り	鉄鋼面の種別: ・A種 ・B種 ・C種	修 \	・化粧打放し部	A種	修 2.11 柱底均しモルタル	モルタルの種類: ・図示 ・無収縮	モルタル ・	
	亜鉛めっき鋼面の種別: ・A種 ・B種 ・C種	事	・打放し補修下地部	B種	― 事 及びグラウト材	無収縮モルタルの調合: ※標準仕様	書8.2.10(b)(1)~(4)による	· 図示 ·
	コンクリート面の種別: ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種		- 基礎部	C種	 2.12 連続繊維シート及び	材料: • 図示 •		
	押出成形セメント板面の種別: ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種					工法:・図示・		
			コンクリートの仕上りの平坦さ:・柞	票準仕様書 表8.1.4による ・		引張強度、ヤング係数等: ・図示		
	9. つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	1.5 鉄骨製作工場	製作工場のグレードは下記同等以上でス	大臣認定された工場とする:	2.13 鋼材の材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験: 適用	する ・適用しない ・図	示 •
9.2~9.5 ***塗料塗り	コンクリート面及びモルタル面の種別: ・A種 ※B種 ・C種		• \$5° \nu = \forall^* • \text{H5° \nu = \forall^* • \text{M5° \nu = \forall^*}	• R5° レート° • J5° レート°	2.14 基礎工事に用いる	│ │杭の材料: ・構造特記仕様書による	• 図示 •	
	プラスター面の種別: • A種 ※B種 • C種		√施工監理技術者: ・適用する ・適月	用しない	材料	杭の継手、工法等: 構造特記仕様	書による ・図示・	
	せっこうボード、及びその他のボード面の種別: ・A種 ※B種 ・C種							
	塗替えの場合のしみ止め: ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 ・		2. 材料			3、鉄筋の加工及び組立		
	屋内木部の種別 (新規) : ※A種 ・B種 ・C種	2.1 鉄 筋	鉄筋の種類: - SR295 - SD295A -	SD295B - SD345 - SD390 - 図示 -	3.4 継手及び定着	継手の種類:・重ね継手・ガス圧キ	接継手 ・機械継手 ・図示	ŧ .
	屋内木部の種別(多孔質広葉樹): ・A種 ・B種 ・C種	2.2 溶接金網			1273331212	継手の位置:・図示・		
	屋内木部の種別(塗替え): ・A種 ※B種 ・C種	2.4 あと施工アンカー	あと施工アンカーの種類:・金属系7			主筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書	5 3 4(c)(1)による ・図示	. .
	屋内鉄鋼面の種別: ・A種 ※B種 ・C種	L. I WEJET/J/	◎金属系アンカー	THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH		耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: ※標準		
	屋内亜鉛めっき鋼面の種別: ・A種 ※B種 ・C種		引張耐力・・図示・			先組み工法等の継手の位置:・図示		E4-3,
	注 ・		せん断耐力 ・図示・					- よる ・ 図 =
	10. 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		\ .		3.5 鉄筋のかぶり厚さ			
10.2 ***塗料塗り			アンカー本体の径:・図示・		2000	土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄		クリートの場合)
10.2 *** 空科空り	種別: ・A種 ※B種 ・C種 **********************************		アンカー本体の埋込深さ:・図示		及び間隔	· 図示 · 40mm · 50mm · 60		
	塗替えの場合のしみ止め: ・標準仕様書7.13.2(b)による ・図示 ・		アンカー本体のセット方式:・図え	示 ※本体打込み式収長型・		塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋		•
	A Blance		接合筋の径及び長さに・図示・		0.7.00 0.7746 71.48474	特殊な鉄筋継手のあき寸法:・図示	•	
	11. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		◎接着系アンカー		3.7 壁の配筋及び補強	壁の配筋:・図示・		
11.2 ***塗料塗り	コンクリート面及びモルタル面の種別 : ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種		引張耐力: ・図示 ・			開口部の補強筋:・図赤・		
	ブラスター面の種別: ・A種 ※B種 ・C−1種 ・C−2種 ・C−3種 		せん断耐力:・図示 人		3.8 ガス圧接	抜取試験の方法: ※超音波探傷試験	・引張試験 ・	
	せっこうボード等面の種別: ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種		アンカーの種類: ・図示\・カプセル	, 型 •				
			アンカー筋の径: ・図示 👆			4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手		
	12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		アンカー筋の埋込深さ:・図示	•	4.2 機械式継手	機械式継手の種類:・図示・		
12.2 ***塗料塗り	種別: · A種 ※B種		アンカー筋の種類: ・図示 ※異形	形棒鋼 ·		機械式継手の工法及び品質の確認方法	等: ・図示 ※標準仕様	書8.4.2.(c)による
			アンカー筋の新設壁内への定着長さ	: ・図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による	4.3 溶接継手	溶接継手の工法:・図示・	\	
	13. ラッカーエナメル塗り(LE)		あと施工アンカーの性能確認試験:	・行う ・行わない ・		品質の確認方法:・図示・		
13.2 ***塗料塗り	種別: • A種 ※B種	2.5 コンケリートの材料	セメントの種類: ※普通ポルトランドセメン	ハ ∖※混合セメントA種 ・高炉セメント ・フライアッシュセメン	 	不良継手部の修正方法: ・図示 ※	標準仕様書8.4.3.(c)による	5
		及び調合	フェロニッケルスラグ細骨材の使用:	・使用する ・使用しない				
	15. 木材保護塗料塗り(WP)		骨材のアルカリシリカ反応性による区分	分: ※A •B		7. コンクリートの工事現場内運搬並	びに打込み及び締固め	
15.2 ***塗料塗り	種別: • A種 ※B種		鋼スラグ細骨材の使用: ・使用する	· 使用 し ない	7.8 型枠工事	外部に面する打放し仕上げの増打厚さ	\	
			電気炉酸化スラグ細骨材の使用:・値	使用する √・使用しない		型枠セパレーターとしてのシアコネク	タの使用: √・適用する	・適用しない
			混和剤: • AE剤 • AE減水剤 • 高性	生能AE減水剤				
			混和材: ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉	末 ・膨張剤 ・		9. 軽量コンクリート		
	1. 一般事項	2.6 構造体用もルタルの	モルタルの圧縮強度: · 図示 · 18N	1/mm2 -	9.1 一般事項	土に接する軽量コンクリートの使用:	・使用する【使用箇所:	· 図示 ·
1.* コンタリート工事	・本章の事項は構造特記仕様書による	材料及び調合	モルタルのフロー値: ・図示 ・180	Omm未満 · 180mm以上240mm未満 · 240mm以上		水に接する軽量コンクリートの使用:	・使用する【使用箇所:	· 図示 ·
1.* 鉄骨工事	・本章の事項は構造特記仕様書による	2.7 型枠の材料	型枠の材料等:・下表による・図表	- •		軽量コンクリート種類: ・下表によ	る ・図示 ・	
1.* 鉄筋工事	・本章の事項は構造特記仕様書による		種類	種別・厚さ 材質		施工部位	種類	備考
1.3 コンクリートの種類	コンタリートの種別: ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・その他;		· 合板 ※「コン・	クリート型枠用合板のJAS」・12mm ※複 合		・屋上防水押え	- 1種 - 2種	
	使用骨材による種類: ・普通コンクリート(下表による) ・図示		بردا -	クリート型枠用合板のJAS」・15mm ※南洋材			・1種 ・2種	
	施工部位 設計基準強度(N/mm2) 備 考		・床型枠用鋼製デッキプレート	- 針葉材			- 1種 - 2種	
	·構造躯体 (基礎~ 階) 30		スリーブ: ※標準仕様書8.2.6(i, ii)	による・図示		所要気乾単位容積重量: · 図示 ·	kN/m3	
	·構造躯体 (階~ 階) 24		・硬質塩化ピニル管・溶	容融亜鉛めっき鋼管・鋼管		所要スランプ: ※21cm ・18cm ・		
	·構造躯体 (階~ 階) 21		・つば付き鋼管 ・紙ヂ	F1-7*				
	·捨てコンクリート ·18 ·21	2.8 鋼 材	鋼材の材質: ・下表による ・図示			10. 暑中コンクリート		
			施工部位	材質(種類の記号) 備 考	— 10.2 材料及び調合	構造体強度補正値(S): ※6 N/mm		
	使用骨材による種類: ・軽量コンクリート(下表による) ・図示		- 構造躯体	S\$400 S\$C400	_			
	施工部位 設計基準強度(N/mm2) 備 考		- 構造躯体 (階~ 階)	SM490A		11. 無筋コンクリート		
	18 · 21		- 構造躯体 (階~ 階)	STKR400	 11.1 一般事項	適用箇所: ※標準仕様書6.14.1(d)/	こよろ 下表に上ろ 🗵	7元
	18 21		177,2,72 TT (PI PI)	BCR295		施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ
	18 21			SN400C SN400A			波司基华强及(N/IIIIIZ) ※18 · 21	※15以下 ※18以
	10 - 21		細サの形件及び十件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	SH4UUG SH4UUA	+		×10 ° 21	※13以下 ※18以
			鋼材の形状及び寸法: ・図示 ・		V			

	特 記	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事			承認	検	2	設計	製図	作図年月日 2019.03	図面No. A-07
-	図面名称	特記仕様書(7)	縮尺	A2 S=NS A3 S=NS						訂正年月日	

建物概要書

工事名称 : 上野西小学校屋内運動場大規模改修工事

施設名称 :上野西小学校 屋内運動場

工事場所 :三重県伊賀市上野丸之内地内

敷地面積 19,246.00㎡

構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 2階建

1階床面積 1,086.00㎡ 2階床面積 380.00㎡ 延床面積 1,466.00㎡

建築確認年月日:昭和41年2月2日 建築確認番号:第40 上-43号 着工年月日:昭和40年11月3日 工事完了年月日:昭和41年7月10日 使用開始日:昭和41年7月20日

用途地域 :都市計画区域 第2種住居地域

(建蔽率制限60% 容積率制限200%)

防火地域 : 指定なし

その他 : 法22条地域 日影規制 なし 都市計画街路 なし

施設用途 : 平成21年国土交通省告示第15号 別添二 第(7)号 第(1)類とする。

屋根改修工事

屋根折版の塗装改修

既設屋根 折版H=88

既設塗装仕上 瀝青系塗料塗

(塗装改修工法)

高圧洗浄

錆部ケレン処理 及びプライマー塗

瀝青系塗料塗り

特記事項

・瀝青系塗料塗 三晃サンシルバー塗装 三晃金属工業㈱又は同等品

外壁改修工事(一部内壁改修工事)

コンクリート打放し面の修繕 ※部位ごとの補修方法については、必ず監理者の了解後施工に掛かること。

高圧洗浄

クラック補修について 欠損部補修について

0.2mm未満 シール工法 錆止めプライマーの上、樹脂モルタル注入工法

0.2mm~1.0mm 樹脂注入工法 面積が広範囲にわたるものについては、ポリマーセメント充填工法

1.0mm~ Uカットシール材充填工法

仕上について

外部 (クラック補修範囲) 木目打放し面部分補修

(全面) 浸透性吸水防止剤+アクリルシリコン系クリアー

内部 (クラック補修範囲) 木目打放し面部分補修

(全面) アクリルシリコン系クリアー

持記事項

・木目打放し面部分補修 木目は描かず他の打放し面と色合わせを施し違和感のない仕上りとすること。

・浸透性吸水防止剤 アクアベール500 菊水化学工業㈱又は同等品

・アクリルシリコン系クリア 水系シリコン仕上 アクアベール1000 菊水化学工業㈱又は同等品

塗装改修工事

トラス スチール建具 その他一般鉄部

塗装略号:外部DP1級(耐候性塗料)内部SOP(合成樹脂調合ペイント塗料)

下地調整: RB種 塗装工程: B種 規格 : JIS K 5658、5516 等級: 上塗1級 特記事項: F☆☆☆☆ 製品を使用すること。

外部DP1級 中塗り セラMフッ素中塗 上塗り セラMフッ素 関西ペイント販売㈱又は同等品

幕板 (鋼製) (国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書に準拠すること。)

塗装略号:DP1級(耐候性塗料)

 下地調整: RA種
 塗装工程: A種

 規格: JIS K 5659
 等級: 上塗1級

ルーバー(外壁頂部)

塗装略号:DP1級(耐候性塗料)

下地調整: RB種 塗装工程: B種 塗装仕様: 下塗り ターペン系2液系エポキシ樹脂シーラー

> 中塗り 低汚染系セラミック変性ターペン可溶フッ素樹脂中塗塗料 上塗り 低汚染系セラミック変性ターペン可溶フッ素樹脂塗料

特記事項: F☆☆☆☆ 製品を使用すること。

木毛板

塗装略号: NAD (77リル樹脂系非水分散型塗料塗り)

下地調整: RB種 塗装工程: B種 塗装仕様: 下塗り ターペン系2液系エポキシ樹脂シーラー

中塗り 特殊アクリル樹脂系つやけし塗料 上塗り 特殊アクリル樹脂系つやけし塗料

特記事項:F☆☆☆☆ 製品を使用すること。

エントランス上裏・内壁モルタル塗装面

塗装略号: NAD (アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り) 下地調整: RB種 塗装工程: B種

塗装仕様:下塗り ターぺン系2液系エポキシ樹脂シーラー 中塗り 特殊アクリル樹脂系つやけし塗料 上塗り 特殊アクリル樹脂系つやけし塗料

特記事項: F☆☆☆☆ 製品を使用すること。

内部改修工事

塗床材 [観覧席・階段室]

厚膜型弾性ウレタン樹脂系塗床材

特記事項

・厚膜型弾性ウレタン樹脂系塗床材 カラートップDL ABC商会又は同等品

[控室・指導室・更衣室] 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材

特記事項

・厚膜型エポキシ樹脂系塗床材 ケミクリートE 流しのべペースト工法 ABC商会又は同等品

フローリング [屋内運動場]

特記事項

・性能:緩衝効果値(U)15~40、硬さ(G)100G以下、滑り抵抗係数 0.4以上

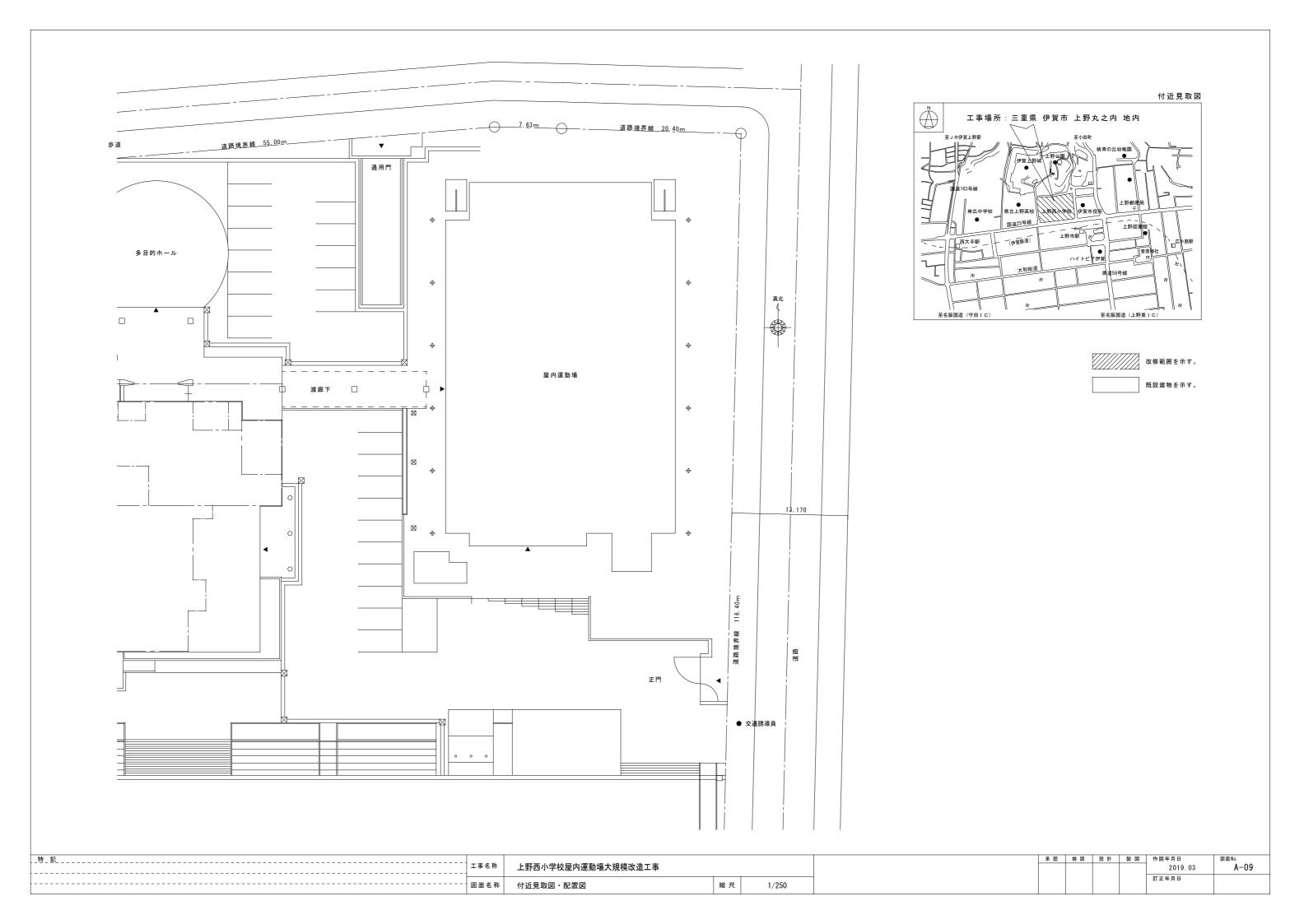
ガラスエ事

既設ガラス面 全面清掃 遮熱+飛散防止機能付きガラスフィルム貼付

特記事項

・遮熱+飛散防止機能付ガラスフィルム ZH05G 帝人フロンティア 又は同等品

特 記					承認	検 図	設計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事							2019.03	A-08
	図面名称	建物概要書	縮尺	A2 S=NS					訂正年月日	

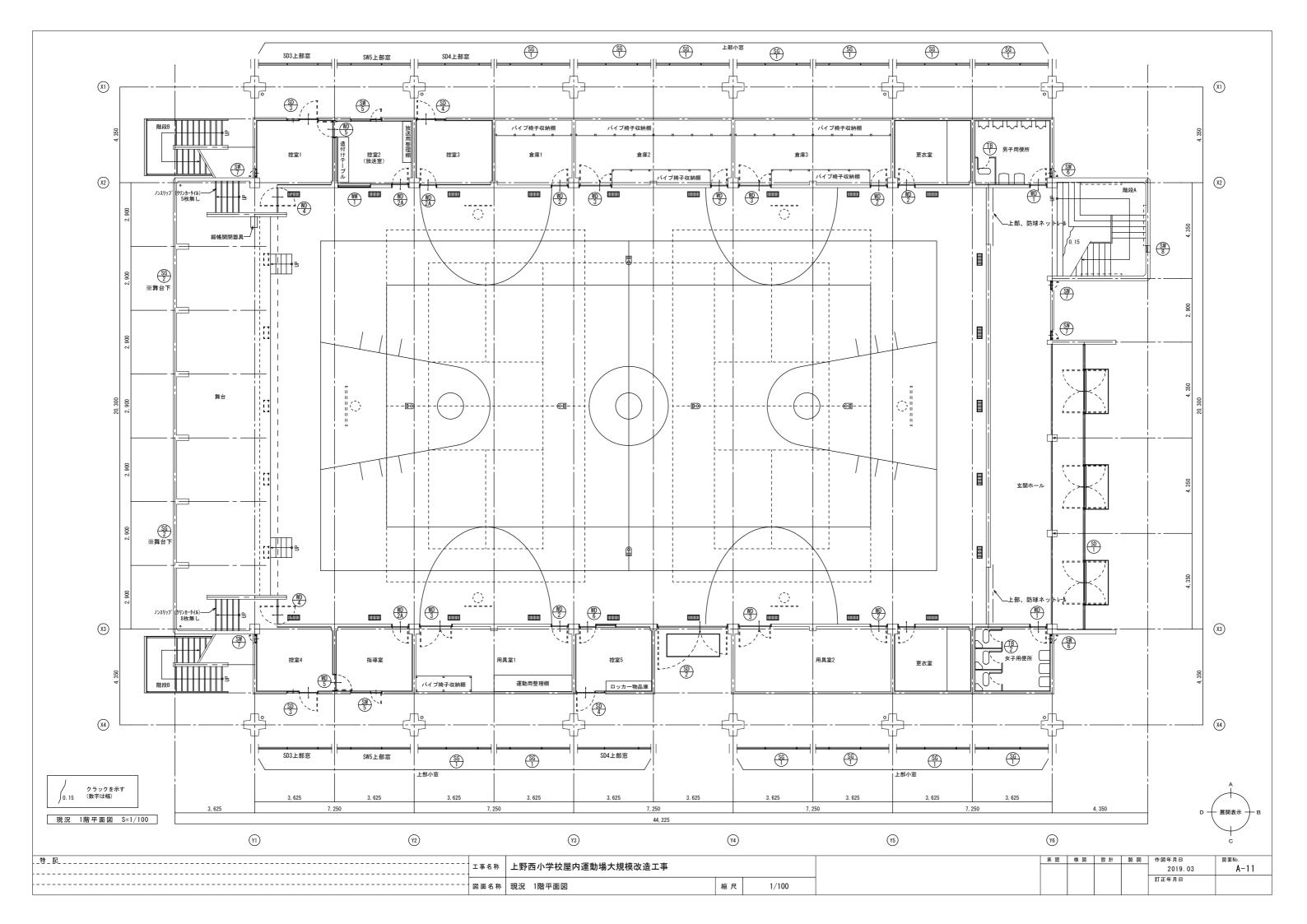


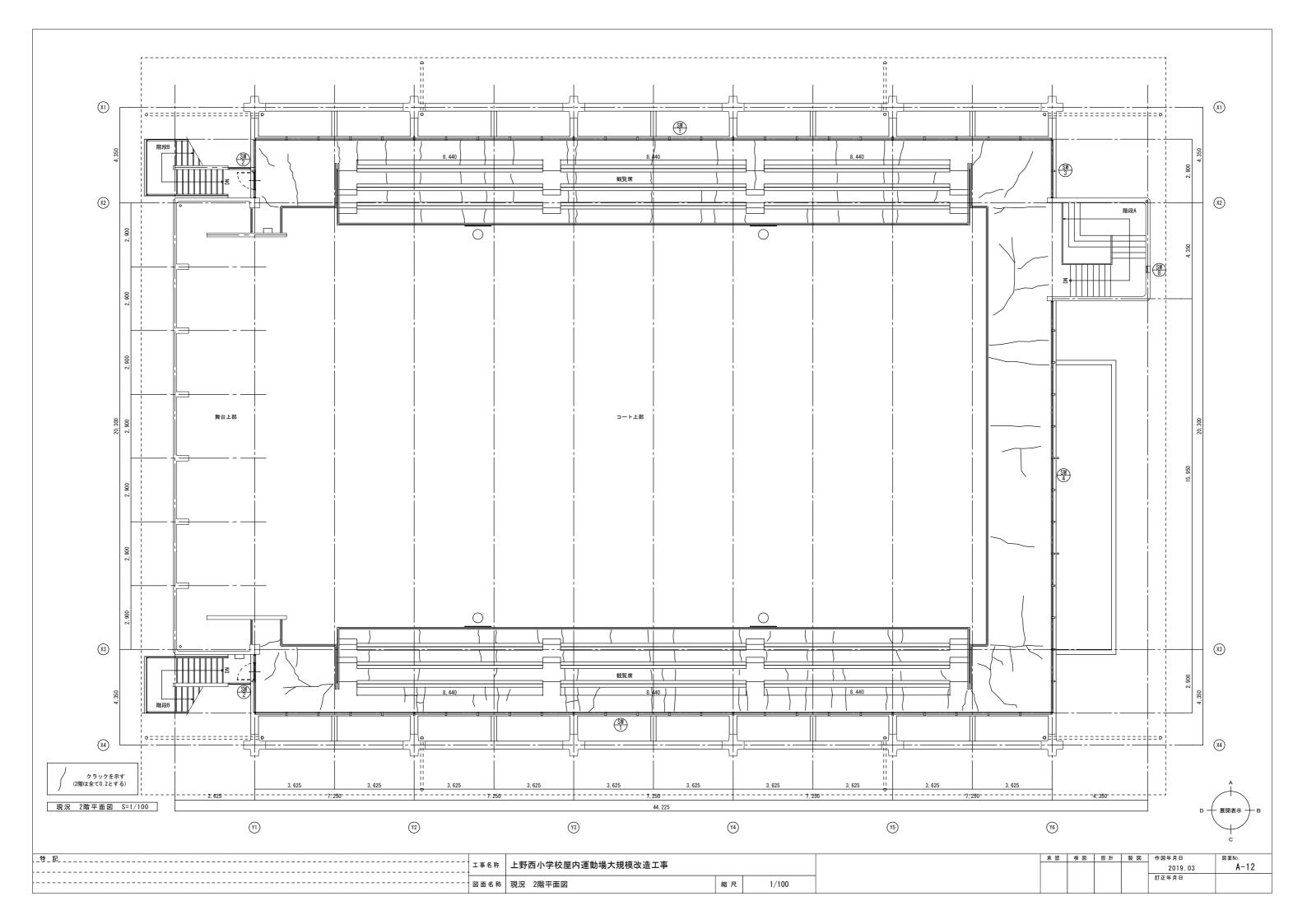
外部仕上表					
- 40	現 況	東海式長尺屋根A号#28エパーグリップ SDペイント 1/≒88 鉄骨トラス:SDペイント、遮光ガラリ:フレキシブルボード巾200xt=9 VP PL-2.3にビス止め 屋上タラップ: (枠) FB-50x12 SDペイント (白) 、 (手摺) 13φ SDペイント (白)	サッシ	現 況	スチールサッシ SDペイント (ガラス:パテ止め)
座 恨	改修後	既設屋根:高圧洗浄の上、錆部がン+ブライマ-の上、瀝青系塗料塗り(三晃サンシルパー又は、同等品) 既設鉄骨トラス:DP塗 既設遮光ガラリ(一部改修):DP塗 既設屋上タラップ: (枠) FB-50x12 DP塗、(手摺) 13φ DP塗] """	改修後	既設スチールサッシ DP塗(ガラス:破損部は入替の上、3mmガラスは連熱+飛散防止機能付ガラスフィルム貼り) 開口不能窓については、点溶接にて固定 既存5mmガラスは5mm強化ガラスに入替(フイルムは無し)
パラペット	現 況	幕板: PL-1.6 アングルに皿ビス止め SDペイント、内樋:谷コイル、 縦樋:銅管114.3φ(一部 塩ビ管)	- 階段B	現 況	ノンスリップ: クリンカータイル、蹴上・踏面: モルタルコテ仕上VP、上裏: コンクリート打放し、手摺壁コンクリート打放し、手摺: FB-50x9 SDペイント
ハノベット	改修後	既設幕板: DP塗 内樋:谷コイル(既設) 既設縦樋:銅管114.3φDP塗(一部 塩ビ管)	PE KX D	改修後	ノンスリップ: 既設クリンカータイル、蹴上・踏面: 既設モルタルコテ仕上面、高圧洗浄の上、塗床 既設手摺: FB-50x9 DP塗
*T =	現 況	木毛セメント板t=25 VP	, 18	現 況	壁・梁: コンクリート打放し (パラ板) 、天井: コンクリート打放しVP、 屋根: 玉砂利敷+防水モルタル下地 、靴拭マット1000x2000x3個所 (SUS枠) ※新式マット・ステルス製の15H15
軒裏	改修後	既設木毛セメント板t=25 (一部改修必要) NAD塗	玄関	改修後	壁・梁:高圧洗浄の上、浸透性吸水防止剤+アクリルシリコン系クリアー塗 打放壁鉄露出部:タッチアップ(グレー錆止め) 天井:NAD塗 屋根:玉砂利敷+防水モルタル下地(既設のまま)
外壁	現 況	コンクリート打放し (バラ板)	- W 1 P	現 況	壁・梁: コンクリート打放し(バラ板)、天井: コンクリート打放し、 靴拭マット1000x2380 (SUS枠) スローブ板(存置) ※ 靴拭マット: ステンレス製師15H15
柱型・梁	改修後	高圧洗浄の上、浸透性吸水防止剤+アクリルシリコン系クリアー塗 クラック部:高圧洗浄の上、クラック補修後、木目打放し面部分補修+浸透性吸水防止剤+アクリルシリコン系クリアー塗	西出入口	改修後	壁・梁・天井:高圧洗浄の上、浸透性吸水防止剤+アクリルシリコン系クリアー塗 スローブ板

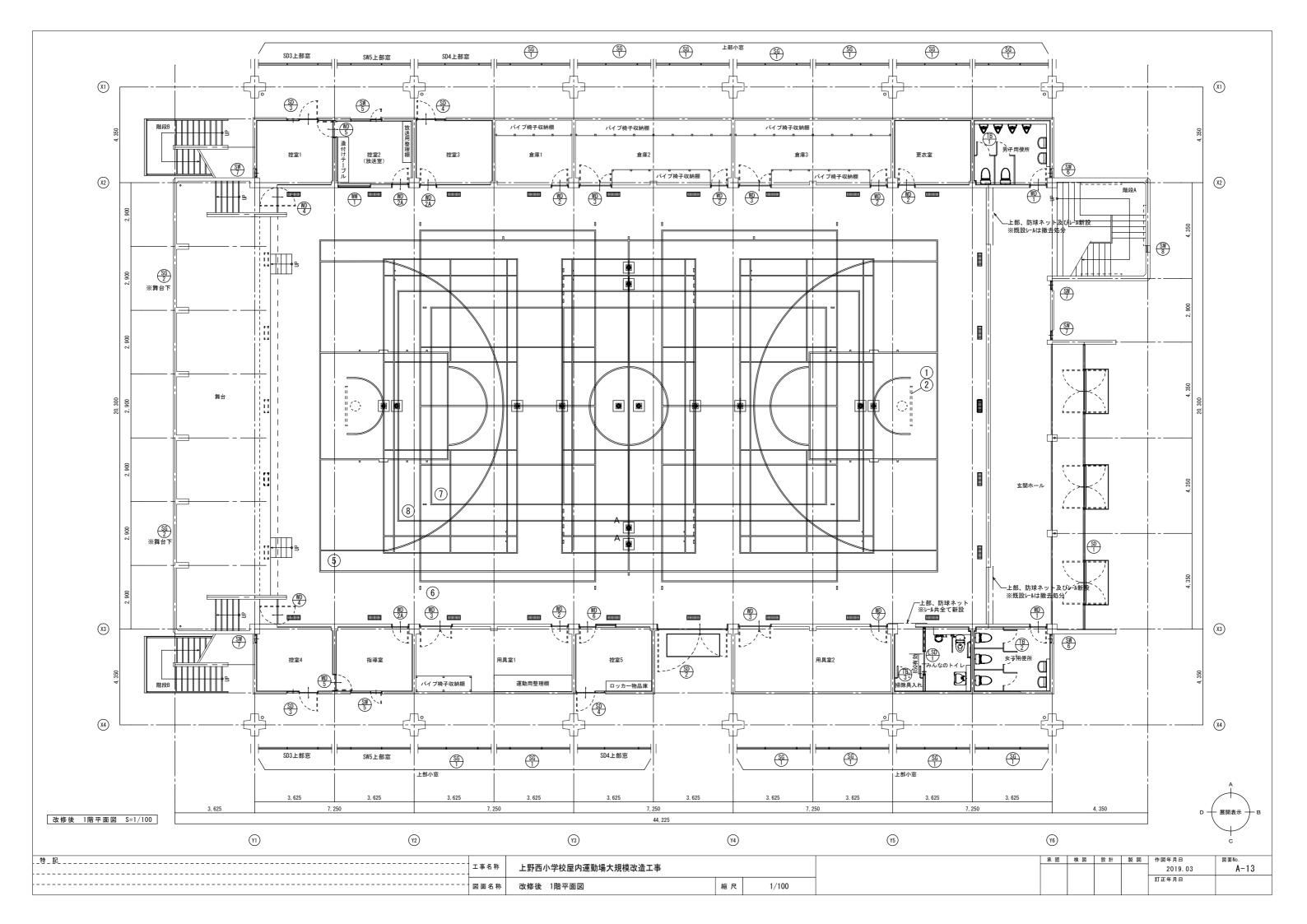
内部仕上表

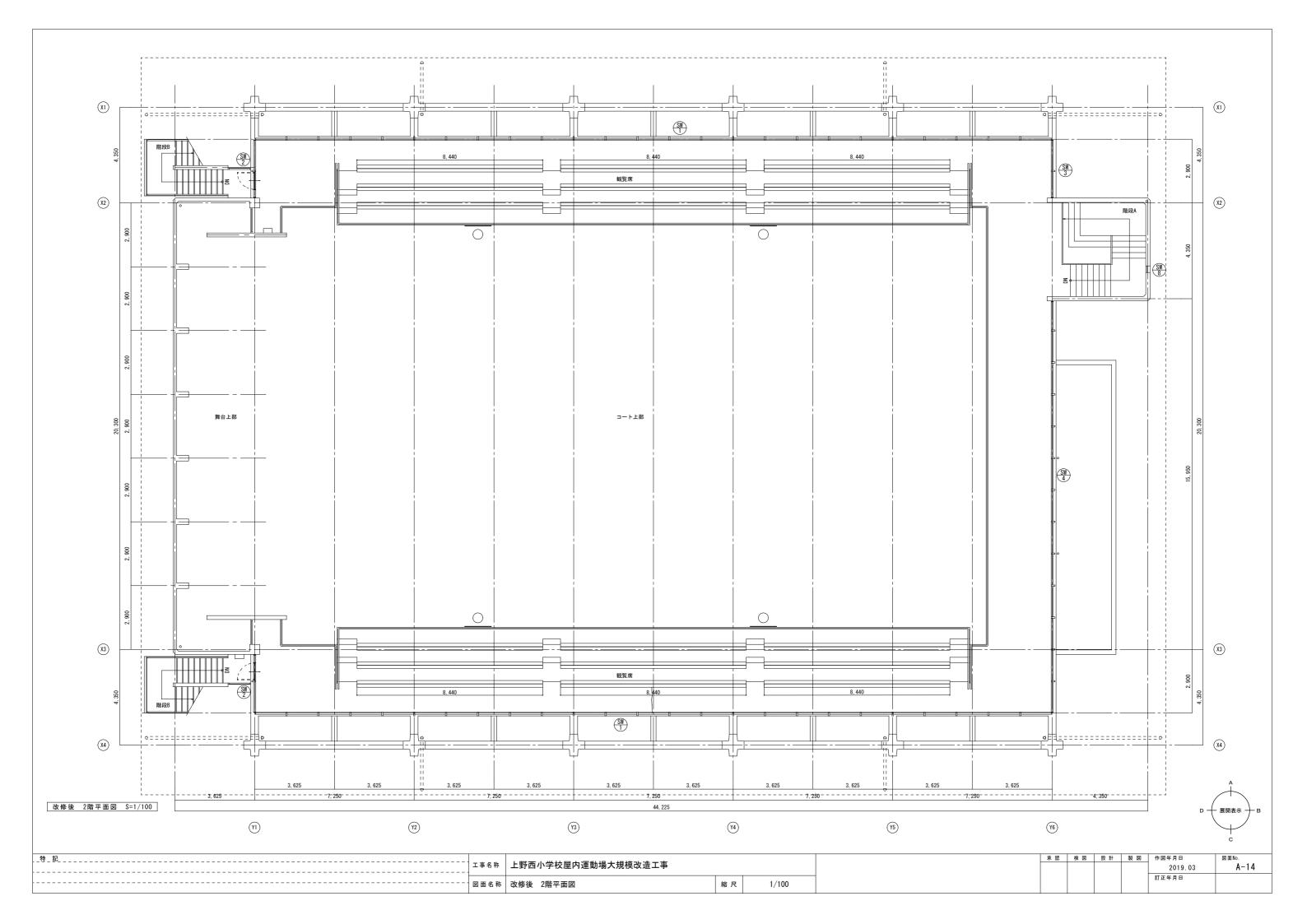
仕上表 「								
室名		床	巾木	壁	柱型・梁型	天井	天井高	備考
屋内運動場	現 況	ブナフローリングt=18(撤去処分) アスファルトフェルト、木下地(撤去処分)		コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し (パラ板)	木毛セメント板t=25 VP 鉄骨トラス SDペイント	8300	コートライン、床下換気口x28、床支柱金物x6、防球ネット・・・(全て撤去処分) ミニバスケットゴールx4、天井吊りバスケットゴールx2・・・(全て撤去処分)
庄 的 庄 幼 彻	改修後	大型積層7ローリングt=18 表面単板カバ6 mm 1 液性ウレタン3 回塗装仕上 捨貼合板t=15 銅製下地		│ クラック補修 │ アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	木毛セメント板t=25 NAD塗 鉄骨トラス SOP塗	8300	コートライン、床下換気口x28、床支柱金物x6、防球ネット・・・(全て新設) ミニバスケットゴールx4、天井吊りバスケットゴールx2・・・(全て新設)
dur. (s	現況	ブナフローリング (糊付) t=9(撤去処分) モルタル下地		コンクリート打放し(バラ板、パネル使用)	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し VP	5515	舞台幕、巻取り機(撤去処分)、ステージ木階段x2(存置) 一文字幕、後引幕、バトン・・・(全て撤去処分)、縦樋75φx2・VP
舞台	改修後	カバフローリング直貼り (糊付) t=9 1液性ウレタン3回塗装仕上 モルタル下地(既設のまま)		アクリルシリコン系クリア一塗	アクリルシリコン系クリアー塗	コンクリート打放し NAD塗	5515	パック幕、サイド幕、緞帳、一文字幕、パトン、電動スクリーン・・・(全て新設) ステージ木階段、縦樋75 φx2・・NAD塗
玄関	現況	玄関: モルタルコテ仕上、土間コンクリート下地 ホール: 長尺シート(撤去処分)、モルタル下地		コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し VP	玄関:2700ホール:2650	トイレピクトサインx2、看板:W1800xH900(体育館使用尊守事項)・・・(全て撤去処分)
ホール	改修後	玄関: モルタルコテ仕上(既設のまま) ホール: 長尺シート張りt = 2.5(新設)、モルタル下地(既設のまま)		クラック補修 アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	コンクリート打放し NAD塗	玄関: 2700 ホール: 2650	トイレピクトサインx2、看板: W1800xH900 (体育館使用尊守事項) ・・・(全て新設)
	現況	カラクリート t=30 (撤去処分) 土間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2650	
控室1 -	改修後	エ同コンクソート下地(既設のまま)	既設モルタル面 NAD塗	既設モルタル面 NAD塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2650	
控室2	現況	カラクリートt=30 (撤去処分) 土間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	有孔ベニヤ=6 OSCL、下地:石綿充填	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	家具
(放送室)	改修後	エルタルt=30+塗床 モルタルt=30+塗床 土間コンクリート下地(既設のまま)	既設モルタル面 NAD塗	既設有孔ベニヤ=6 CL、下地:石綿充填(既設)	アクリルシリコン系クリア一塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	
	現況	カラクリートt=30 (撤去処分) 上間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	
控室3	改修後	エルタルt=30+塗床 土間コンクリート下地(既設のまま)	既設モルタル面 NAD塗	既設モルタル面 NAD塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	
	現況	エ同コンファートと(級ながらなど) カラクリートt=30 (撤去処分) 土間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2650	
控室4	改修後	エ同コンフリート下地 モルタルt=30+塗床 土間コンクリート下地(既設のまま)	既設モルタル面 NAD塗	フラック補修 既設モルタル面 NAD塗	アクリルシリコン系クリア一塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2650	
	現況	エ同コンケリートト世(成成の)まま/ カラクリートt=30 (撤去処分) 土間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	家具
控室5	改修後	エ同コングリート下地 モルタルt=30+塗床 土間コンクリート下地(既設のまま)	既設モルタル面 NAD塗	既設モルタル面 NAD塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	
15 77 5	現 況	カラクリートt=30 (撤去処分) 土間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し	2650~2190	
指導室	改修後	モルタルt=30+塗床 土間コンクリート下地(既設のまま)	既設モルタル面 NAD塗	既設モルタル面 NAD塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2650~2190	
会庫1	現 況	モルタルコテ仕上t=30 土間コンクリート下地		コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	パイプ椅子収納棚
倉庫1 -	改修後	モルタルコテ仕上t=30(既設のまま) 土間コンクリート下地(既設のまま)		アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	パイプ椅子収納棚(既設のまま)
倉庫2	現 況	モルタルコテ仕上t=30 土間コンクリート下地		コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	パイプ椅子収納棚
启庠2	改修後	モルタルコテ仕上t=30(既設のまま) 土間コンクリート下地(既設のまま)		アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリア一塗	アクリルシリコン系クリア一塗	2190~2650	パイプ椅子収納棚(既設のまま)
倉庫3	現況	モルタルコテ仕上t=30 土間コンクリート下地		コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	パイプ椅子収納棚
冶净。	改修後	モルタルコテ仕上t=30(既設のまま) 土間コンクリート下地(既設のまま)		アクリルシリコン系クリア一塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	パイプ椅子収納棚(既設のまま)
用具室1	現況	モルタルコテ仕上t=30 土間コンクリート下地		コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	パイプ椅子収納棚、家具
/// / -	改修後	モルタルコテ仕上t=30(既設のまま) 土間コンクリート下地(既設のまま)		アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	パイプ椅子収納棚(既設のまま)
用具室2	現況	モルタルコテ仕上t=30 土間コンクリート下地		コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し	2190~2650	
717.7.2	改修後	モルタルコテ仕上t=30(既設のまま) 土間コンクリート下地(既設のまま)		アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2650	
更衣室	現況	カラクリート t=30(撤去処分) 土間コンクリート下地	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2190~2750	
(東面)	改修後	モルタルt=30+塗床 土間コンクリート下地(既設)+一部 土間コンクリートt=100(新設)	既設モルタル面 NAD塗	クラック補修 既設モルタル面 NAD塗	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2190~2750	
更衣室	現況	カラクリートt=30(撤去処分) 土間コンクリート下地(撤去処分)	モルタルコテ仕上VP	モルタルコテ仕上VP コンクリート下地	コンクリート打放し(パラ板)	コンクリート打放し	2190~2750	
(みんなのトイレ)	改修後	モルタルt=28+長尺塩ビシートt=2 土間コンクリートt=100(新設)		モザイクタイル25角張り モルタル下地、LGS下地	│ アクリルシリコン系クリア一塗 │ メラミン化粧板	アクリルシリコン系クリア一塗	2190~2750	物入ブース (新設) 間仕切壁 (新設)
男子用便所	現 況	モザイクタイル25角張り(撤去処分) 土間コンクリート下地(撤去処分)		モザイクタイル25角張り モルタル下地	コンクリート打放し (バラ板)	コンクリート打放し	2720	小便器x5、和式便器x1、手洗いx2、化粧棚x2、鏡x1・・・(設備工事で全て撤去処分) トイレブース(建築工事で撤去処分)
20 7 M 1% (V)	改修後	モルタルt=28+長尺塩ビシートt=2 一部 汚だれ石タイル 土間コンクリートt=100(新設)		モザイクタイル25角張り モルタル下地、LGS下地	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリアー塗	2720	トイレブース (新設)
女子用便所 -	現況	モザイクタイル25角張り(撤去処分) 土間コンクリート下地(撤去処分)		モザイクタイル25角張り モルタル下地	コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し	2720	和式便器x3、手洗いx3、化粧棚x3、鏡x2・・・(設備工事で全て撤去処分) トイレブース(建築工事で撤去処分)
入了加区的	改修後	モザイクタイル、下地コンクリート撤去の上、モルタルt=28+長尺塩ビシートt=2 土間コンクリートt=100(新設)		モザイクタイル25角張り モルタル下地、LGS下地	アクリルシリコン系クリアー塗	アクリルシリコン系クリア一塗	2720	トイレブース (新設)
階段A	現況	蹴上、踏面:モルタルコテ仕上t=30 塗床 (撤去処分) 上裏:コンクリート打放し 浸透性給水防止剤+アクリルシリコン系クリアー塗			コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し VP		ノンスリップ: クリンカータイル、卒業レリーフ: H1840xW2750x3個(保管) 手摺: スチールパイプ50φ SDペイント、手摺子: FB-40x12 SDペイント、22φ SDペイント
PE +又 M	改修後	蹴上、踏面: 既設モルタルコテ仕上t=30クラック補修の上、塗床 上裏: コンクリート打放し			アクリルシリコン系クリア一塗	コンクリート打放し NAD塗		ノンスリップ: クリンカータイル(既設のまま) 既設手摺: スチールパイプ50φ SOP塗、既設手摺子: FB-40x12 SOP塗、22φ SOP塗
観覧席	現況	モルタルコテ仕上t=30 塗床(撤去処分) コンクリート下地		コンクリート打放し (パラ板)	コンクリート打放し (パラ板)	木毛セメント板t=25 VP 鉄骨トラス SDペイント	5500~6300	手摺:スチールパイブ50 φ SDペイント、手摺子:FB-40x12 SDペイント、22 φ SDペイント、9 座板:ラワン材t=30 SOP、ノンスリップ:クリンカータイル、暗幕(撤去処分)、防球ネット(撤去
取見师	改修後	蹴上、踏面: 既設モルタルコテ仕上t=30クラック補修の上、塗床 上裏: コンクリート打放し		アクリルシリコン系クリア一塗	アクリルシリコン系クリア一塗	木毛セメント板t=25 NAD塗 鉄骨トラス DP塗	5500~6300	既設手摺:スチールパイブ50¢ SOP塗、手摺子:FB-40x12 SOP塗、22¢ SOP塗、タラップSOP塗 座板:ラワン材t=30 SOP(新設)、ノンスリップ:クリンカータイル(既設のまま)、暗幕(新設)
	現 況							

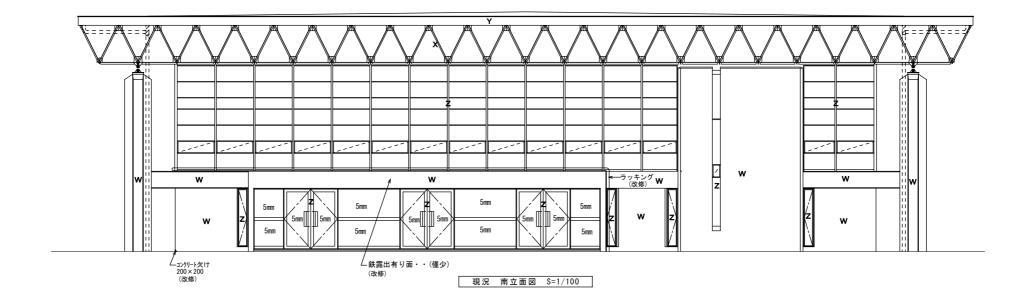
特 記			承 認	検 図	設 計	製図	作図年月日	図面 No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事					2019.03	A-10
	1L						訂正年月日	T
] 図面名称	現況・改修後 外部・内部仕上表 解 だ 網 だ にんしゅう おいかい おいかい かいかい かいかい おいかい かいかい おいかい かいかい かいがい かい かい かい かいがい か						

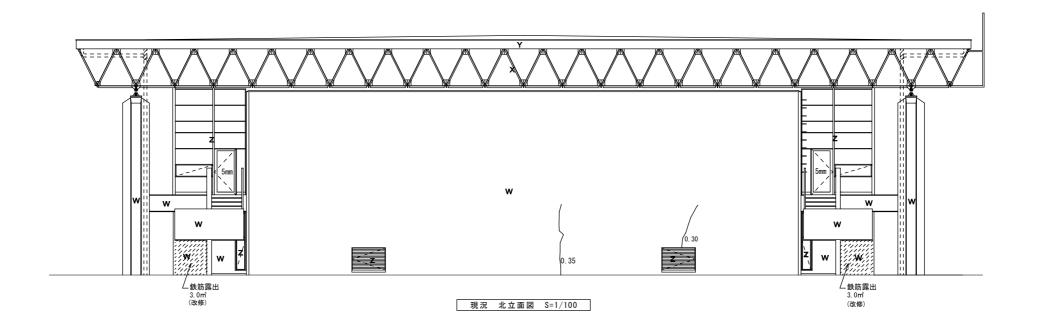






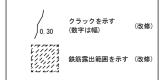




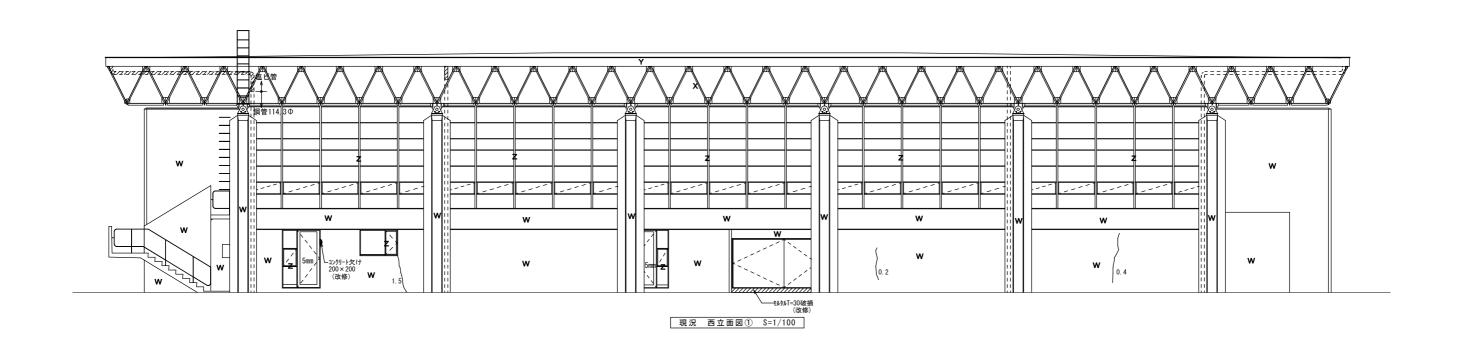


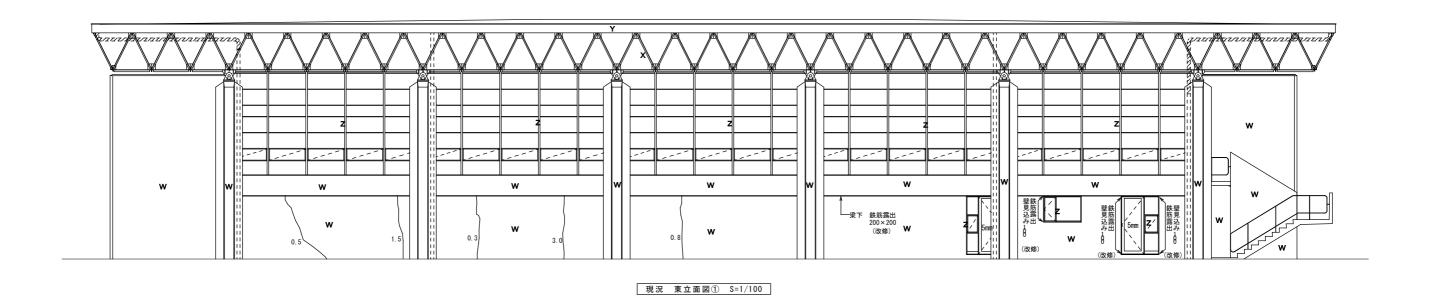
- V 遮光ガラリVPペイント→DP塗
 W コンクリート打放し──**↑**浸透性吸水防止剤+アウリルシリコン系クリア-塗
 X トラスSDペイント→DP塗
- Y 1.6プレートSDペイント→DP塗
 Z スチールサッシSDペイント→DP塗 特記なきガラスは3mmトーメイ ALは7/k3/ *4/T=4
 運熱+飛散防止機能付ガラスフィルム貼り ※5mmガラスは5mm強化ガラスに入替(フイルムは無し)

משמי	樋:塩ビ管	(塗改修)
""	樋:鋼管114.3Φ	(塗改修)



特 記					承 認	検 図	設 計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事							2019.03	A-15
	—					1	,	1	訂正年月日	
	一図面名称	立面図1	縮尺	1/100			'	1		





Y 1.6プレートSDペイント→DP塗

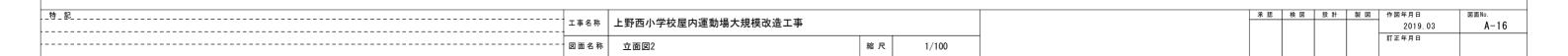
T 1.0フレートSDV-イントーDF塗 スチールサッシSDペイントーDF塗 特記なきガラスは3mmトーメイ ALは7ルミバルハT=4 遮熱-飛散防止機能付ガラスフィルム貼り

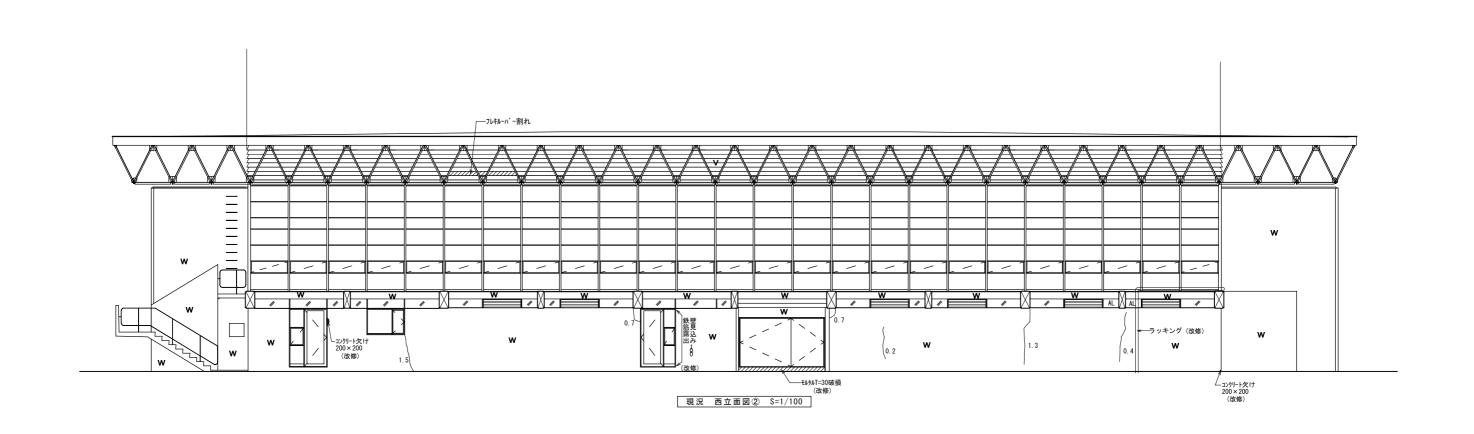
※5mmガラスは5mm強化ガラスに入替(フイルムは無し)

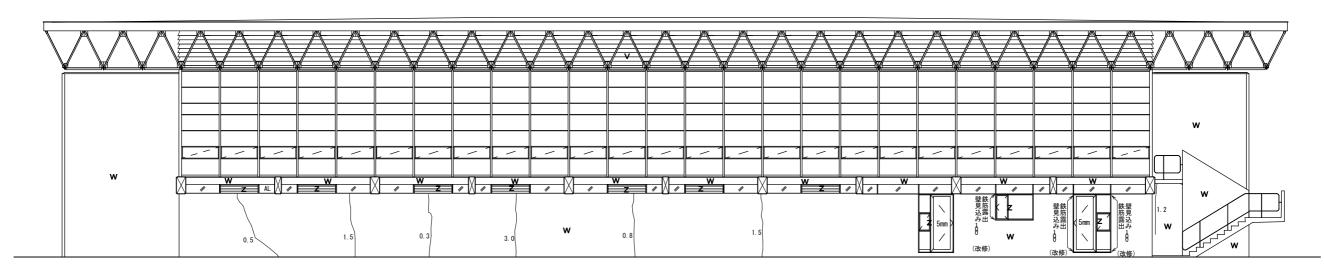
樋:塩ビ管 (塗改修)

樋:鋼管114.3Φ(塗改修)

クラックを示す 0.30 (数字は幅) (改修)







現況 東立面図② S=1/100

V 遮光ガラリVPペイント→DP塗 W コンクリート打放し 浸透性吸水防止剤+7クリルシリコン系クリアー塗

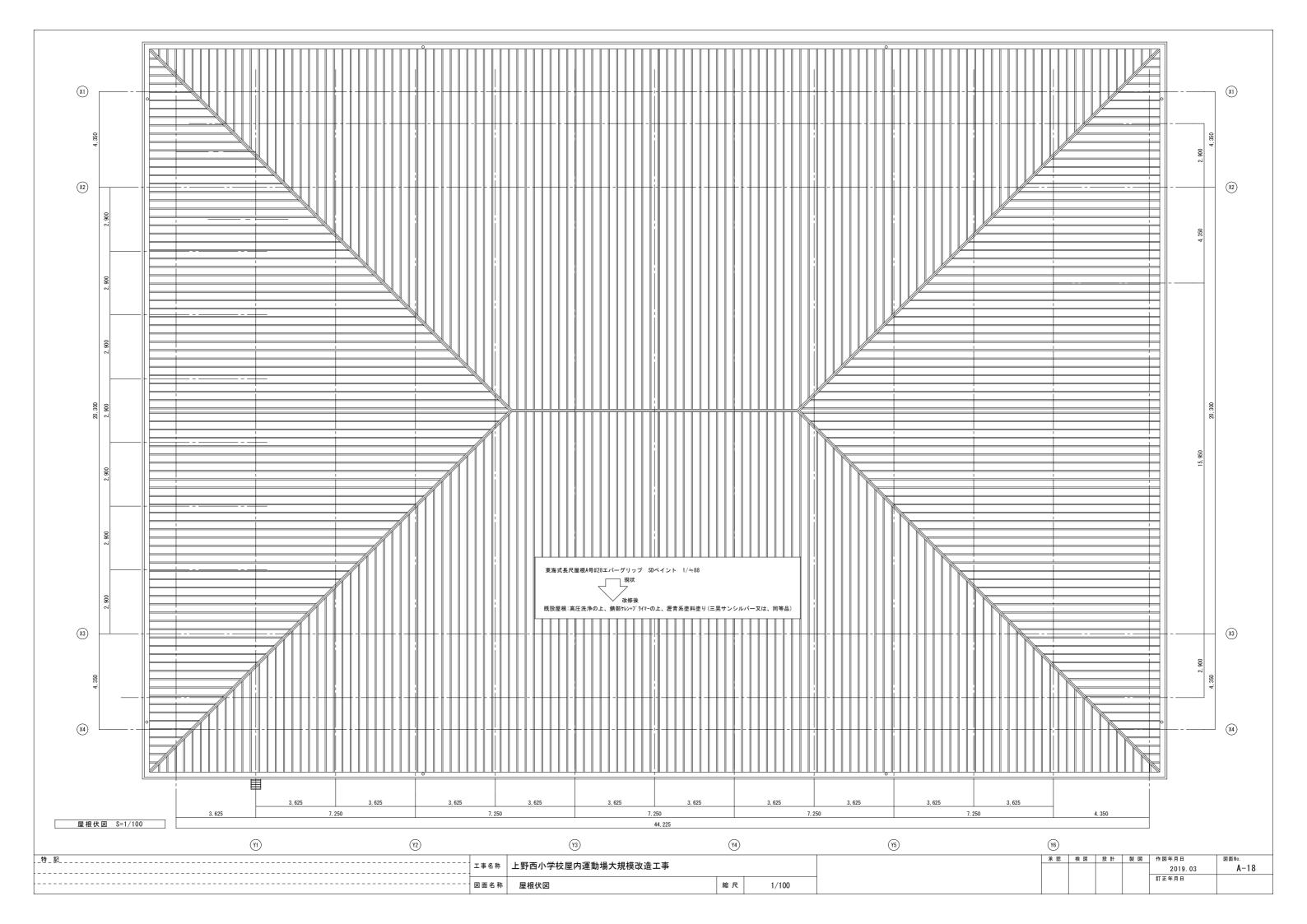
- X トラスSDペイント→DP塗
- Y 1.6プレートSDペイント→DP塗

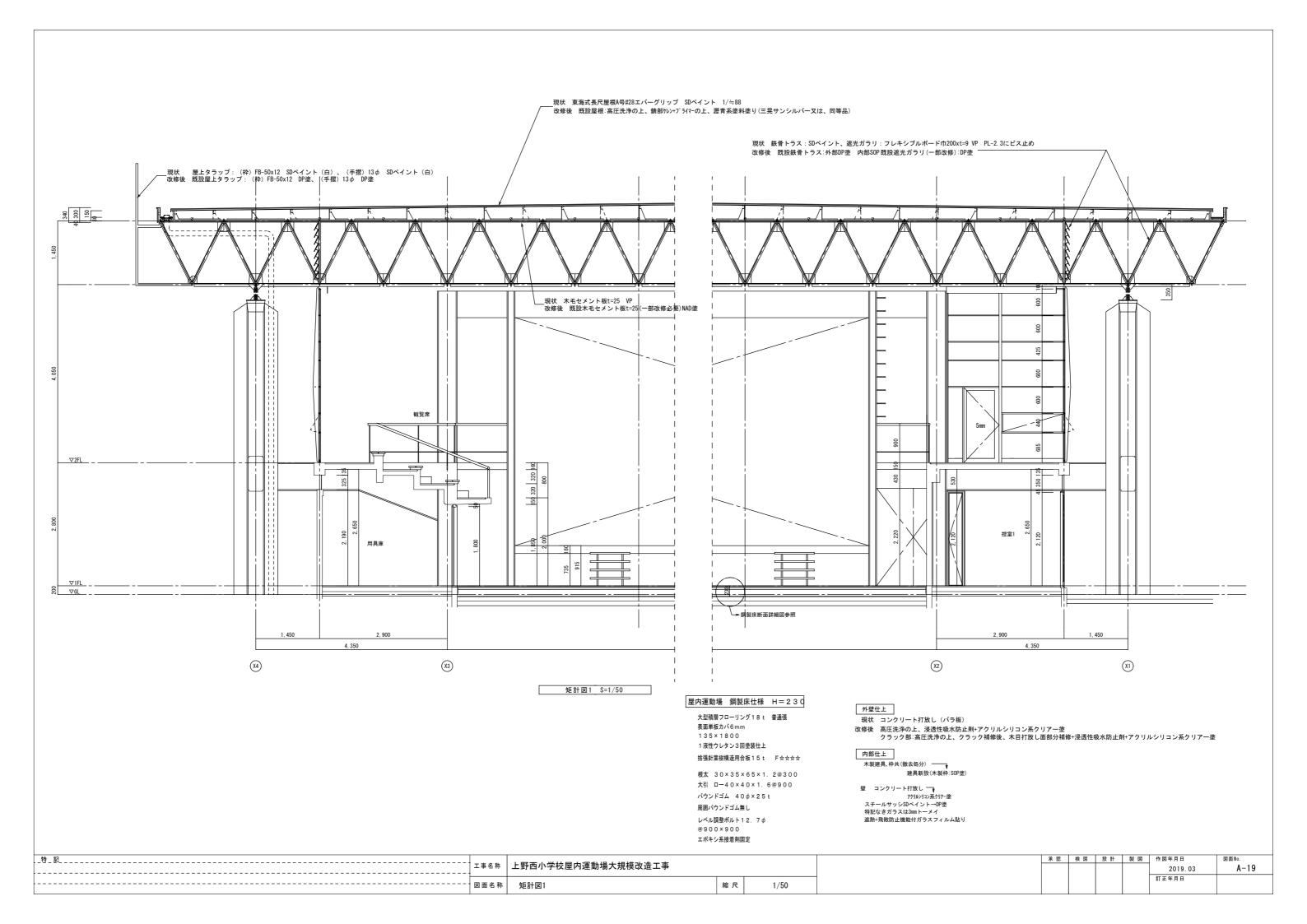
T 1.6 プレート3DペイントーDP塗 スチールサッシSDペイントーDP塗 特記なきガラスは3mmトーメイ ALは7M5n 材T-4 遮熱+飛散防止機能付ガラスフィルム貼り

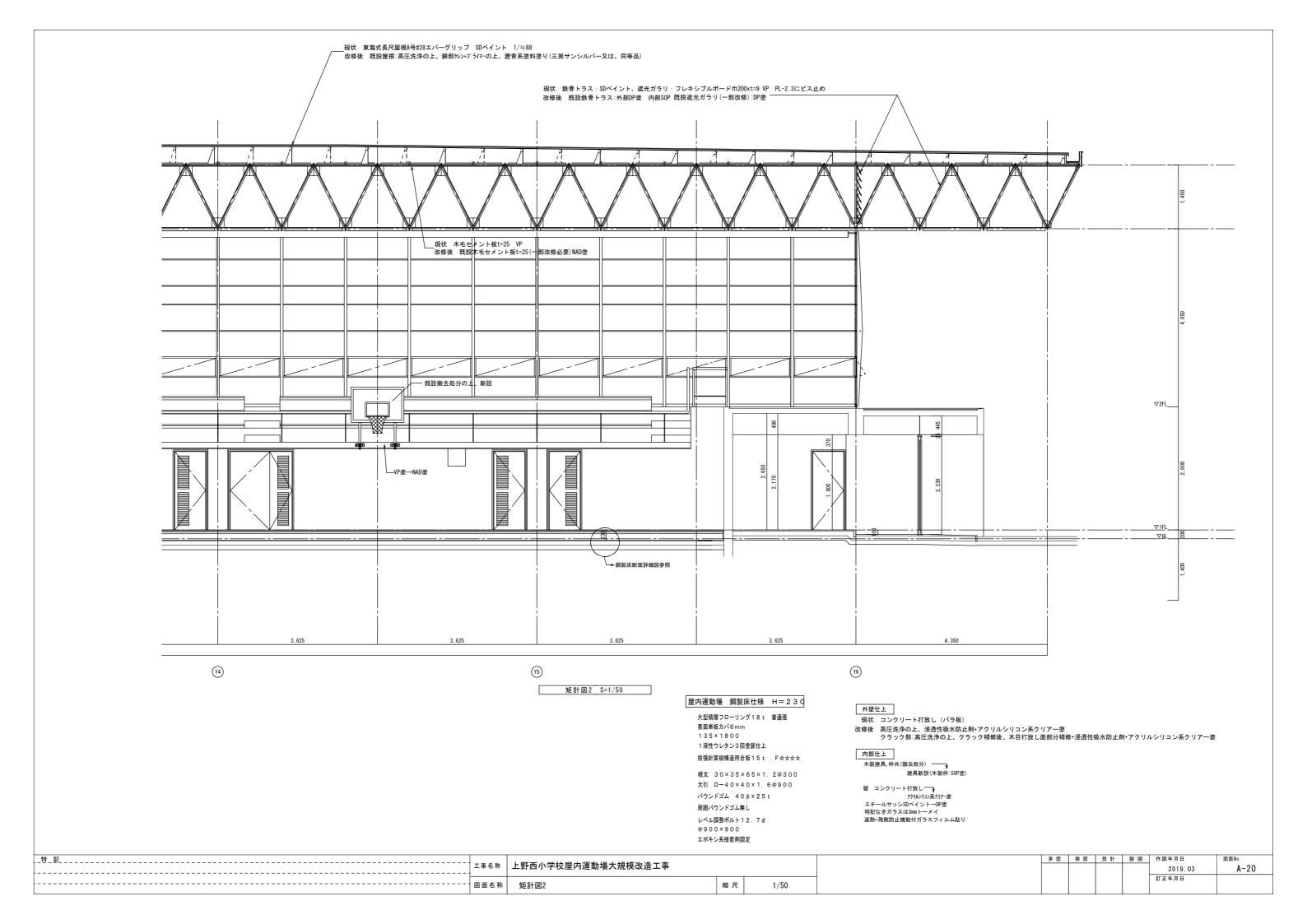
※5mmガラスは5mm強化ガラスに入替(フイルムは無し)

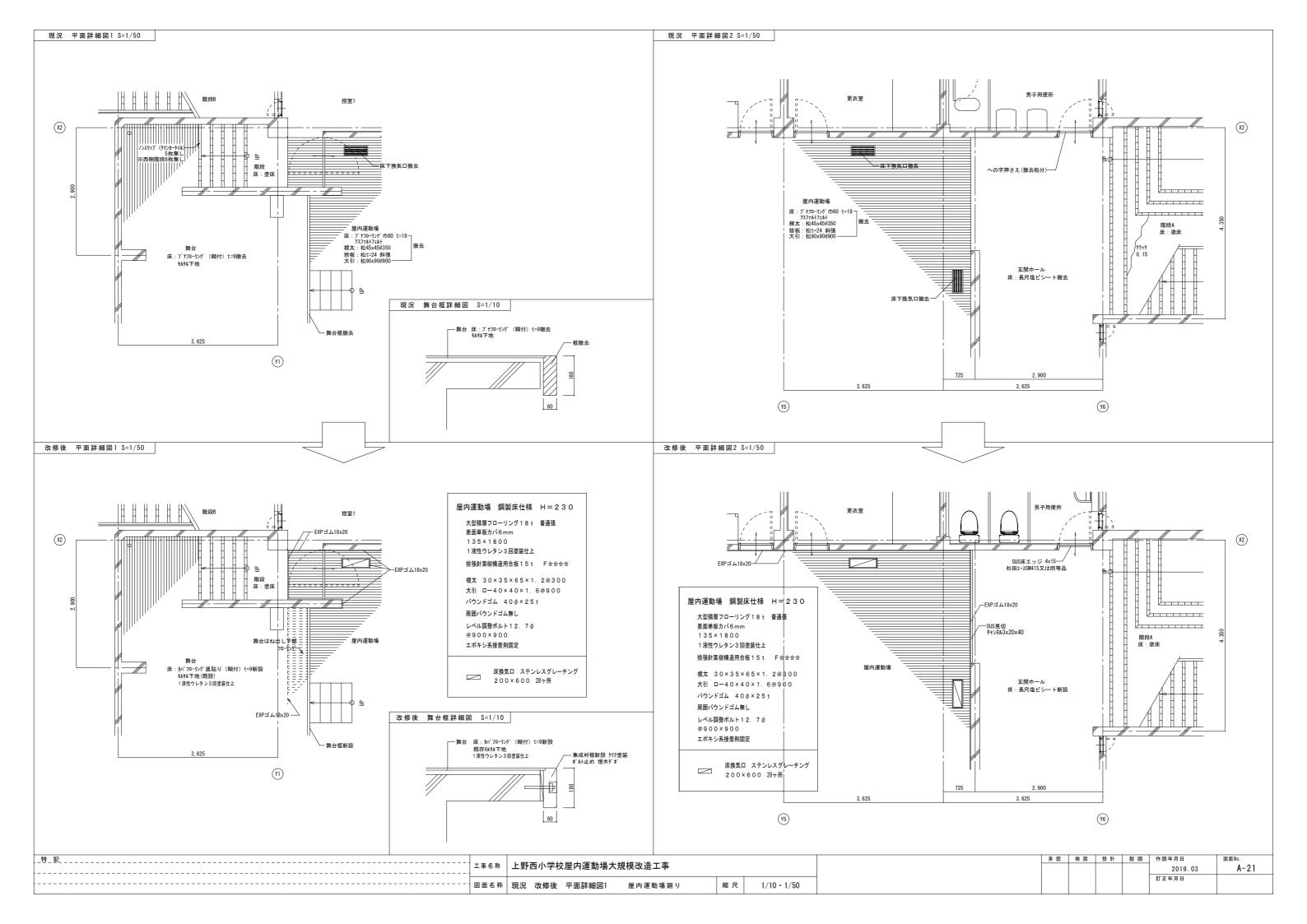
0. 30	クラックを示す (数字は幅)	(改修
811/1/3 211/1/3	鉄筋露出範囲を示す	(改修

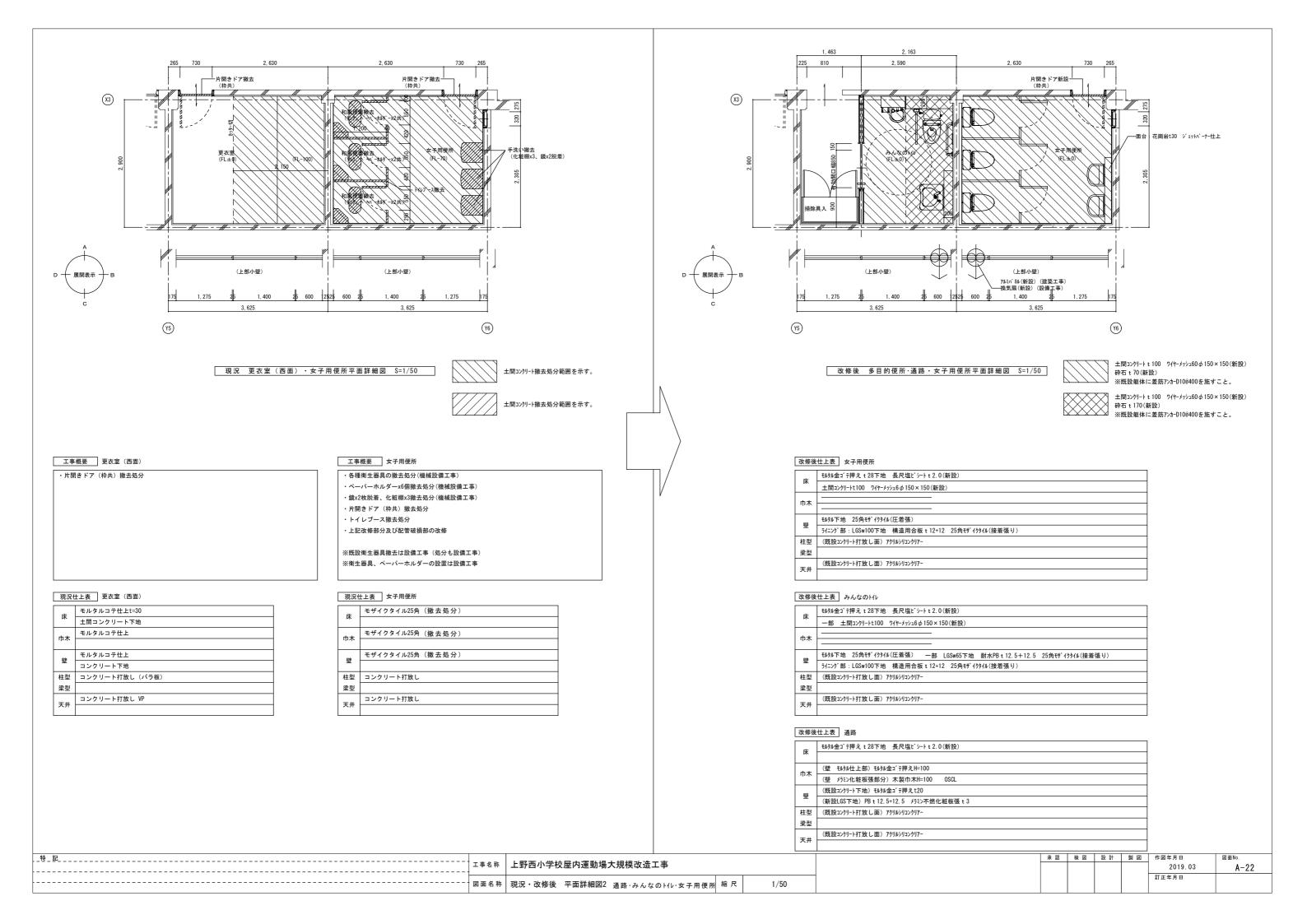
特 記						承認	検 図	設 計	製図	作図年月日	図面No.
	1 工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事								2019. 03	A-17
	回去夕折				-					訂正年月日	
	一図面名称	立面図3	縮尺	1/100							

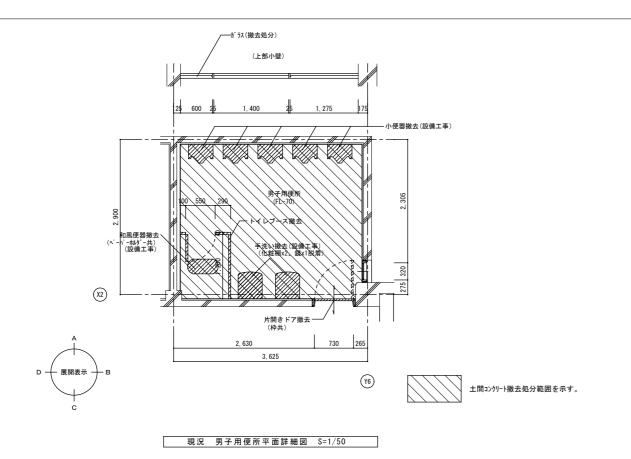












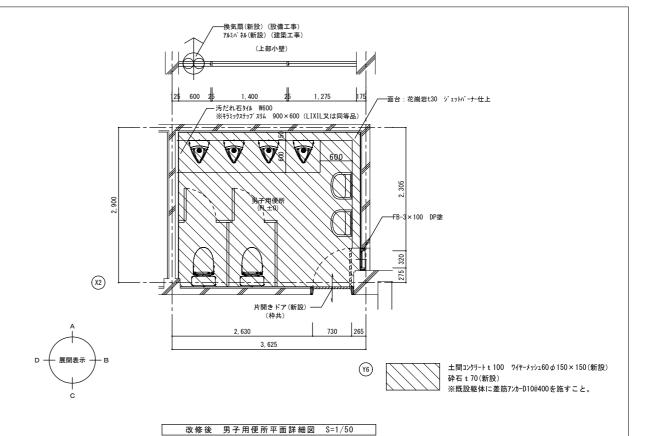
工事概要

- 各種衛生器具の撤去処分
- ・ペーパーホルダーx1個撤去処分
- 鏡x1枚脱着、化粧棚x2脱着
- ・片開きドア(枠共)撤去処分 ・トイレブース撤去処分
- 上記改修部分及び配管破損部の改修

※既設衛生器具撤去は設備工事(処分は建築工事) ※衛生器具、ペーパーホルダーの設置は設備工事

現況仕上表

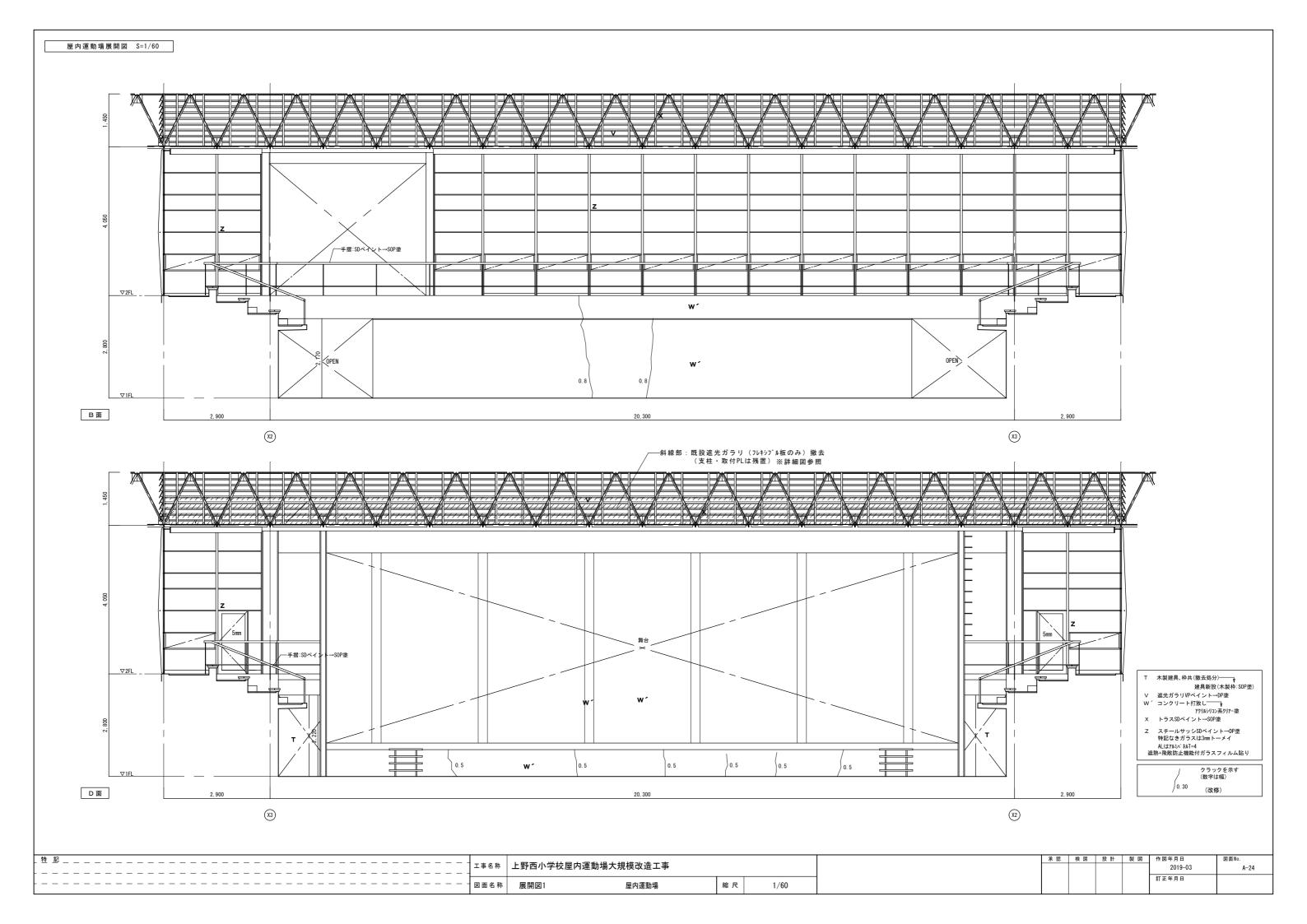
床	モザイクタイル25角(撤去処分)
K	モルタル下地(撤去処分)
巾木	モザイクタイル25角(撤去処分)
III/K	
壁	モザイクタイル25角(撤去処分)
五	モルタル下地(撤去処分)
柱型	コンクリート打放し (バラ板)
梁型	
天井	コンクリート打放し VP
X#	

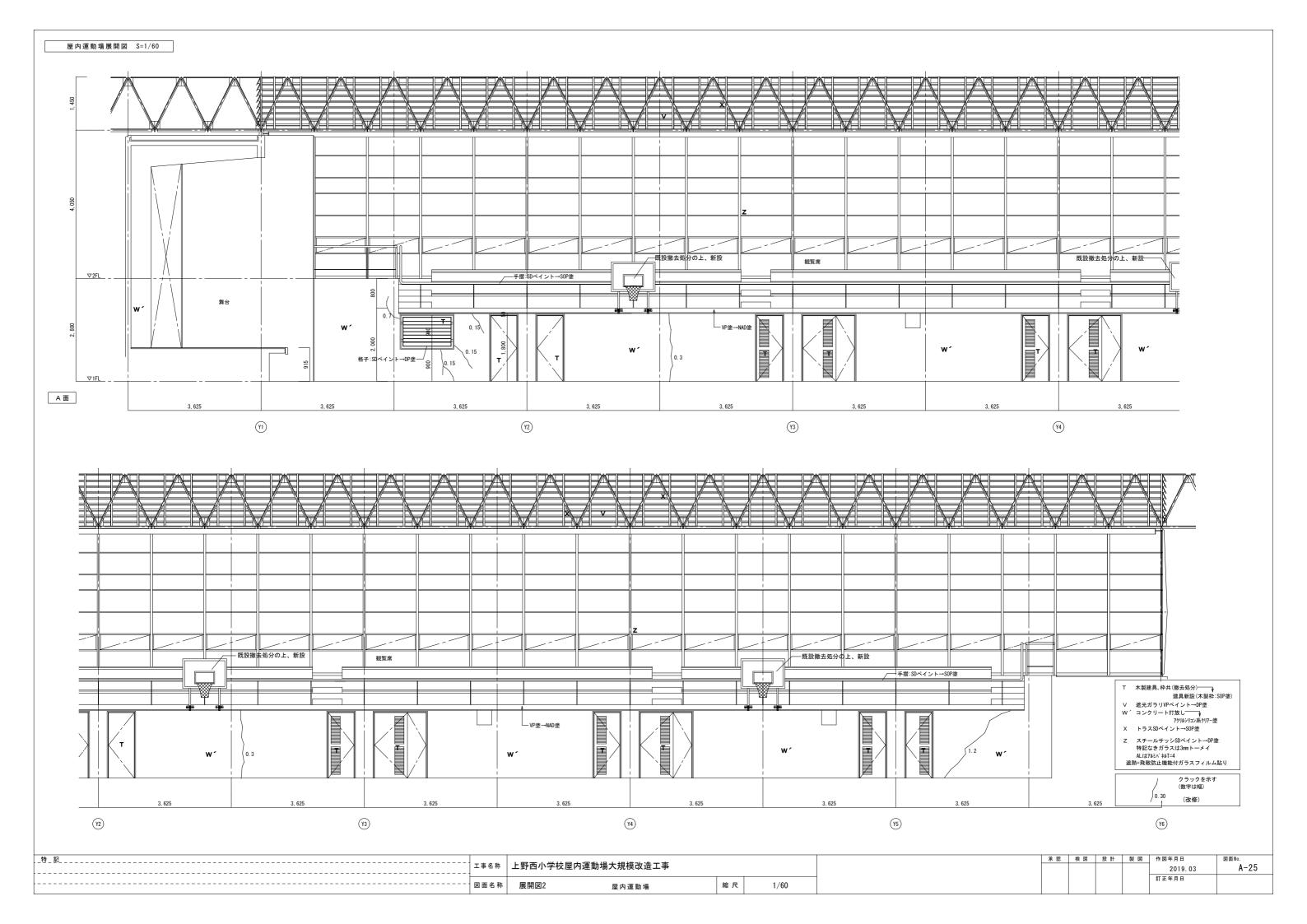


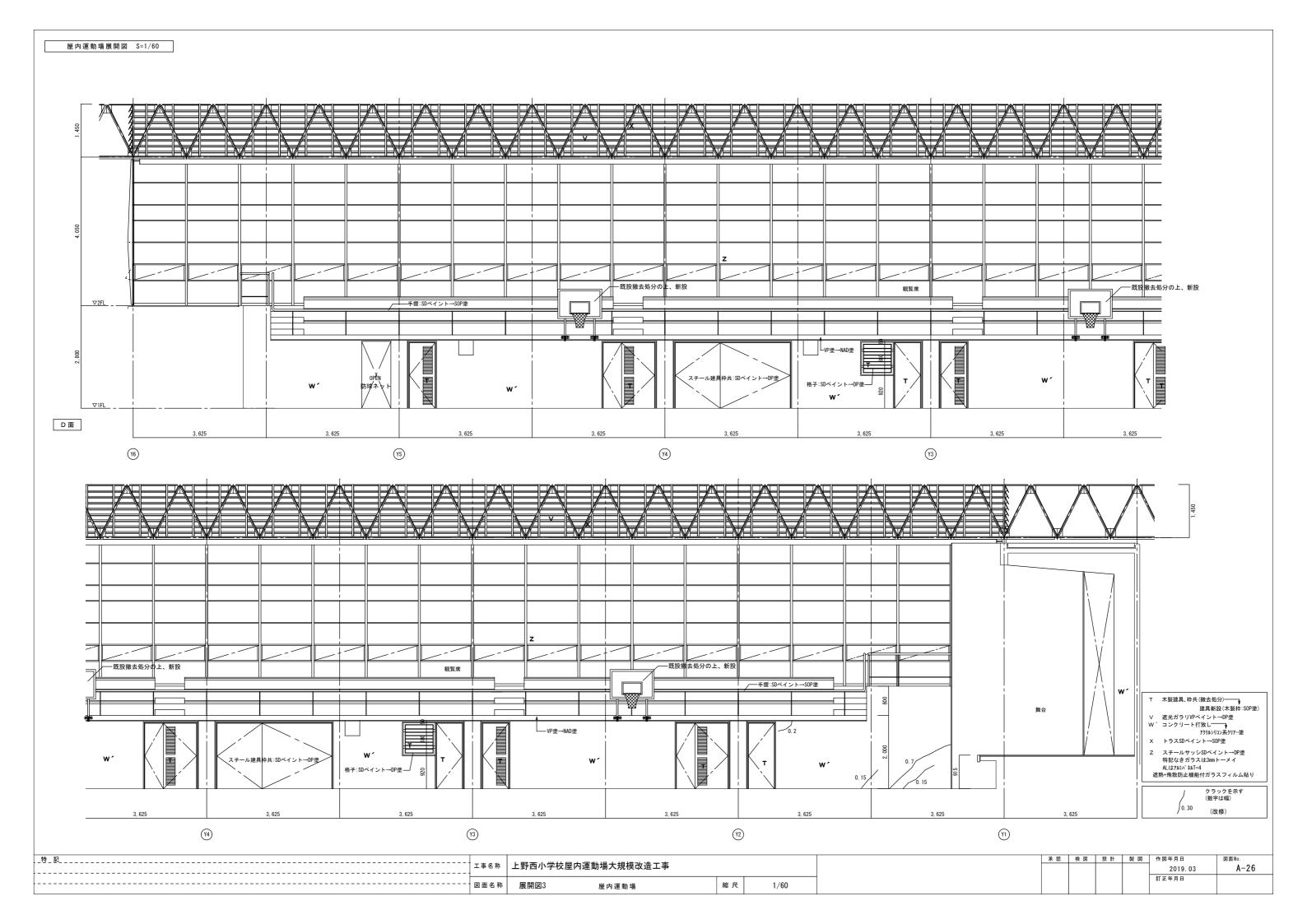
改修後仕上表

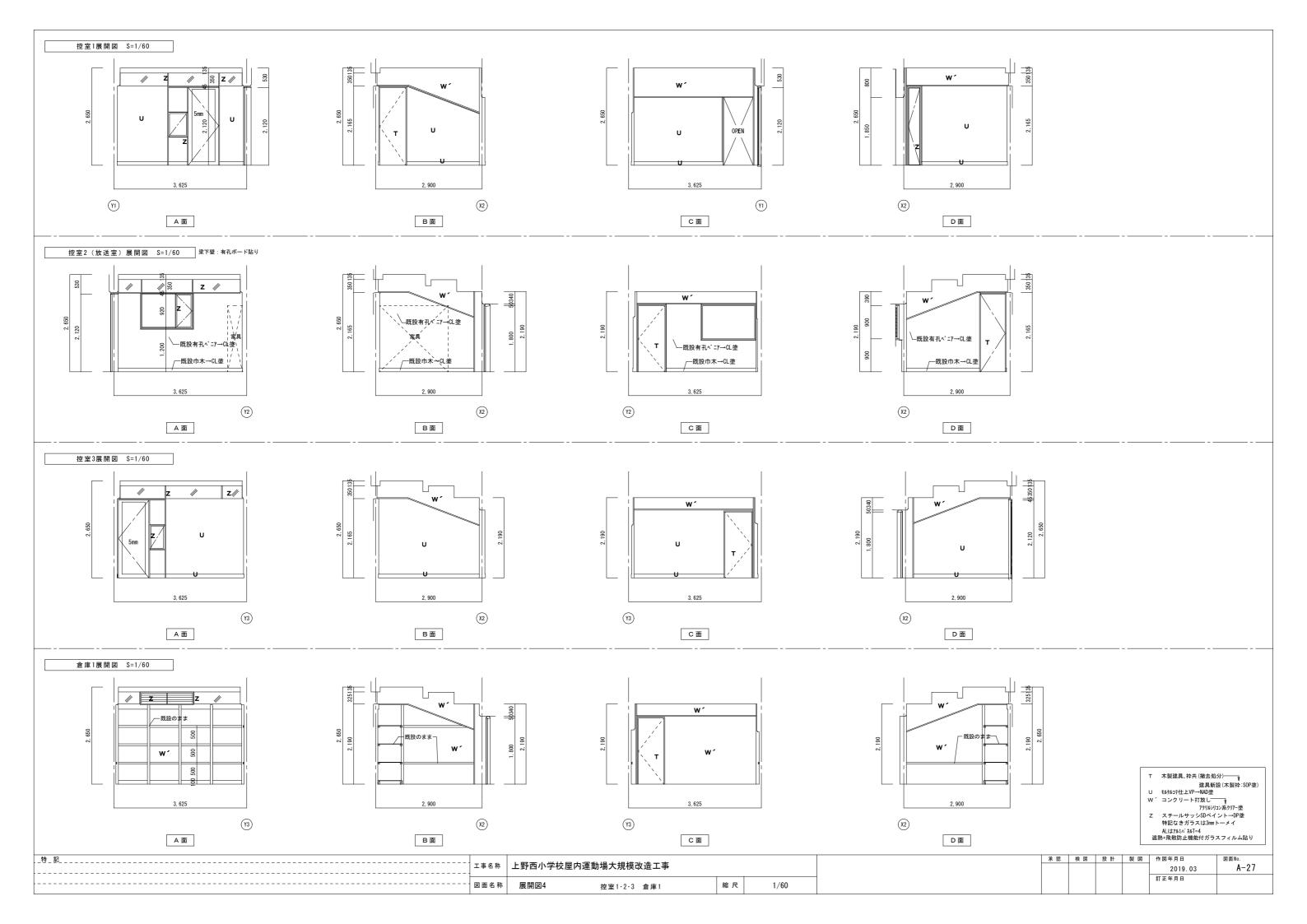
床	モルタル金コ´ テ押え t 28下地 長尺塩t´ シート t 2.0(新設)
1	土間コンクリートt100 ワイヤーメッシュ6φ150×150(新設)
巾木	
1117	
壁	₹ルタル下地 25角モザイクタイル(積上げ張)
==	ライニング 部: LGSw100下地 構造用合板 t 12+12 25角モザ イクタイル(接着張)
柱型	(既設コンクリート打放し面) アクリルシリコンクリアー
梁型	
天井	(既設コンクリート打放し面) アクリルシリコンクリアー
^#	

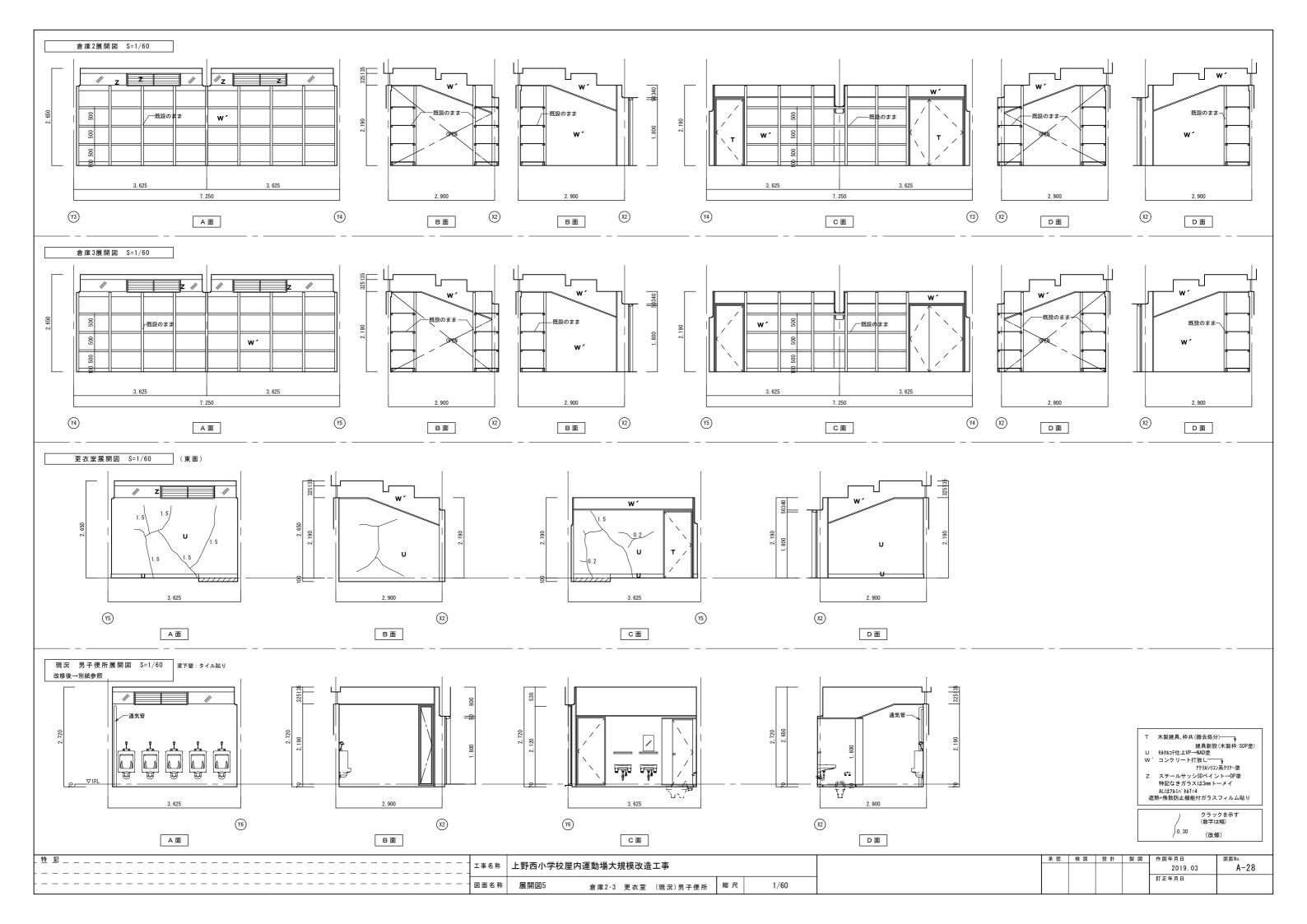
特 記	承 認	検 図	設 計	製図	作図年月日	図面No.
工事名称 │ 上野西小学校屋内運動場大規模改造工事					2019.03	A-23
図面名称 現況・改修後 平面詳細図3 男子用便所 縮尺 1/50					訂正年月日	

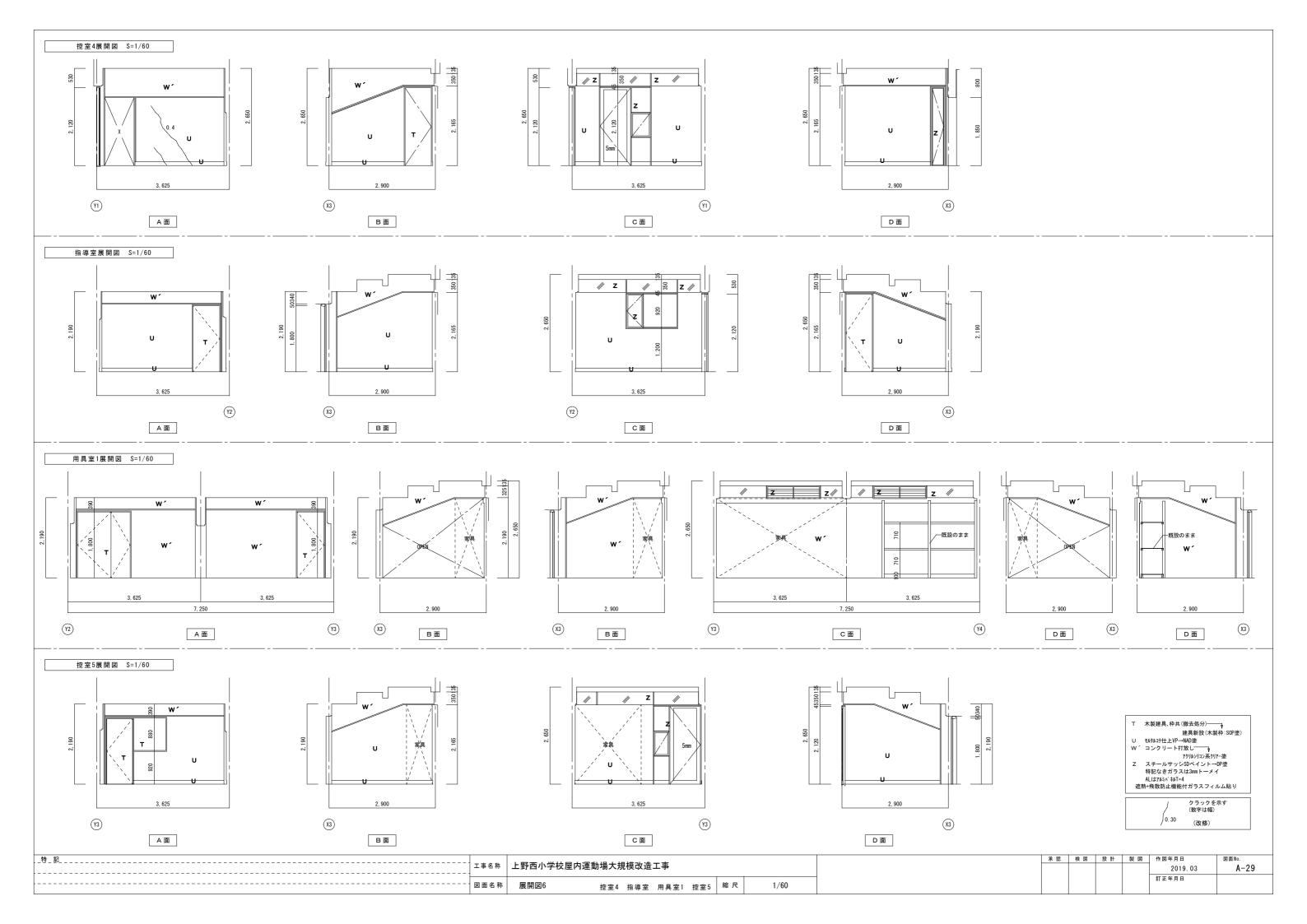


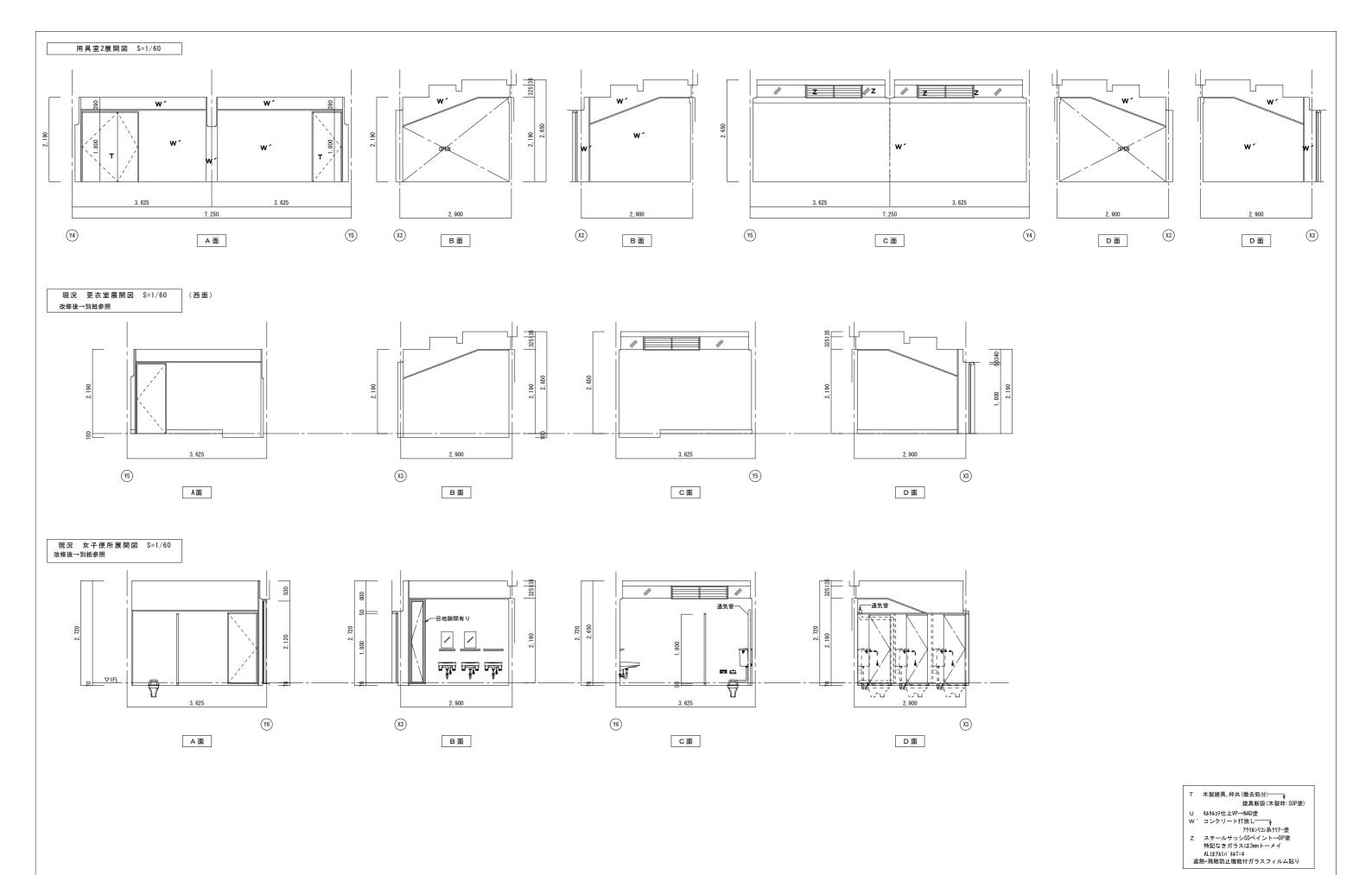






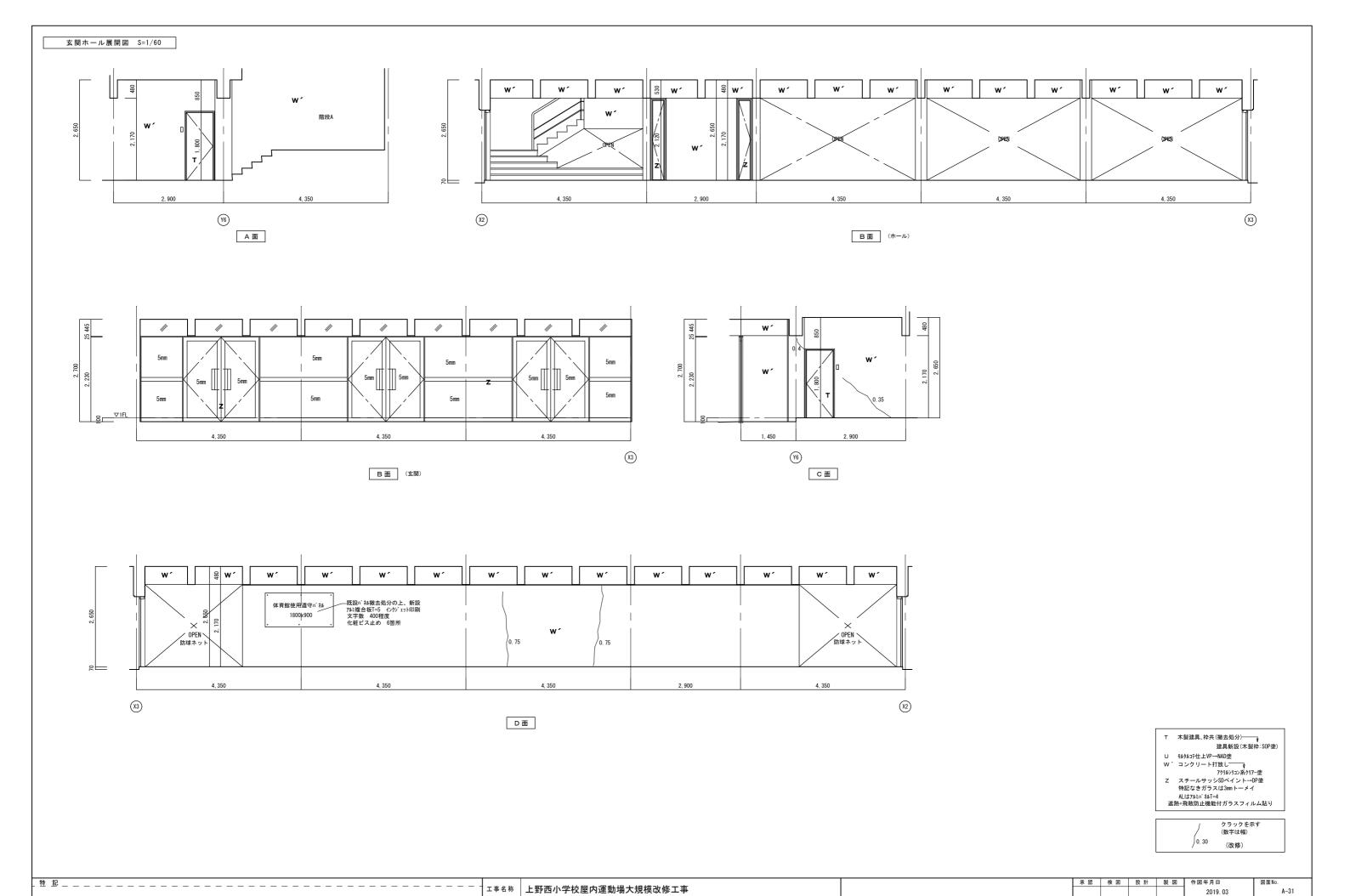






 特記
 工事名称
 上野西小学校屋内運動場大規模改造工事

 図面名称
 展開図7
 用具室2 (現況)更衣室・女子便所 縮尺 1/60
 1/60



図面名称

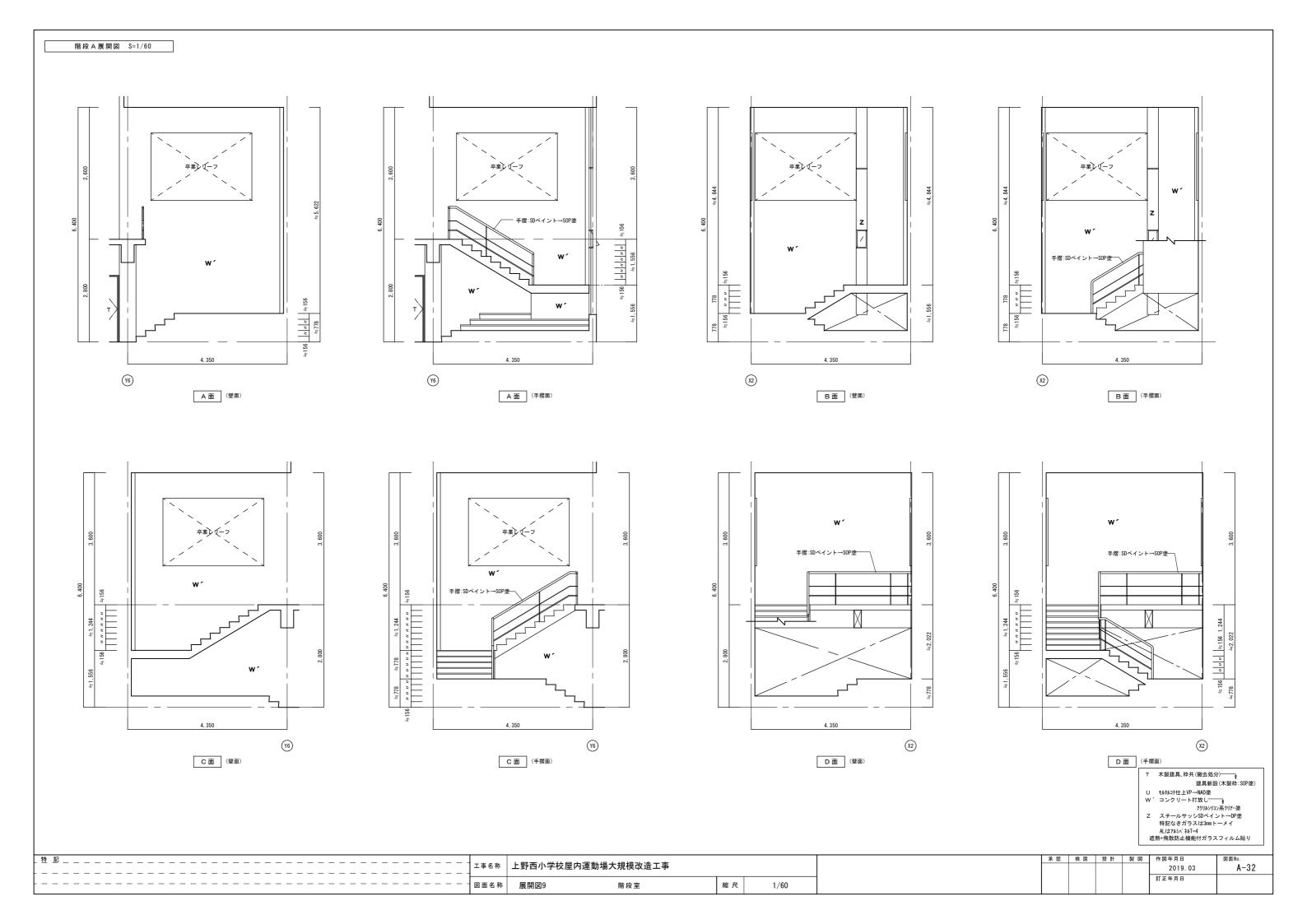
展開図8

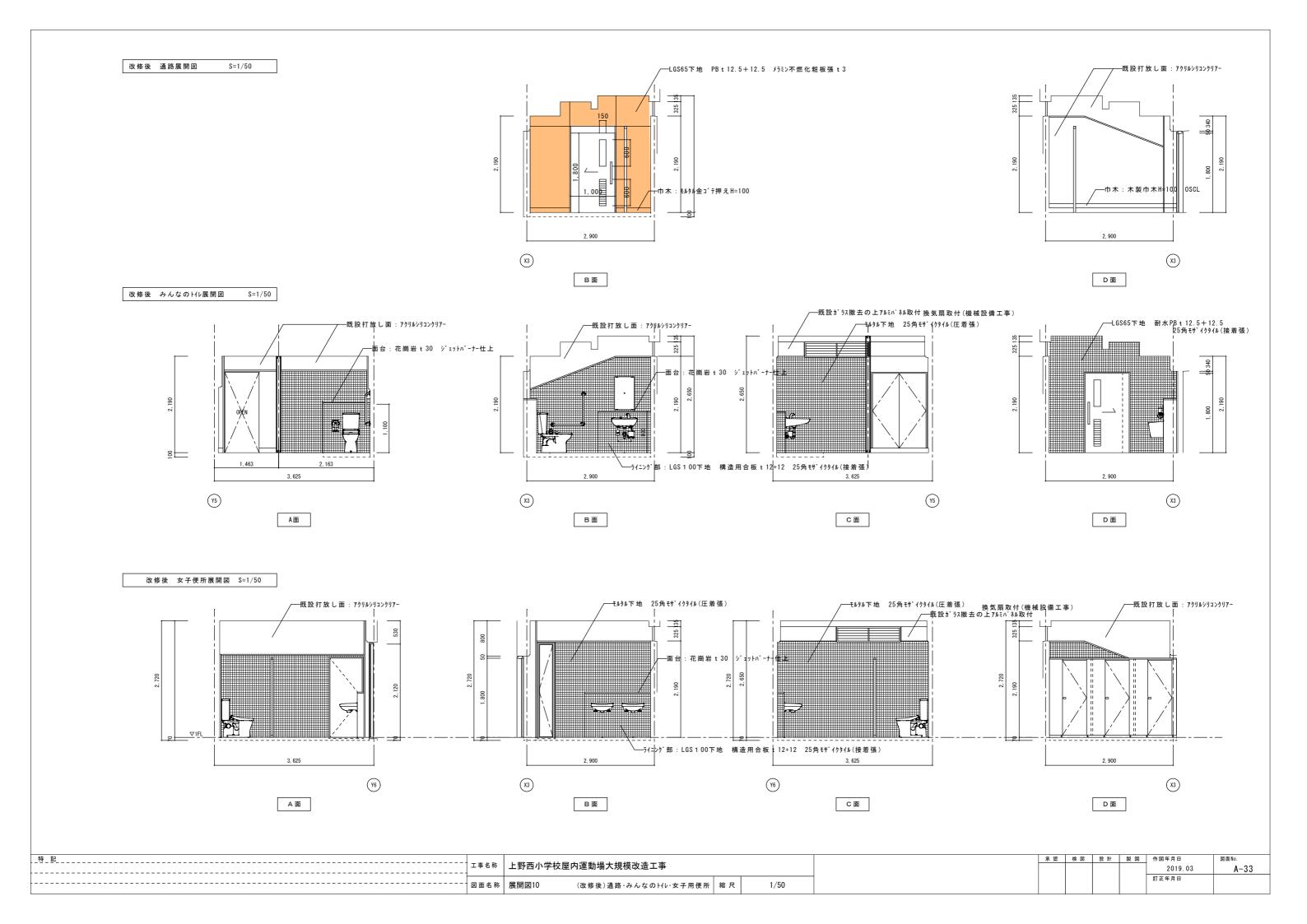
玄関ホール

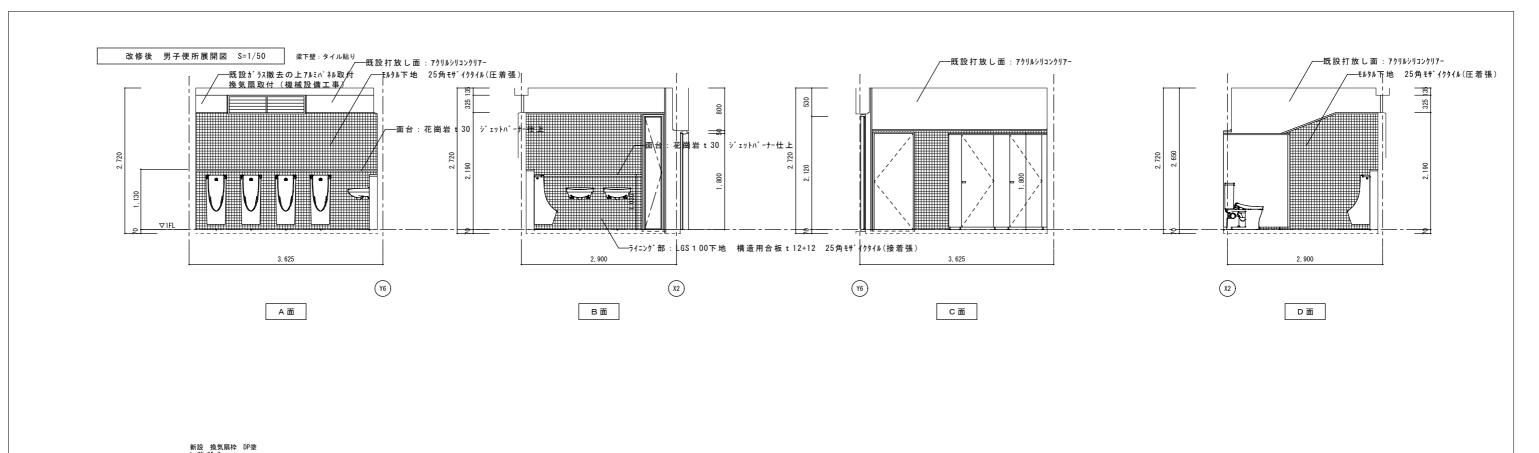
縮尺

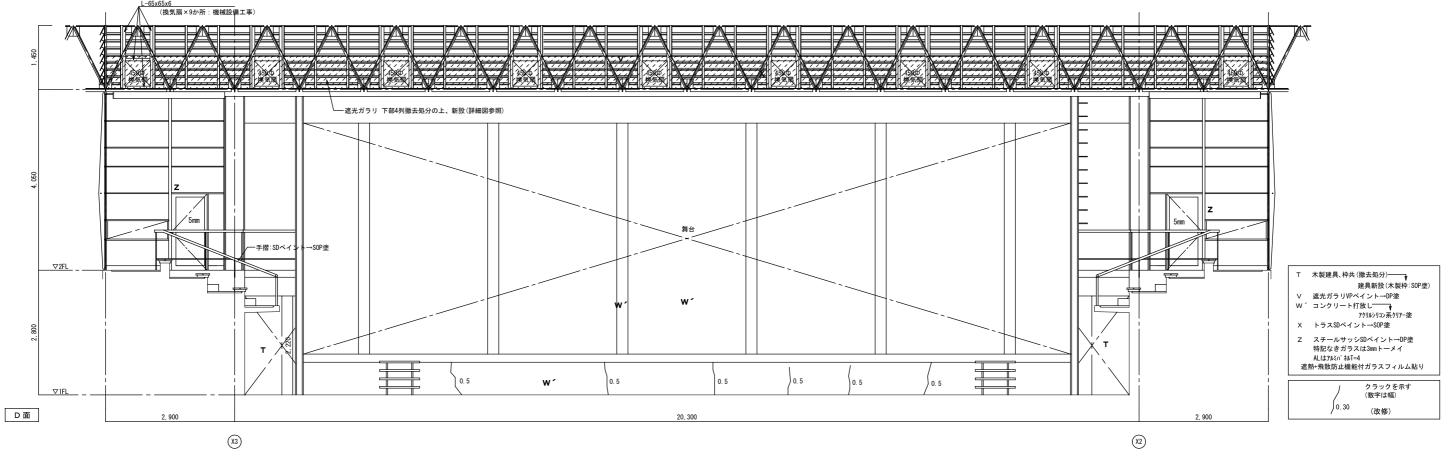
1/60

訂正年月日

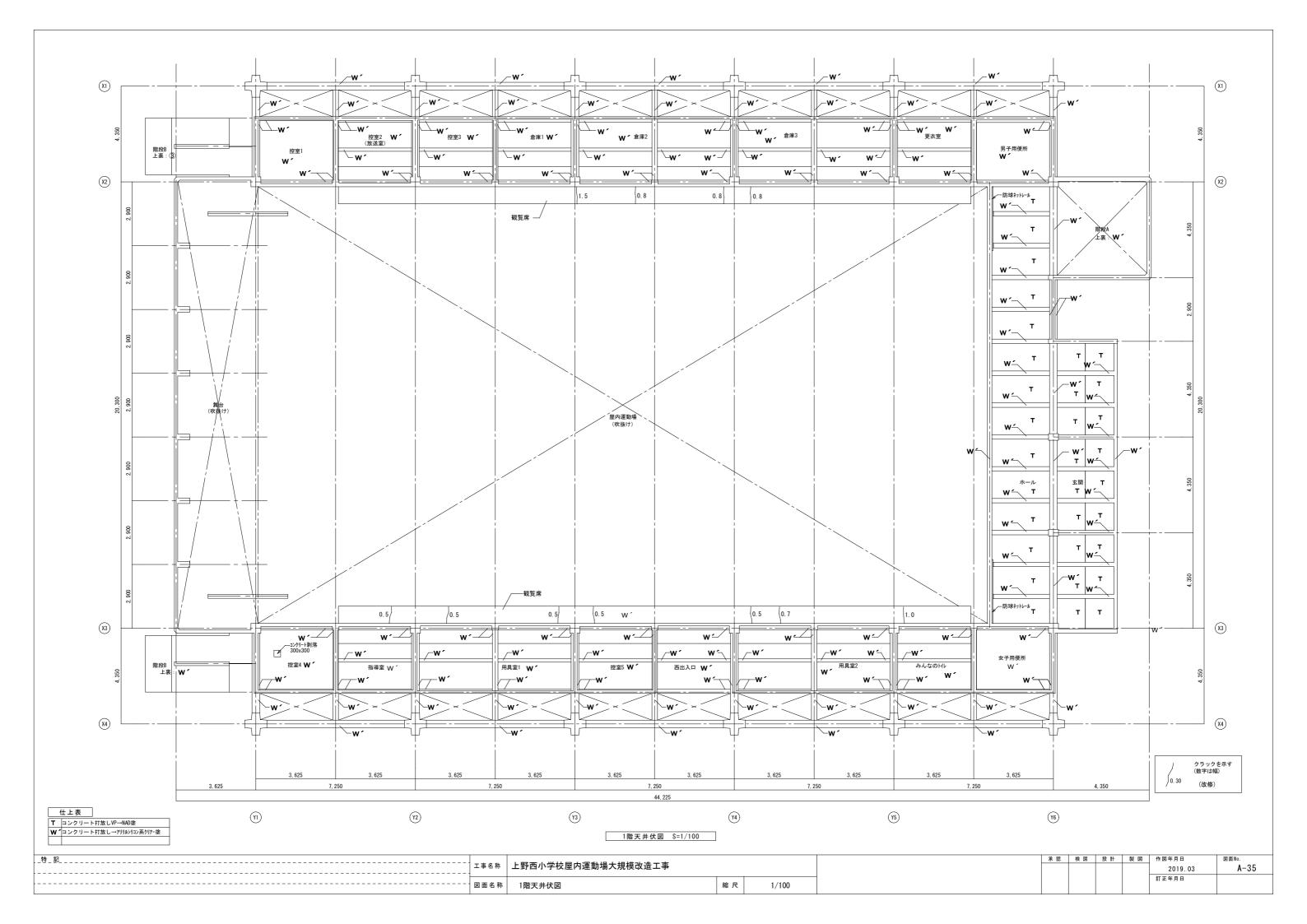


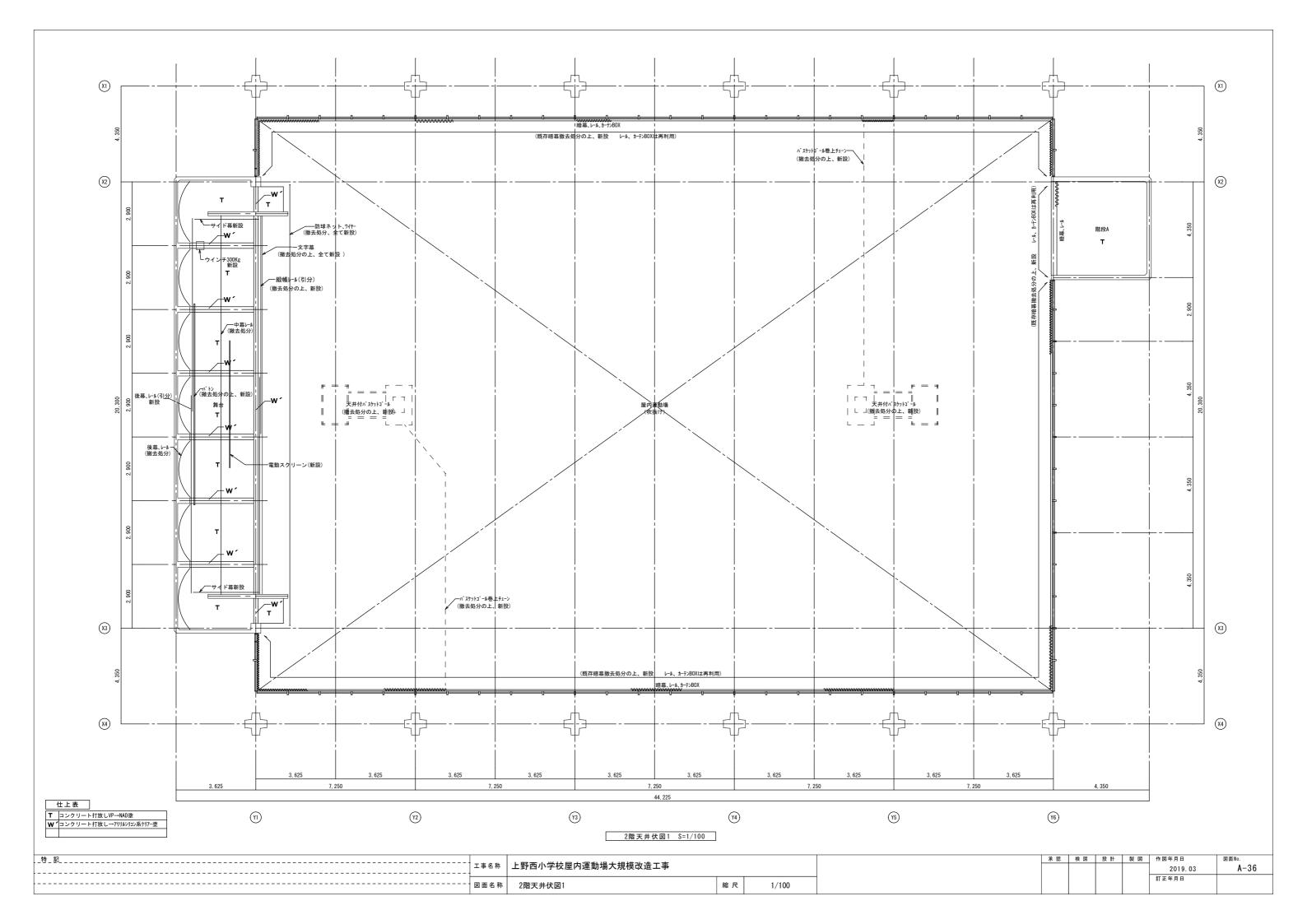


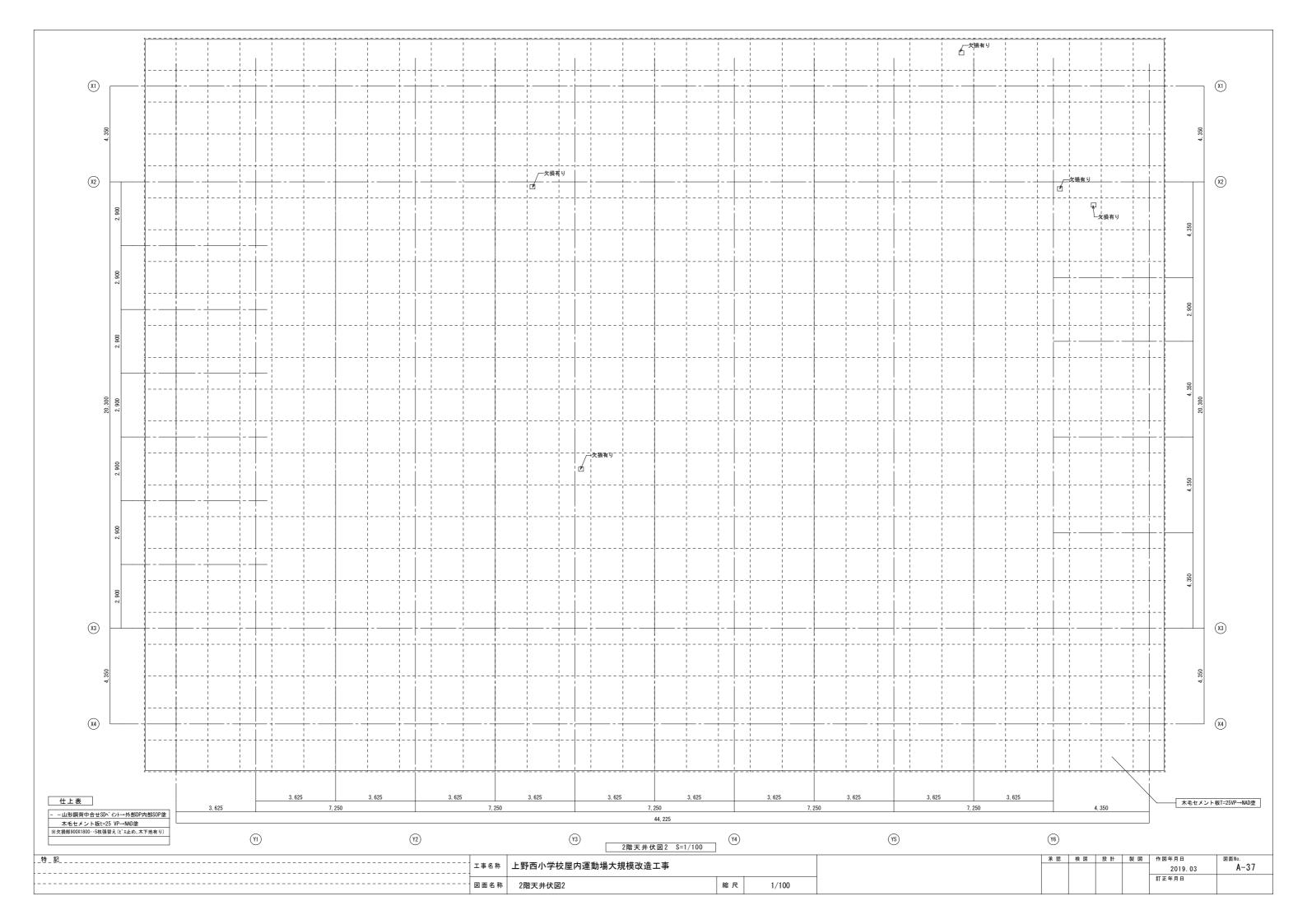


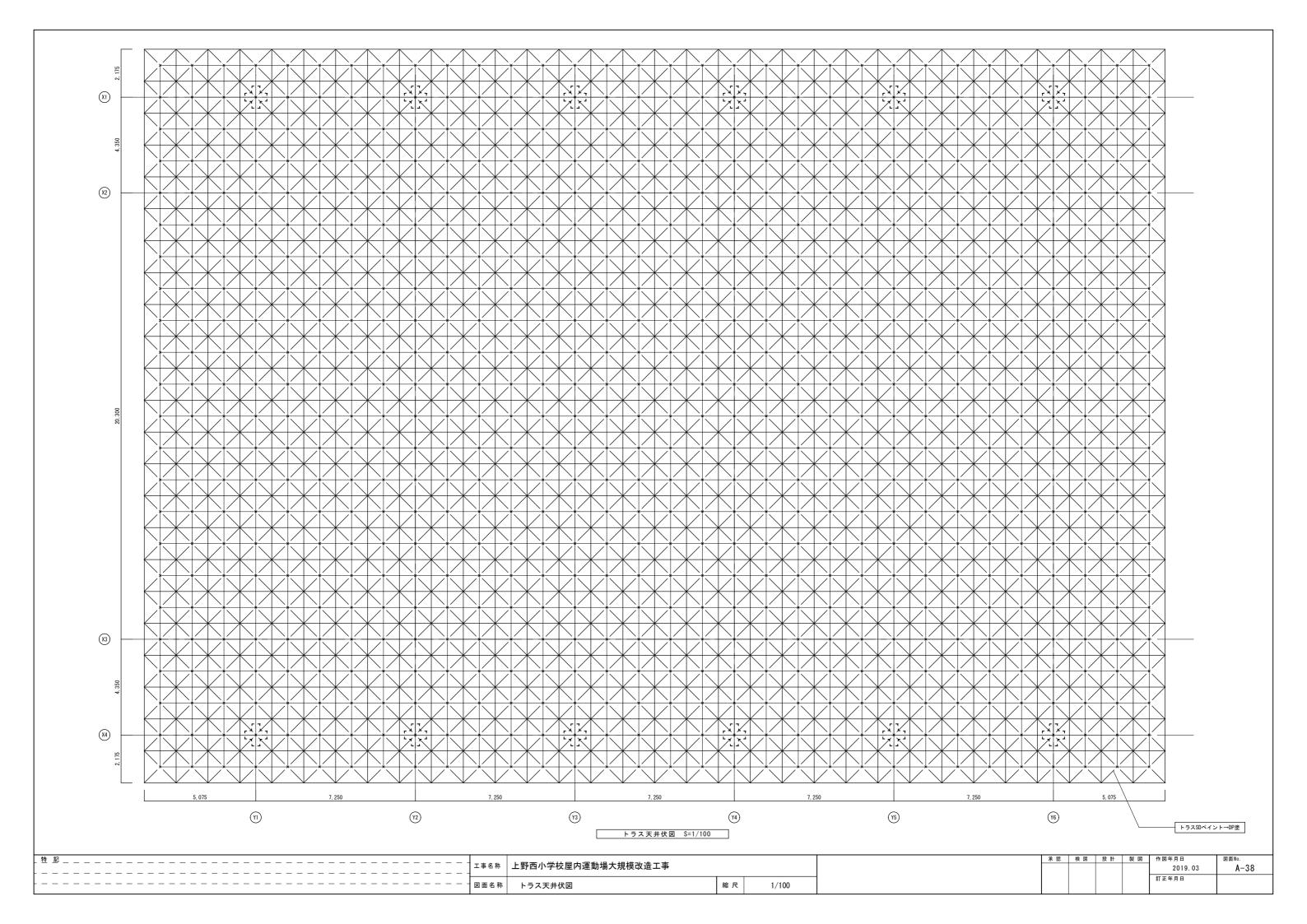


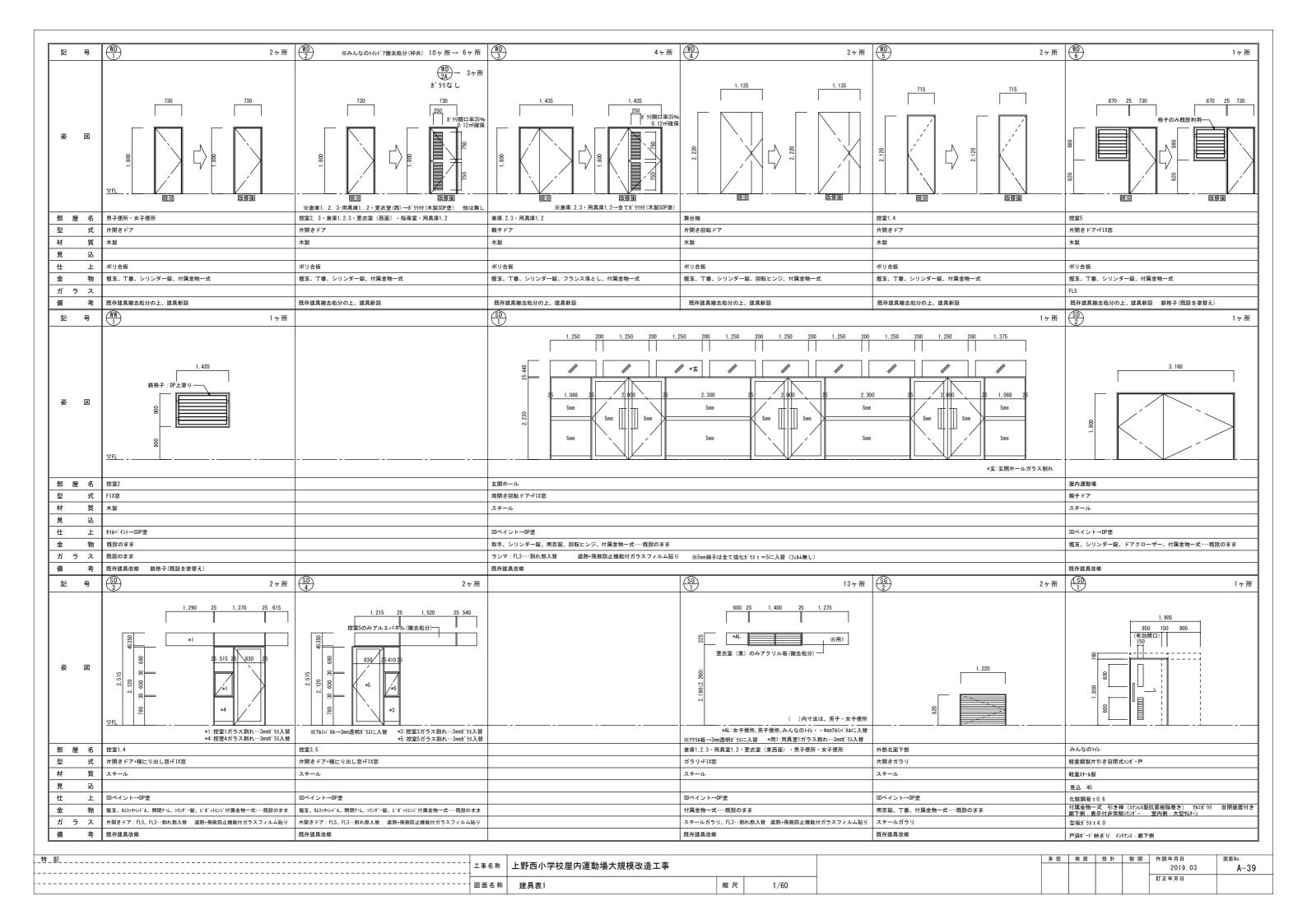
-							
L	特 記	承認	検 図	設計	製図	作図年月日	図面No.
[▼					2019.03	A-34
Ī				1 '		訂正年月日	
ŀ				1 '			
L				'			

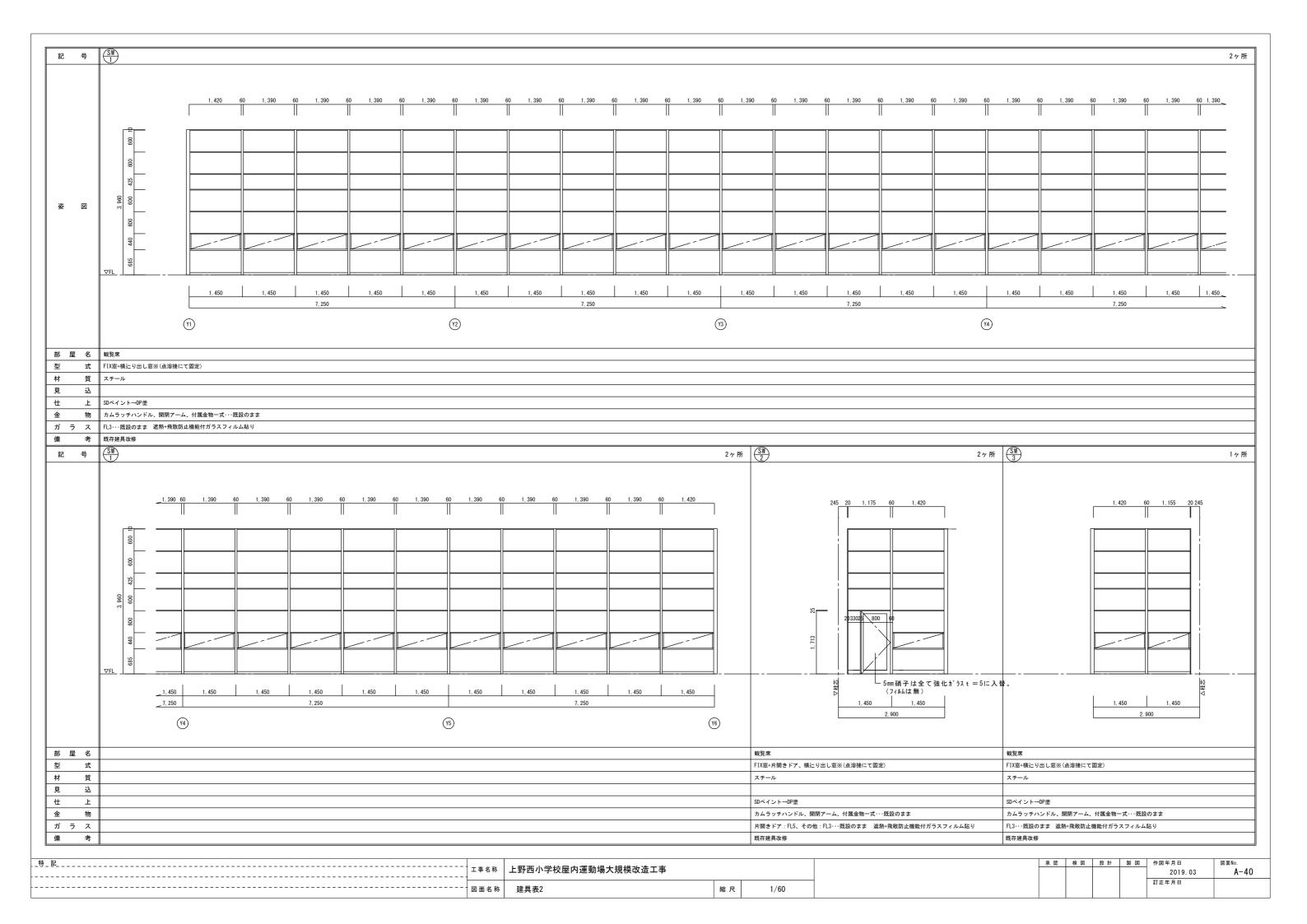


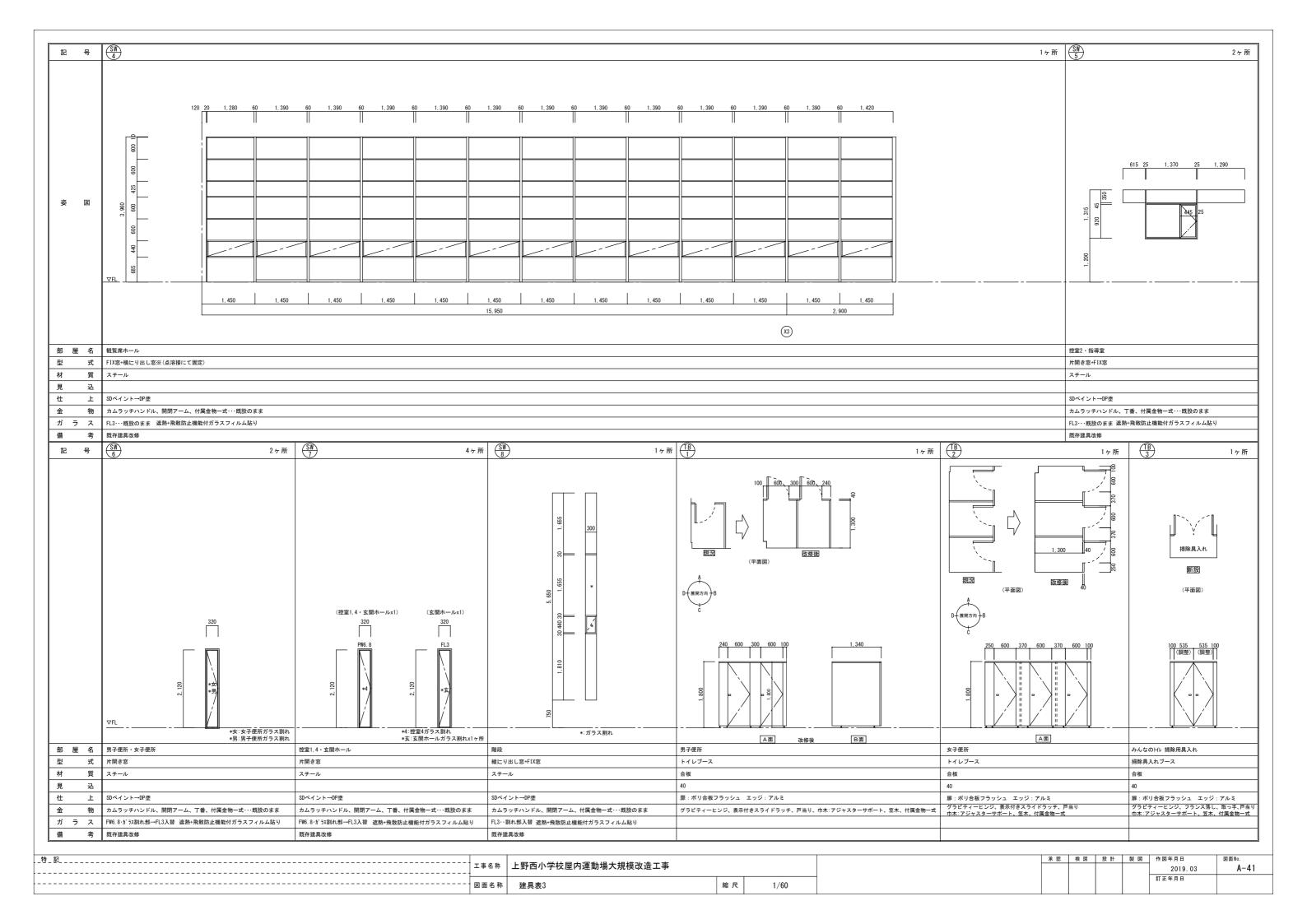


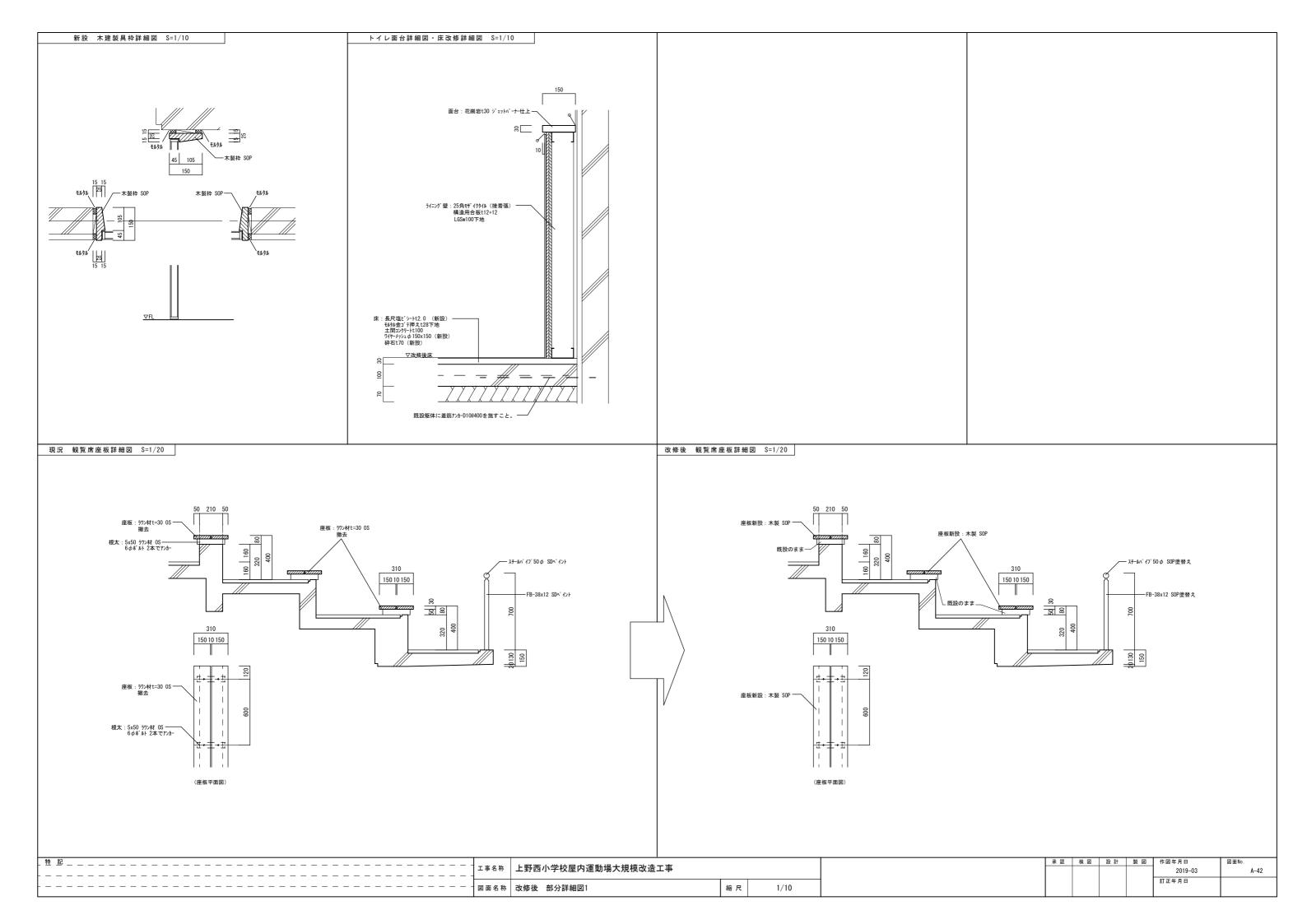


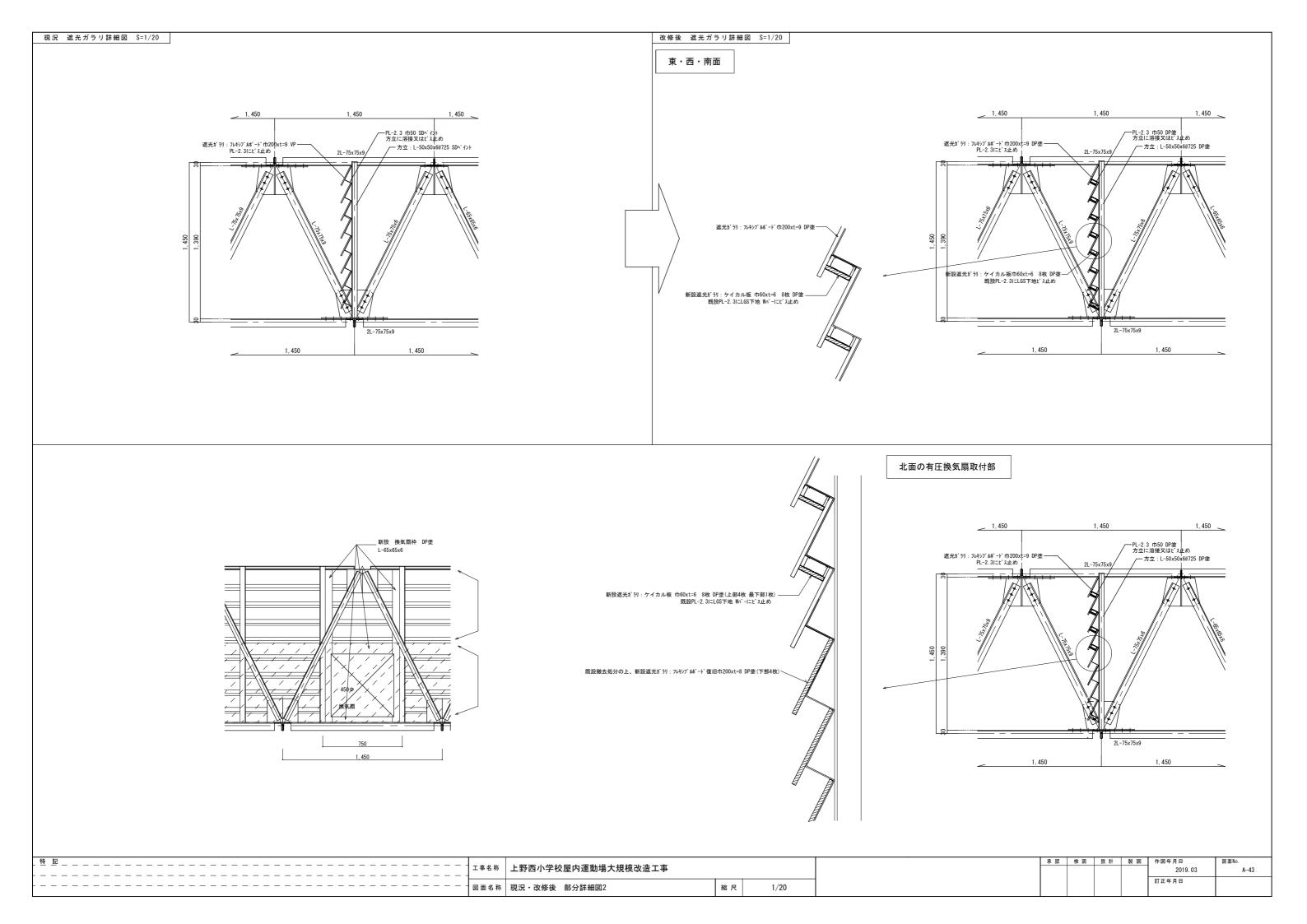


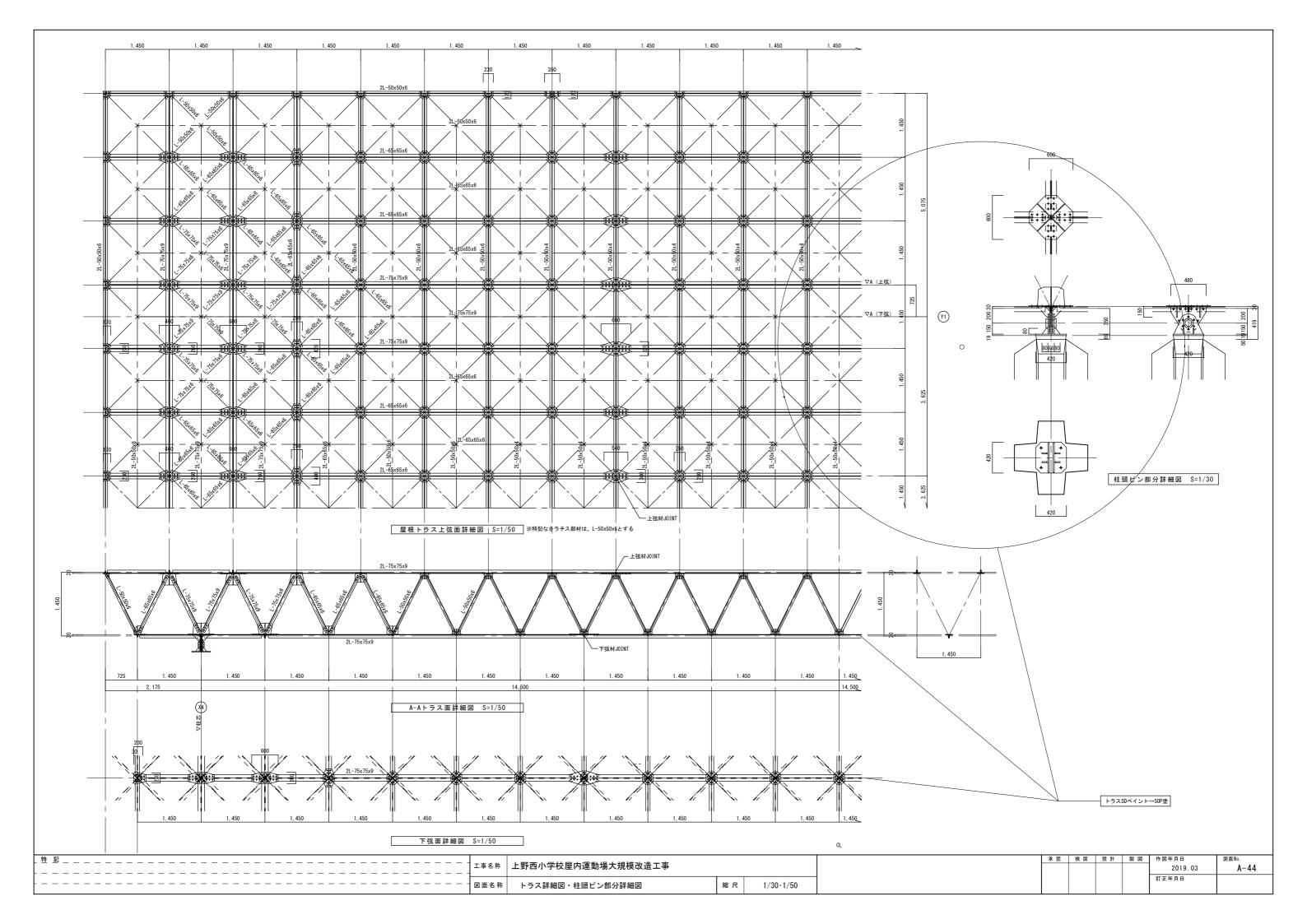


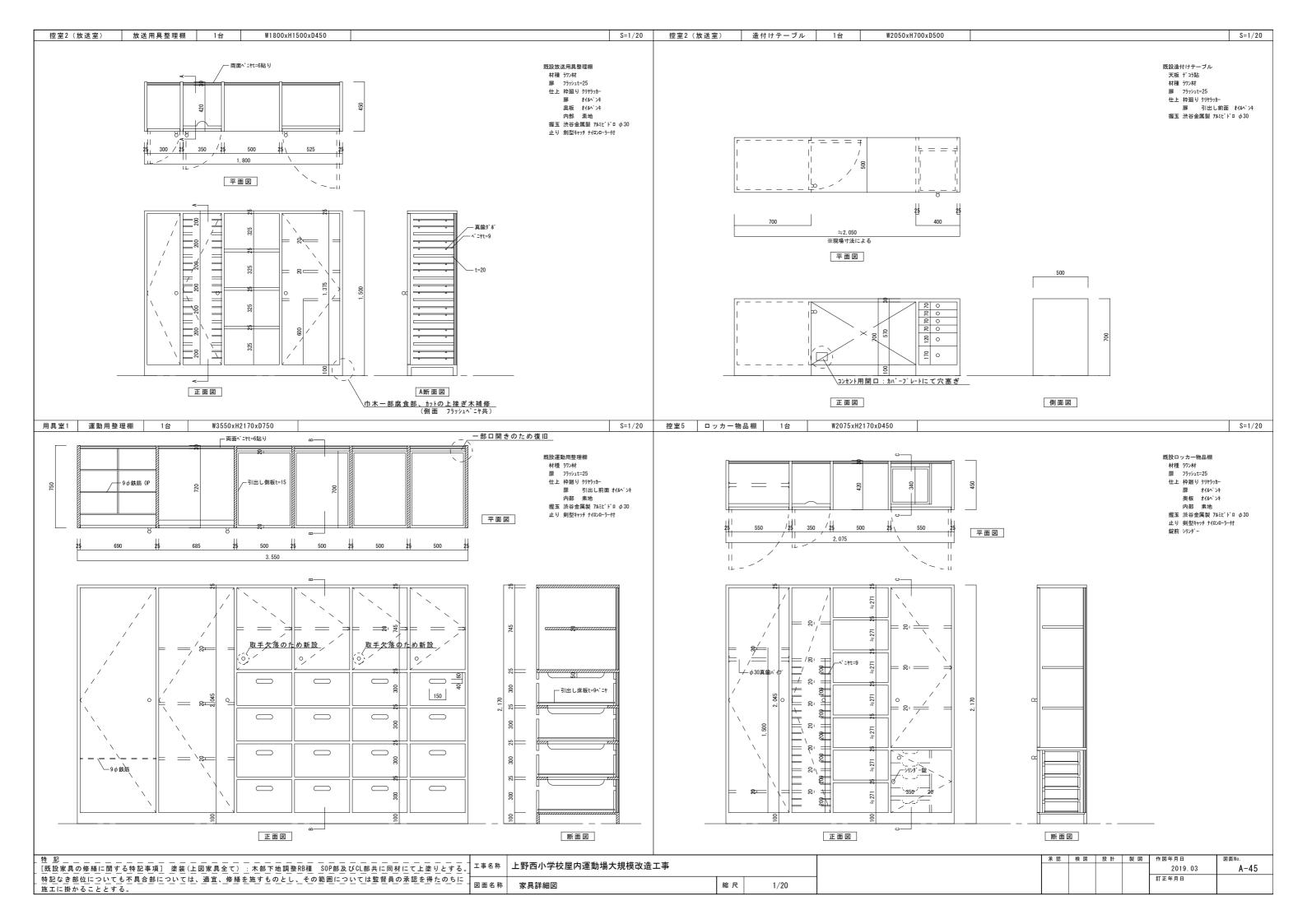


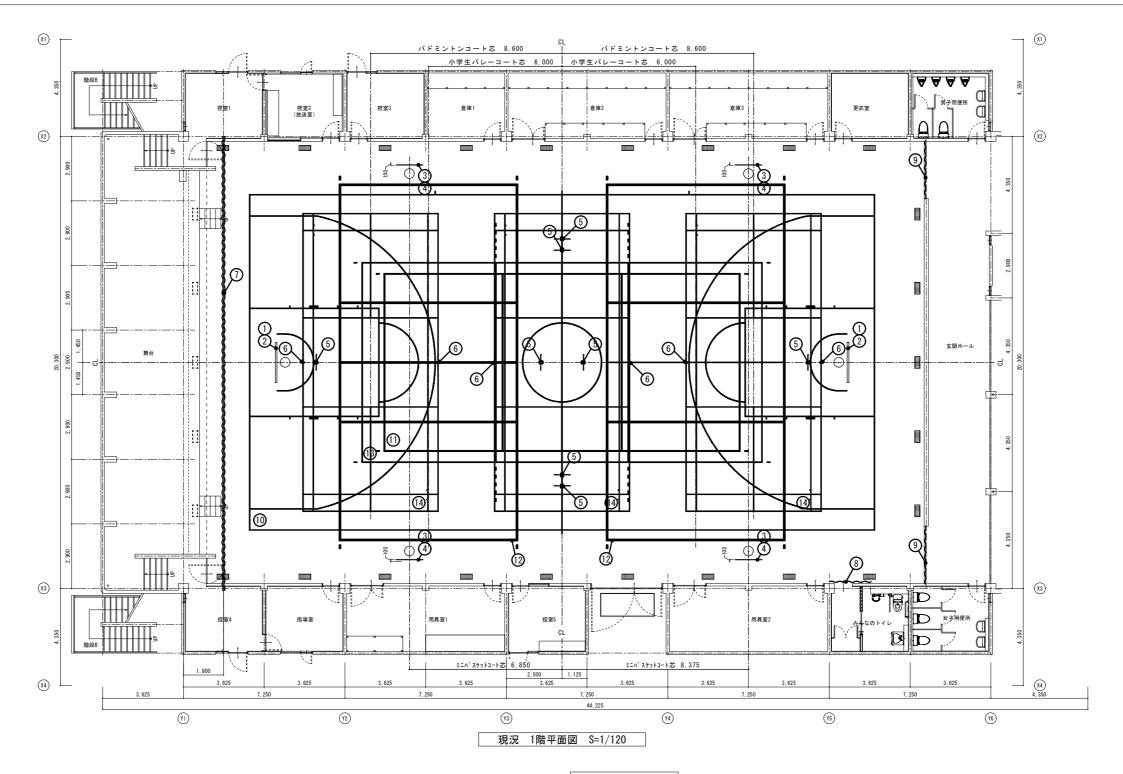












体育施設工事一覧表

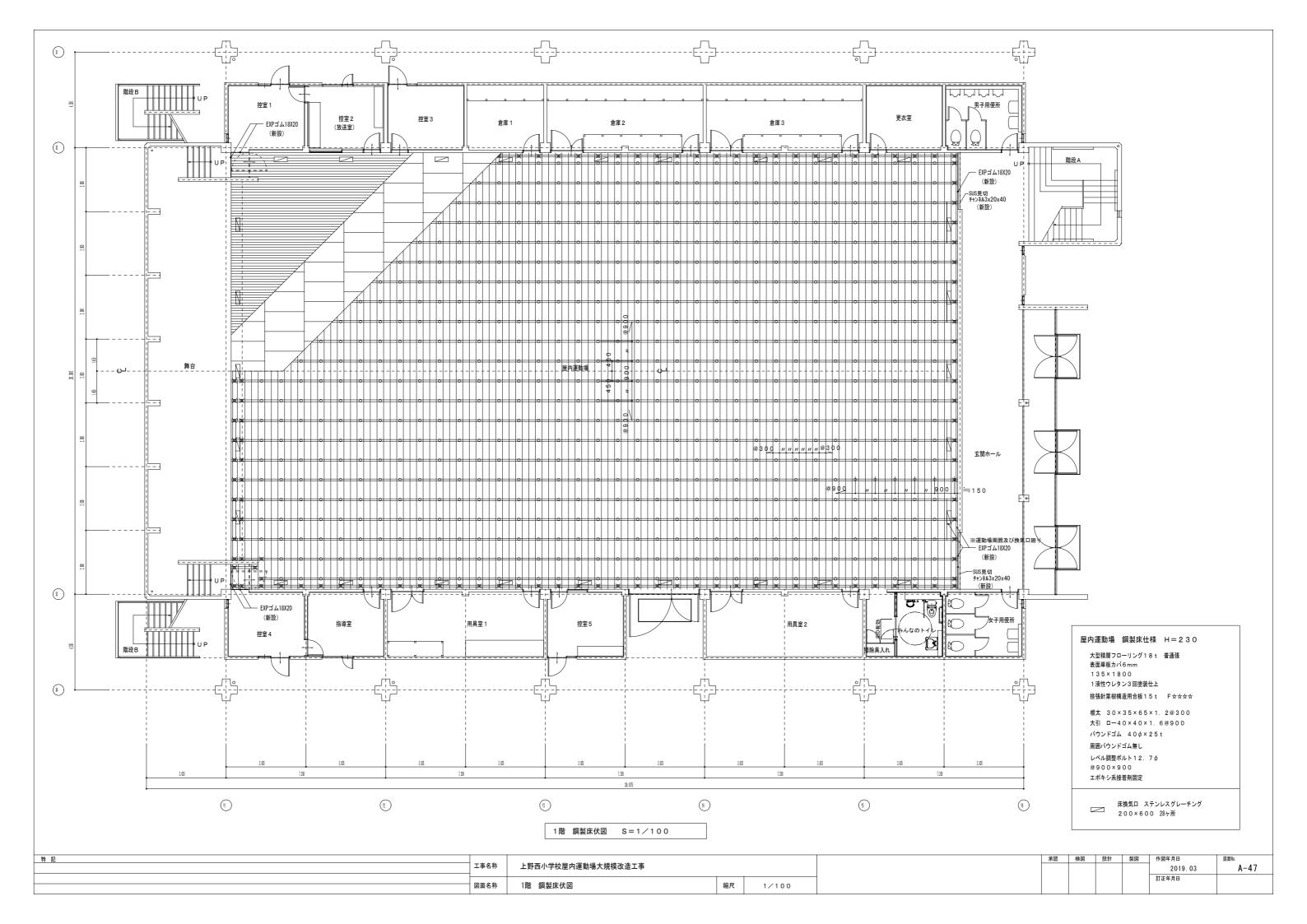
NO	品 番	数量	品 名 / 仕 様
1		1対	既存吊下げ式バスケット台撤去
2		1対	吊下前方折たたみ式バスケット台 手動式 プラスチック板 BB640落下衝撃緩衝装置付
3		2対	既存固定式バスケット台撤去
4		2対	固定式ミニバスケット台 ミニダグラス板
⑤	BV401	8個	バレー用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
6	BD601	6個	バドミントン用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
0	SD101	1張	ステージ用防球ネット 両開ロープ操作式
8	SD106	1張	みんなのトイレ用防球ネット 片開レール手引式
9	SD107	2張	玄関用防球ネット 片開レール手引式

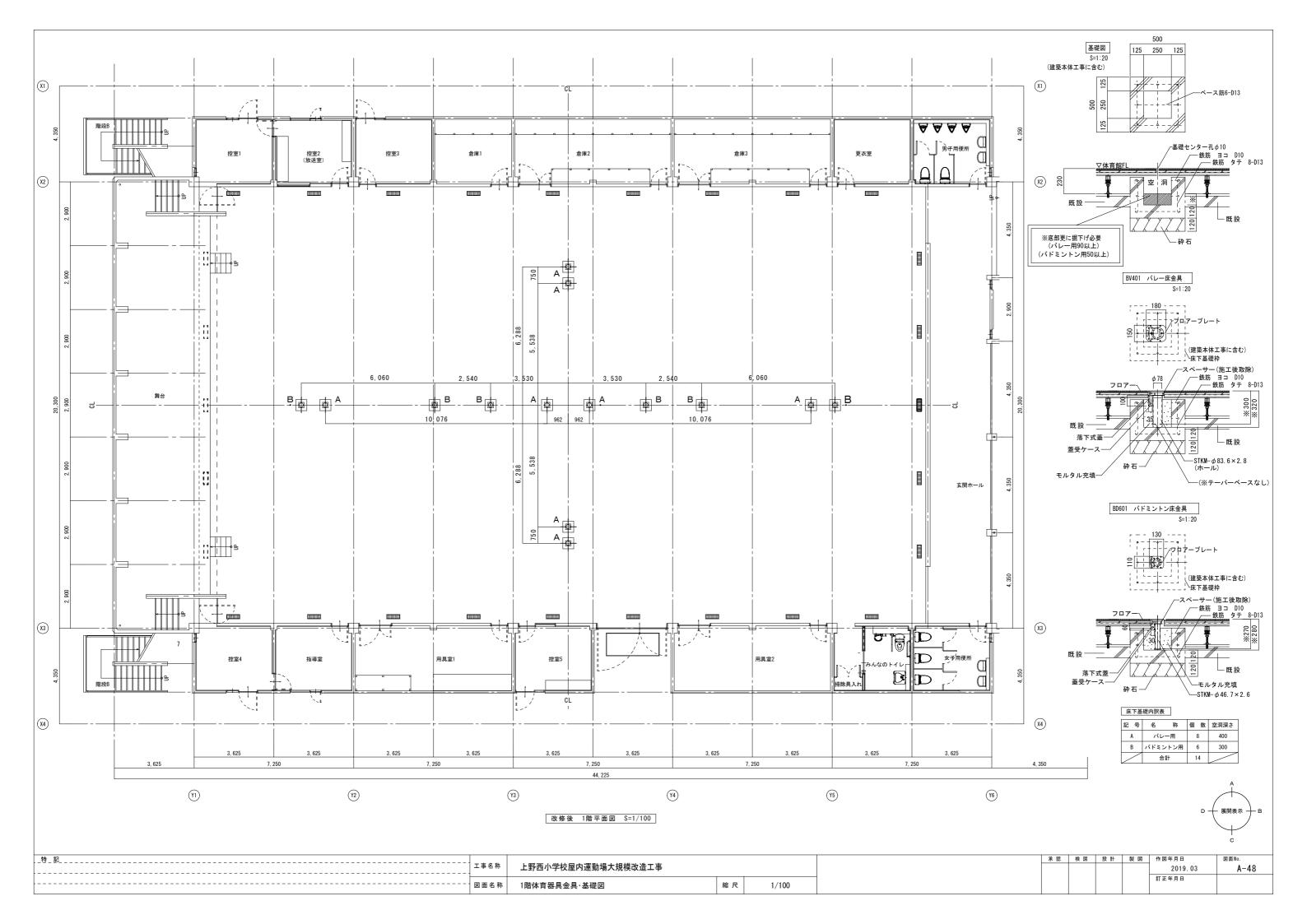
コートライン一覧表

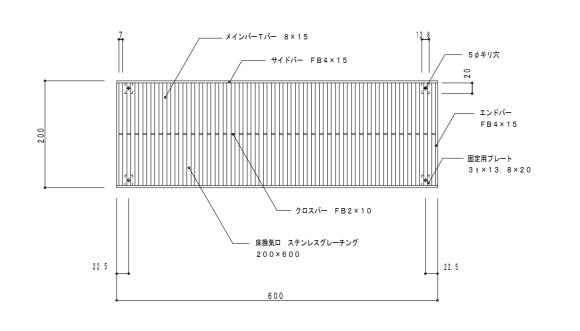
NO	品 番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	凡例
0	SL211	1面	(メイン)バスケットボールコート 28,000×15,000 全線	白	50mm	黒
0	SL213	1面	(メイン)小学生バレーコート 16,000×8,000 全線	白	50mm	黄
12	SL213	2面	(サブ) 小学生バレーコート 16,000×8,000 全線	青	50mm	青
(3)	SL213	1面	(メイン)一般6人制バレーコート 18,000×9,000 全線	赤	50mm	赤
(1)	SL215	3面	バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 全線	緑	40mm	緑

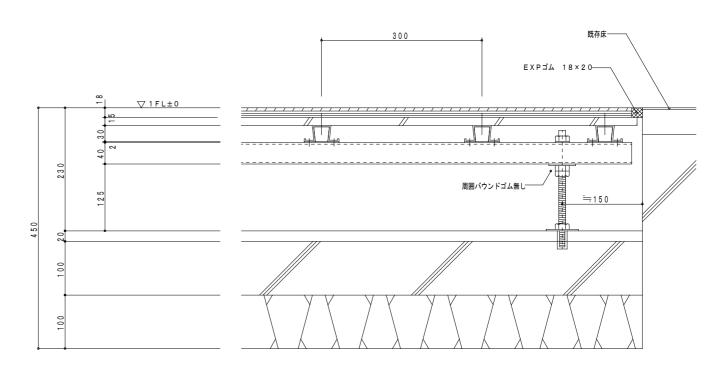
※優先順位・ライン色は、現場責任者に確認すること ※凡例は図面印刷時のライン色を表記している

152						承認	検 図	設計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称 上野西小学校	校屋内運動場大規模改造工事								1	A — 46
					-					訂正年月日	
	図面名称 現況 1階平面図	図(体育器具配置図)	縮尺	1/120							



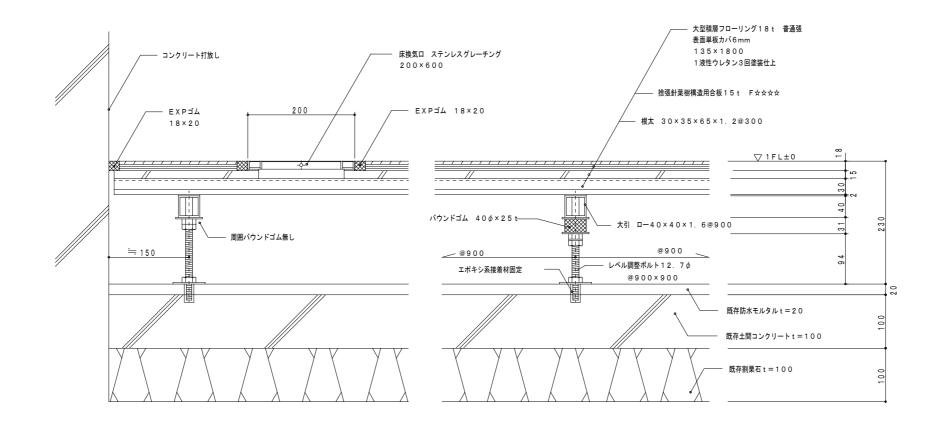






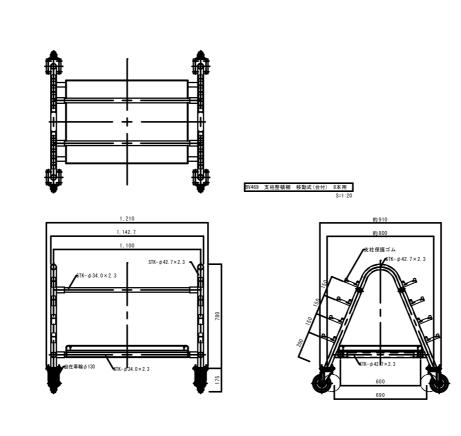
床換気口 平面詳細図 SC1:5

屋内運動場 壁、換気口廻り 鋼製床断面詳細図 S=1/5



屋内運動場 壁、換気口廻り 鋼製床断面詳細図 S=1/5

特配		上野西小学校屋内運動場大規模改造工事					設計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称								2019.03	A-49
		751-757-75					訂正年月日			
	図面名称	鋼製床断面詳細図	縮尺	1/5						



特 記					承 認	検 図	設計	製図	作図年月日	図面No.
	工事名称	上野西小学校屋内運動場大規模改造工事					2019.03	A-50		
				1 /00					訂正年月日	
	1 図面名称	移動式 支柱整頓棚図	縮尺	1/20						

